

PCP-2500

プリン^{しゃ}写ル

ハガキ&フォトプリンター

取扱説明書

応用編

保証書付（裏表紙）



本書では、プリン写ルの各機能についてくわしく説明しています。

- 操作を始める前に、別冊の取扱説明書「入門編」をご覧ください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

本機をお使いになる前に

10ページ

はがきの宛名印刷

36ページ

はがきの文面印刷

70ページ

写真の印刷

111ページ

文字の入力／修正

147ページ

お役立ち情報

166ページ

困ったときは

182ページ

資料集（別売品一覧など）

193ページ

こんなときは、どの説明書を読む？

本機の説明書は次の5種類です。目的に合わせてお読みください。



プリン写ルの
使いかたを
映像で見たい

早わかり DVD

(再生時間:約20分)

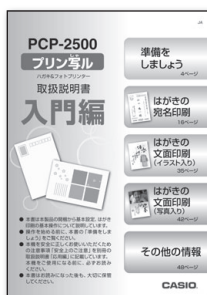
- ご自身のDVDプレイヤーでご覧ください。



プリン写ルをお使いになる前に、
ぜひご覧ください！



まず
基本的な使いかた
を覚えたい



取扱説明書 入門編

プリン写ルを使うための基本的な
操作をやさしく説明しています。



さらに
いろいろな使い
かたを知りたい

(本書)

取扱説明書 応用編

プリン写ルのすべての機能と操作
方法を掲載しています。



どんなイラストや
デザインが
あるか知りたい



デザインカタログ

本機に内蔵されているデザインや
イラストを見ることができます。

年賀状イラスト集 2017

本機に内蔵されている豊富な年
賀状のデザインを見ることがで
きます。

目次

こんなときは、どの説明書を読む? ...表紙の裏	
安全上のご注意.....	3
使用上のご注意.....	7
印刷するときの注意事項.....	8

第1章 本機をお使いになる前に 10

こんなことができます.....	10
各部の名称.....	12
基本的な操作のしかた.....	20
タッチパネルの使いかた.....	20
操作の進めかた.....	21
電源を入れる.....	23
ACアダプターを接続する.....	23
電源を入れる/切る.....	23
音声ガイド.....	25
プリントカートリッジのセットと交換のしかた...26	
用紙のセットのしかた.....	29
使用できる用紙.....	29
用紙をセットする.....	30
本機で使えるメモリーカードと写真のデータ...33	
本機で使えるメモリーカード.....	33
メモリーカードをセットする.....	34
扱える写真のデータ.....	35

第2章 はがきの宛名印刷 36

宛名作成の種類.....	36
宛名印刷の流れ.....	36
宛名を登録する(住所録の作成).....	37
個人宛の宛名を登録する.....	37
会社宛の宛名を登録する.....	42
登録した宛名を確認する.....	46
宛名を編集する.....	47
印刷条件を変更する.....	49
差出人を登録する.....	50
差出人の登録内容を確認する.....	53
差出人を編集する.....	54

印刷する.....	55
便利な機能.....	61
宛名面に印刷する文字の書体(フォント)を変更する...61	
宛名の一覧を印刷する(住所録印刷).....	62
登録している宛名の件数を確認する.....	63
宛名を分類するためのマークを付ける.....	63
住所録の名前を変更する.....	64
縦書き印刷のとき、漢数字と算用数字を切り替える...64	
印刷位置を調整する.....	65

第3章 はがきの文面印刷 70

文面作成の種類.....	70
登録されているデザインを使って作る(カンタン作成)...72	
カンタン作成の流れ.....	72
イラスト入りの文面を作る.....	73
写真入りの文面を作る.....	74
差出人入りの文面を作る.....	76
デザインを番号で選ぶ.....	77
見出しやイラストを選んで作る(組み合わせ作成)...78	
組み合わせ作成の流れ.....	78
レイアウトを選ぶ.....	79
レイアウトを選ぶ(写真入り).....	79
パーツ(部品)を選ぶ.....	81
写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る(自由作成)...88	
文字を自由に入力して作る(オリジナルはがき作成)...90	
オリジナルはがき作成の流れ.....	90
新規に作成する(新規作成).....	91
登録されている文例を使う(文例参照).....	91
テキスト(文章)や差出人を選ぶ.....	92
イラスト集を使って作る(イラスト集).....95	
イラスト集を使った文面作成の流れ.....	95
イラスト入りの文面を作る.....	96
写真入りの文面を作る.....	97
印刷する.....	100
便利な機能.....	101
写真を拡大して表示する.....	101
写真を編集する.....	101
文面を編集する(カンタン作成).....	104
差出人を編集する.....	106
写真を本体に登録する.....	107
データ登録と呼び出し.....	108

第4章 写真の印刷 111

写真印刷の種類.....	111
写真を印刷する (写真プリント).....	112
写真入りの日記を作る (写真入り日記) ...	114
カレンダーを入れて印刷する (写真カレンダー) ...	122
文字やイラストを入れて印刷する (コメントプリント) ...	127
写真を絵画のように変換する (絵画変換) ...	134
写真の一覧を印刷する (インデックスプリント) ...	135
俳句を入れて写真を印刷する (写真俳句) ...	136
写真をシールに印刷する (シールプリント) ...	140
印刷する.....	142
便利な機能.....	144
デジタルカメラの設定で印刷する (DPOF プリント) ...	144
写真を画面に順番に表示する (スライドショー) ...	146

第5章 文字の入力／修正 147

文字入力の前に知っておいていただきたいこと ...	147
キーボードで文字を入力する.....	148
ひらがな・カタカナを入れる.....	148
漢字を入れる.....	149
目的の漢字に変換されないときは.....	152
アルファベットを入れる.....	154
記号や入力にくい文字 (ゑ、ヴなど) を入れる...	155
文字の修正／削除のしかた.....	156
手書きで文字を入力する.....	157
手書き入力のしかた.....	158
間違って認識された文字を訂正する.....	159
手書き入力のワンポイント.....	159
便利な機能.....	161
文字の書体・色・形などを変える.....	161
自分で文字を作る (外字).....	164

本書中のマークについて

重要

必ず読んで守っていただきたい重要な情報を記載しています。

第6章 お役立ち情報 166

インク残量を確認する.....	166
ユーザー辞書を登録する.....	167
変換学習をリセットする.....	170
文例変換の設定を変更する.....	170
文字の入力方法 (入力モード) を切り替える ...	170
画面の明るさを調節する.....	170
ブザー音を鳴らさないようにする.....	171
時計を設定する.....	171
プリンターのメンテナンスをする.....	172
データのバックアップを作成する.....	173
白色の文字に輪郭をつけないようにする.....	177
タッチパネルを調整する.....	177
手書き認識のしかたを設定する.....	177
郵便番号辞書データを更新する.....	178
お手入れをするときは.....	179
本体の保管方法.....	181

第7章 困ったときは 182

こんな画面が出てきたら.....	182
こんな症状が起こったら.....	185
用紙がつまったときは.....	189
久しぶりに使うときは.....	191
リセット (初期化) するときは.....	192

第8章 資料集 (別売品一覧など) 193



記号一覧.....	193
ローマ字入力対応表.....	195
内蔵漢字一覧.....	196
仕様.....	201
別売品一覧.....	203
印刷できる枚数について.....	204
索引.....	205
保証・アフターサービスについて.....	208
アフターサービス窓口について.....	209

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければいけないこと」を意味しています。(左の例はプラグをコンセントから抜く)

警告

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプターをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ・必ず指定品を使用する
- ・電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- ・1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ・重いものを乗せたり、加熱しない
- ・加工したり、無理に曲げない
- ・ねじったり、引っ張ったりしない
- ・アダプター本体にコードを巻きつけない
- ・電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

警告

ACアダプターについて



- 濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。

ACアダプターについて



外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／ACアダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／ACアダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

水、液体、異物はさける



水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

- 電源スイッチを切る。
- プラグをコンセントから抜く。
- お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない



本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

- 電源スイッチを切る。
- プラグをコンセントから抜く。
- お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。


インクおよびプリントカートリッジについて




- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようご注意ください。目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようご注意ください。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。

警告

置き場所について


-  本機を次のような場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
 - ・アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所
 - ・可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所

可燃性ガスのスプレーを使わない


-  本機の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災の原因となります。

注意


ACアダプターについて

-  ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ストーブ等の熱器具に近づけない
 - ・プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない(必ずACアダプターを持って抜く)


ACアダプターについて

-  ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 - ・旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
 - ・使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
 - ・プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
 - ・ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない
 - ・ACアダプターはプラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。


不安定な場所に置かない

-  ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。


置き場所について

-  本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - ・湿気やほこりの多い場所
 - ・調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - ・暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

-  本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

表示画面について

-  液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
 - ・液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・万一、口に入った場合は、すぐにうがいをしして医師に相談してください。
 - ・目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

⚠️ 注意

大切なデータは控えをとる

❗ 本機やメモリーカードに記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

コネクタ部への接続

⊘ メモリーカード挿入口などのコネクタ部には、指定以外の物を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

磁気カードを近づけない

⊘ 本機のスピーカー部には磁気を帯びた部品を使用しています。クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカードなどの磁気を帯びたものを本機に極端に近づけないでください。磁気カードが使用できなくなることがあります。

音量について

❗ 音声ガイドを聞くときは音量に注意してください。スピーカー部に耳を近づけて大音量で聞くと難聴の原因となることがあります。

● 権利者が存在する画像などは、個人として利用するほかは、著作権法上、その権利者に無断で使用できません。


● 紙幣、有価証券などの中には、その複製物を所有するだけでも罰せられるものもあります。

●登録商標・商標の表記について

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本書（入門編含む）中には、以下の用語の™マーク、®マークを明記していません。

● コンパクトフラッシュは、米国およびその他の国におけるサンディスク社の商標または登録商標です。

● 、メモリースティック、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO デュオ、マジックゲートは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

● SD ロゴ、SDHC ロゴ、microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、miniSD ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

● マルチメディアカードは、独 Infineon Technologies AG 社の商標です。

● xD-ピクチャーカードは、富士フイルム株式会社の商標です。

● スマートメディアは、(株)東芝の商標です。

● マイクロドライブは、HGST の商標です。

● QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● Microsoft、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

● 「筆まめ」は、株式会社筆まめの登録商標です。

● 「筆王」は、ソースネクスト株式会社の登録商標です。

● 「写真俳句」は、森村誠一氏の個人の登録商標です。

● 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

その他、本書（入門編含む）で使用している製品名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

●謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

● libpng

● 本製品に搭載されているイラストなどのデータはすべて、著作権上の保護を受けています。製品の一部あるいは全部について、カシオ計算機株式会社の許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することは禁じられています。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

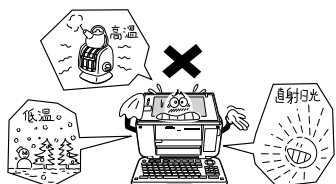
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、電池消耗等に起因する文章の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本機を末永くご愛用いただくために、以下の点にご注意ください。

使用温度範囲は5℃～40℃（使用最適温度範囲：15℃～35℃）です。気温の低い場所から暖かい室内に持ち込むと動作部に露がつき正常に動作しないことがあります。このときは1時間以上放置してからお使いください。

また、直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所での使用は避けてください。



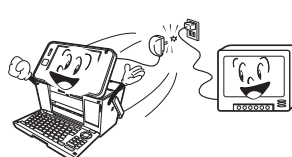
長時間お使いになるときは、健康のため1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。



印刷中、登録・削除などの編集作業中、プリンター調整中などに電源を切らないでください。



テレビなどとは別の電源コンセントを使用し、テレビなどから遠ざけて使用してください。



電源を切った後、表示画面が完全に消えるまでACアダプターをコンセントから抜かないでください。



電源を入れたまま長時間放置しないでください。表示輝度の劣化を生じることがあります。



分解しないでください。



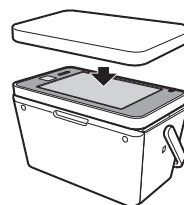
本機の上にものを乗せないでください。また落としたり強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

特に表示画面（タッチパネル）の上にものを乗せないでください。



●使用しないときは、保護カバーを本体に取り付けて保管してください。

カバーは、画面（表示パネル）を保護するための保護カバーです。使用しないときは、保護カバーを図のように本体に取り付けて保管してください。



●表示パネルに強い力を加えないでください。

ボールペンなど尖ったもので突いたり入力したりしないでください。表示パネルはガラスでできていますので、傷ついたり、割れることがあります。

●お手入れの際は、乾いたやわらかい布をご使用ください。

特に汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した布を固くしぼってお拭きください。

なお、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。

●印刷中は絶対に用紙挿入口のゴムローラー部および用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。指がローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

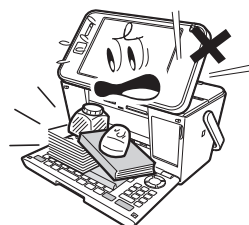
●本機を使用中、少し熱くなることがありますが、故障ではありません。

印刷するときの注意事項

■印刷前の注意事項

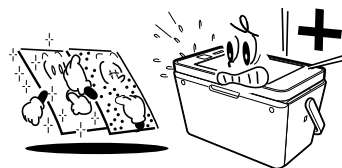
コピー用紙・カレンダーなど指定以外の薄い用紙を使用すると故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

- プリントカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。セットされていないと印刷の動作は実行されません。
- 用紙排出口にものがないことを確認してください。
- 排紙トレイを引き出しておいてください。
- フォト光沢はがきなどに両面印刷をする場合は、「宛名」→「写真印刷」の順番で印刷操作をしてください。
ただし、写真印刷面にスジ状のキズが付着する場合があります。



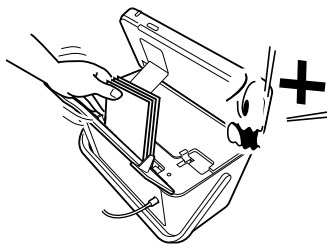
■用紙セット時の注意事項

- 印刷に適している用紙については、「使用できる用紙」の説明を参照してください(29ページ)。
- 次のようなはがきや用紙を使わないでください。
 - ・ 封筒
 - ・ 往復はがき
 - ・ 写真付きポストカード(写真店などで注文できる郵便はがきに写真が貼り付けられたもの)
 - ・ 表面が凸凹やザラザラのもの
 - ・ フォト光沢紙以外で表面がツルツルのもの
 - ・ 折れ曲がったり、反りの激しいもの
 - ・ 一般の郵便はがきに比べて、極端に厚い紙や薄い紙、腰の強い用紙
 - ・ 樹脂シートなどのインクを吸収しないもの
 - ・ 極端に、用紙どうしの、すべりがわるい(貼り付きやすい)用紙
- 用紙挿入口に一度にセットできる用紙は、郵便はがきの厚さの場合で「20枚まで」です(印刷枚数は「99枚」まで設定可能です)。
- 「16分割光沢フォトシール」「インクジェット写真用年賀葉書」は、1枚ずつセットしてください。複数枚セットすると正常に印刷できない場合があります。
光沢でない「インクジェット紙年賀郵便はがき」では、20枚までセットできます。
- 市販の用紙は、印刷時に、用紙どうしが貼りつきやすい場合があります。間に空気を入れて、十分さばいてからセットしてください。頻繁に2枚同時に用紙が送られる場合は1枚ずつセットしてください。
- 給紙がうまくできない場合は、セットする用紙の枚数を減らしてください。



■ 印刷中の注意事項

- 印刷中に用紙をひっぱったり、押し込んだりしないでください。
印刷不良や故障の原因となります。
- 用紙排出口をふさがないでください。
用紙がつまったり、故障の原因となります。
- 印刷中は必ずキーボードを開き、排紙トレイを出した状態でお使いください。
- 印刷中には用紙を追加することはできません。
印刷中に用紙を追加すると、用紙がつまったり、故障の原因になります。
用紙を追加するときは、セットした用紙のすべての印刷が終わって「用紙切れ」というメッセージが表示されたのを確認してから行ってください。
- 印刷中は絶対に用紙挿入口及び用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。
指がローラー部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。



■ 印刷後の注意事項

- 印刷したものをひっかいたり、こすり合わせたりしないでください。キズや汚れの原因となります。
- 印刷したものを重ねて放置したり、水にぬらしたり、他の紙にこすったりしないでください。印刷が写ってしまうことがあります。
- 印刷したものを、長期間、日の光が当たる場所に置いたままにすると、写真の色が変色することがあります。

■ 印刷後のお手入れ

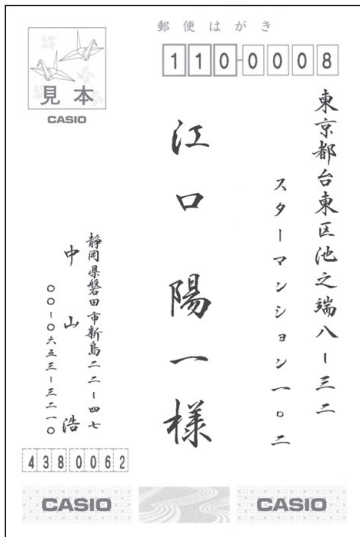
- 本機のプリンターはインクジェット方式です。印刷していると、プリントカートリッジ収納部周辺や製品本体にインクが付着する場合があります。インクが付着したときは、水を浸してかたく絞ったガーゼなどで拭き取ってください。
- 長時間使用しないときは、キーボードと排紙トレイを閉めて、タッチパネル保護カバーを付けて保管してください。
- 本機を長期間使用しないときは、プリントカートリッジ収納部カバーをしっかりと閉めて、直射日光のあたらない場所で、高温多湿を避けて、保管・管理してください。
- プrintカートリッジは、本機に入れたまま保管してください。プリントカートリッジを単体のままで長期間保管すると、インクノズル部分の目づまりの原因となります。

第1章 本機をお使いになる前に

こんなことができます

はがきの宛名面を作る

本機の住所録に宛先の住所や名前を登録して、はがきの宛名面を作れます(37ページ)。



- 住所録に登録した宛名の一覧を印刷できます(62ページ)。

はがきの文面を作る

デザインを選んではがきの文面を作れます(73ページ)。写真を入れた文面を作ることできます(74ページ)。

イラストや見出しを組み合わせることもできます(78ページ)。写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る機能もあります(88ページ)。



- 文面に差出人を入れたり(76ページ)、QRコードを入れて印刷できます(106ページ)。

写真を印刷する

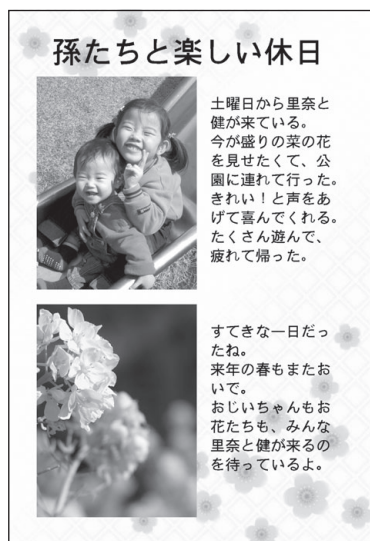
お気に入りの写真を印刷できます(112ページ)。写真に文字やスタンプなどを入れることもできます(127ページ)。



- 写真を絵画のように変換して印刷できます(134ページ)。
- 写真の一覧を印刷できます(135ページ)。

写真を使って日記やカレンダーなどを作る

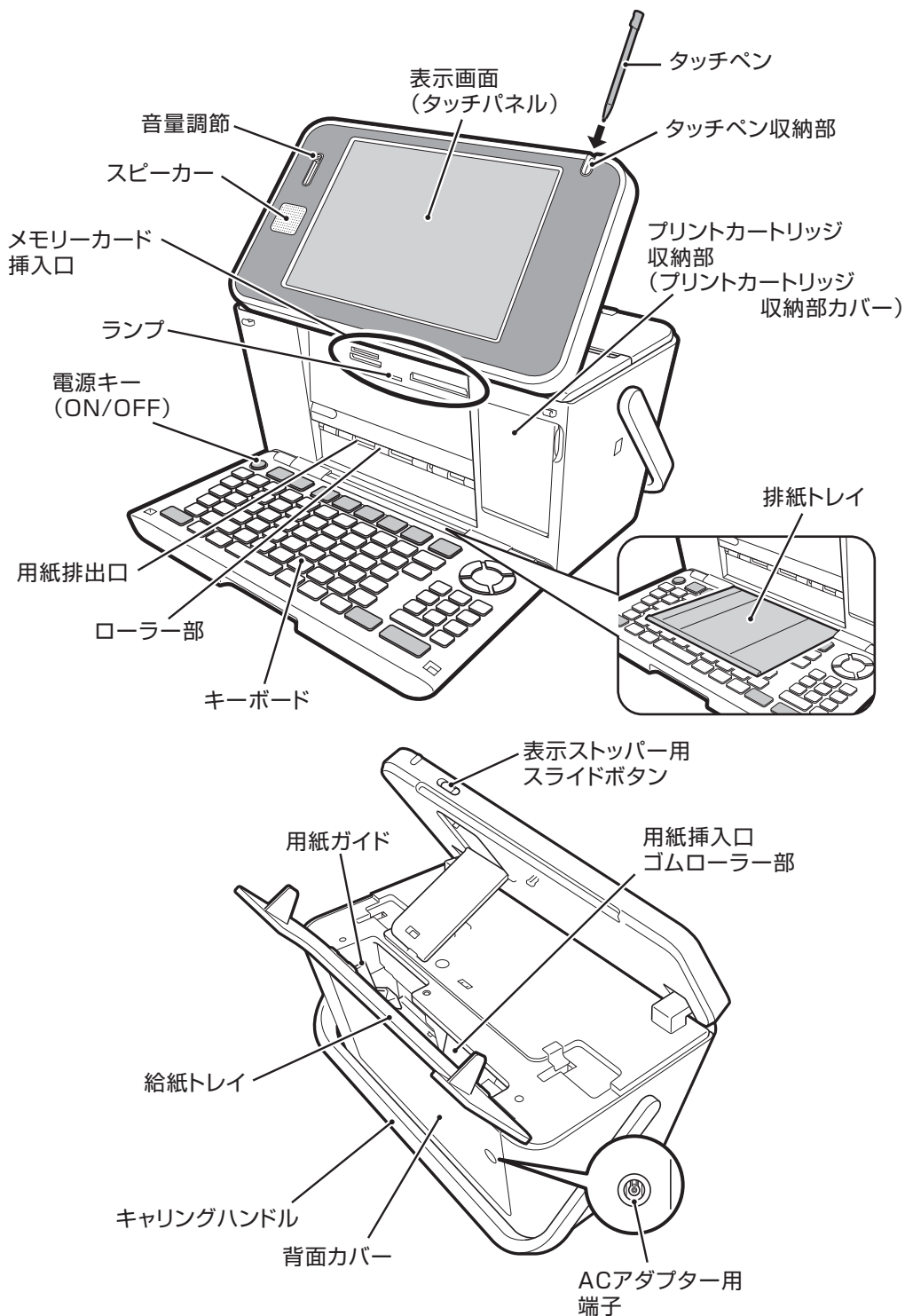
写真入りの日記(114ページ)、写真入りのカレンダー(122ページ)を作れます。



- 俳句を添えた写真を作れます(136ページ)。
- 写真にフレームをつけてシールとして印刷できます(140ページ)。
- 取扱説明書「応用編」の印字例や画面の内容などは、実際と多少異なることがあります。

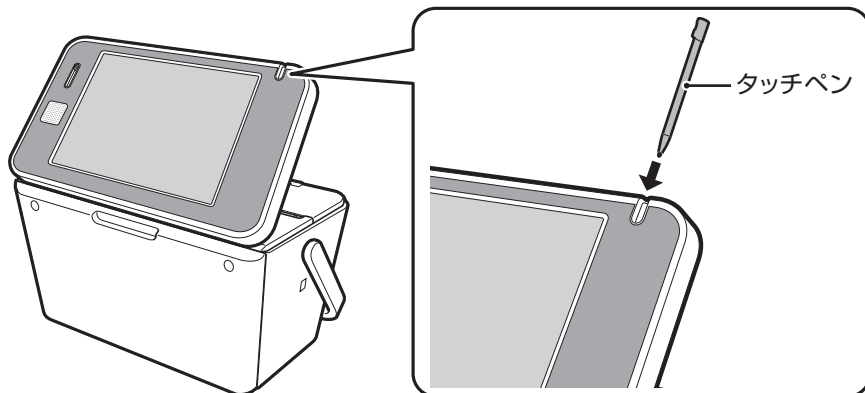
各部の名称

本体



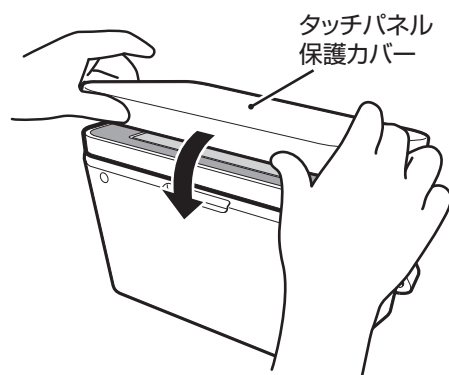
タッチペンの収納

タッチペンを使わないときは、タッチペン収納部に入れて保管してください。



タッチパネル保護カバー

本機を使わないときは、タッチパネル保護カバーを装着して保管してください。タッチパネル保護カバーは、奥側を先に取り付けた後、手前側を取り付けます。

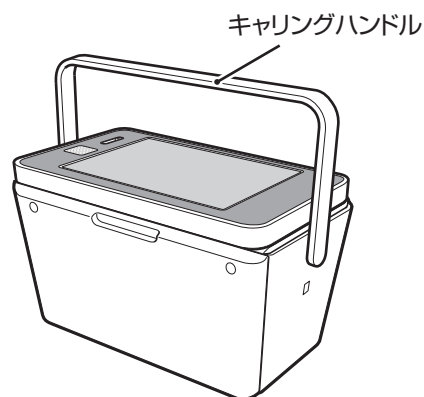


持ち運びのときは

本機を持ち運ぶときは、図のようにキャリングハンドルを引き上げてお使いください。

重要

「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。



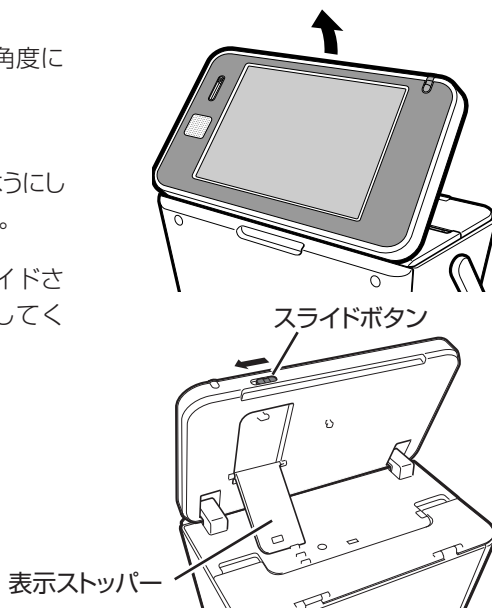
表示画面の角度を調整する

表示画面は、図のように調整することができます。見やすい角度に合わせてください。

重要

「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

画面をタッチするときは、スライドボタンを矢印方向にスライドさせて、表示ストッパーを出し、見やすい角度に固定して使用してください。



表示画面(タッチパネル)について

本機では、表示画面(タッチパネル)にタッチして操作したり、表示画面に手書きで文字を入力することができます(20、157ページ)。

重要

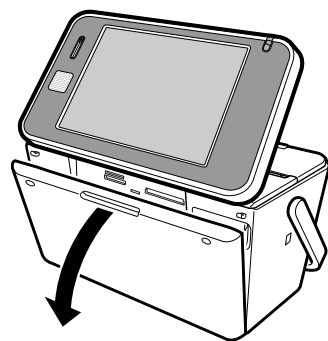
- タッチパネルの表面を強く押ししたり、力を込めてタッチまたは入力したりしないでください。タッチパネルに傷が入ったり、割れたりすることがあります。
- タッチパネルの上に物を乗せないでください。故障の原因になります。
- タッチペンでタッチした位置や手書きで入力した文字が、実際の表示の位置とずれているときは、タッチパネルの調整をしてください(177ページ)。

キーボードを開くときは

文字を入力するときなどは、本体上部を押さえながら、キーボードを開いてください。

重要

「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

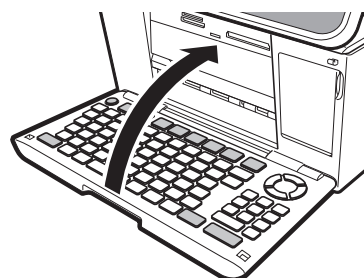


キーボードを閉じるときは

キーボードを「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

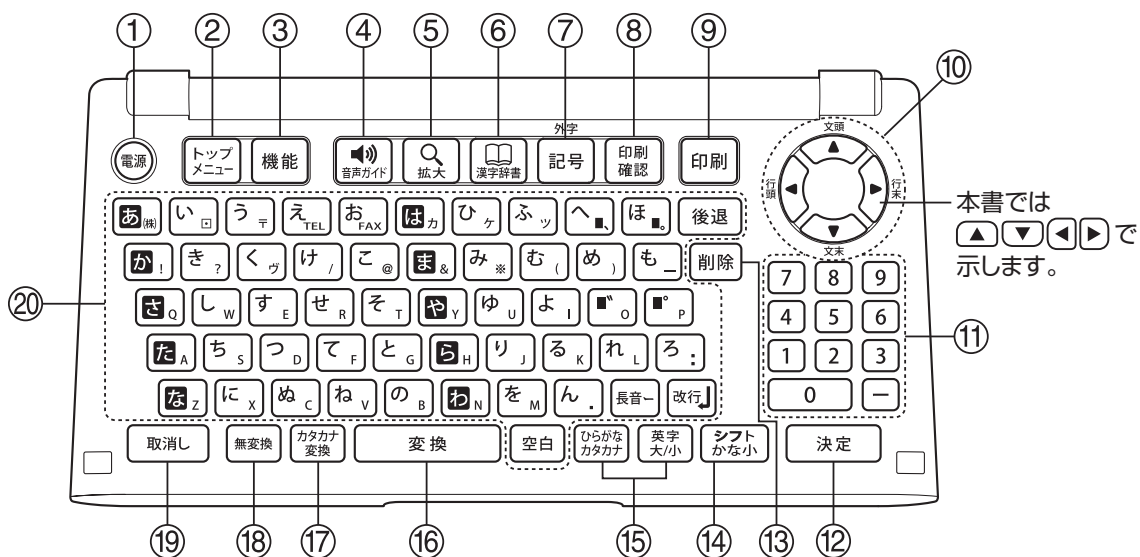
重要

- 印刷中は、キーボードを閉じないでください。
- 排紙トレイが出ているときは、必ず排紙トレイを戻してからキーボードを閉じてください。
- メモリーカードをセットしたままキーボードを閉じないでください(必ず、メモリーカードを抜いてから、キーボードを閉じてください)。








キーボード

キーボードには、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では「キー」と呼んでいます。キーを押して、操作を進めることもできます。ここでは主なキーの使いかたについて説明しています。




本書では
▲▼◀▶で
示します。

①		電源を入れたり切ったりするときに押します。
②		トップメニュー画面を表示するときに押します。
③		いろいろな設定をするときに押します。
④		音声ガイドを聞きたいときに押します。
⑤		写真や印刷の仕上がり状態を大きく拡大して確認したいときに押します。
⑥		画数や部首などから漢字を入力したいときに押します。
⑦		キーに印刷されていない記号を入れるときに押します。また、自分で文字を作ったり、作った文字を入れたりしたいときに と押します。
⑧		印刷の仕上がり状態を確認するときに押します。
⑨		印刷するときに押します。
⑩		カーソル(18ページ)を動かすときに押します。 を押した後に続けて を押すと、文頭などに「 」がジャンプします(18ページ)
⑪	数字キー	数字を入れるときに押します。
⑫		操作を決定するときに押します。
⑬		文字を間違えたときに押します。
⑭		キーボード上にオレンジ色の文字で書かれている機能を使うときに押します。


⑮		ひらがなやカタカナ、またはアルファベットの入力を切り替えるときに押します。
⑯		ひらがな入力した文字を漢字に変換するときに押します。
⑰		ひらがな入力した文字をカタカナに変換するときに押します。
⑱		ひらがな入力した文字をひらがなのまま確定するときに押します。
⑲		操作を取り消したり、中止するときに押します。
⑳	文字キー	文字を入れるときに押します。


本書でのキーのあらわしかたについて

例  を押した後に続けて  を押すとき…



  と押します。

- キーボード上にオレンジ色で書かれている機能を使うには、 を押した後に続けてオレンジ色で機能が書かれているキーを押します。

( を押しながら、機能が書かれているキーを押すこともできます)

例  の「外字」の機能を使うとき…

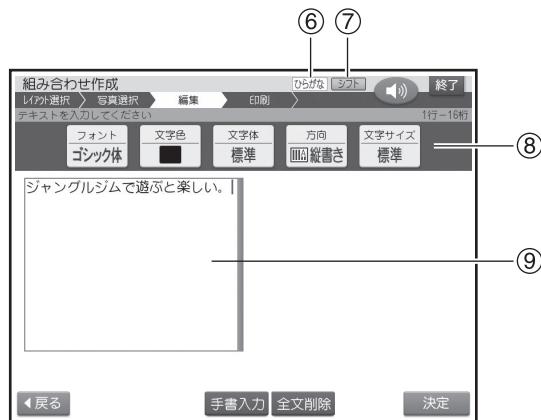
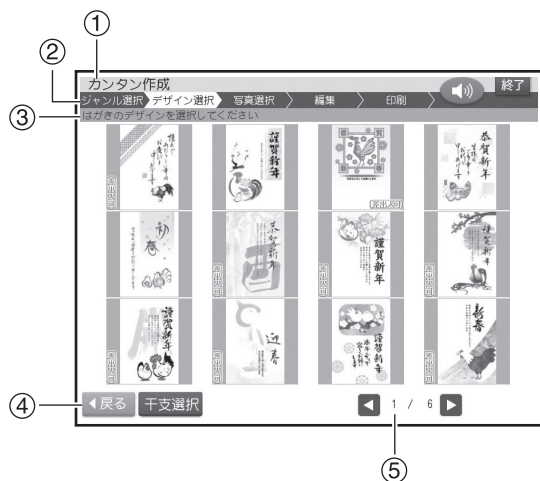


  と押します。

画面の見かた

本機の画面にはいろいろな情報が表示されます。ここでは基本的な情報について説明しています。

本機をお使いになる前に



番号	項目名	説明
①	機能表示	現在操作している機能を表示しています。
②	ステップ表示	操作の流れと現在行っている操作を表示しています。 (ここをタッチしても、操作を切り替えることはできません。)
③	ヘルプ表示	操作に必要な情報が表示されます。
④	操作ガイド	操作するためのアイコンが表示されます。
⑤	ページ表示	何ページ目を表示しているかを示します。
⑥	入力モード表示	入力についての状態を表示しています。
⑦	シフト表示	シフトキーが押されたことを示しています。
⑧	文字情報表示行	文字の修飾内容を表示しています。
⑨	入力画面	入力した文字や文章を表示します。
⑩	編集ガイド	編集するためのアイコンが表示されます。
⑪	インク残量表示	インク残量の状態を表示しています(166ページ)。

■ カーソルの働きと動かしかた

文面や宛名面に文字を入れているときに、「|」が表示されます。これは位置を示した印で、カーソルと呼びます。

カーソルが合っている位置で文字キーを押すと文字が入り、**[削除]**を押すとカーソルの1つ後ろの文字が消えます。

カーソル

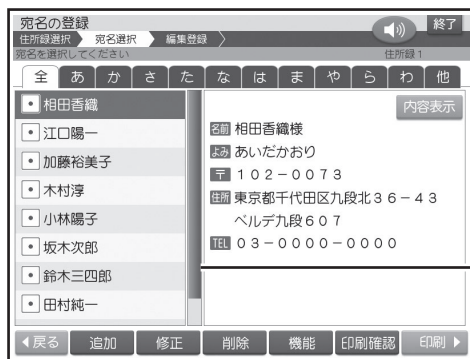


カーソルはキーボード(15ページ)の **▲** **▼** **◀** **▶** を押して動かします。

▲	上にカーソルが移動する
▼	下にカーソルが移動する
◀	左にカーソルが移動する
▶	右にカーソルが移動する
シフト ▲ <small>かな小</small>	文頭にカーソルが移動する (文頭ジャンプ)
シフト ▼ <small>かな小</small>	文末にカーソルが移動する (文末ジャンプ)
シフト ◀ <small>かな小</small>	行頭にカーソルが移動する (行頭ジャンプ)
シフト ▶ <small>かな小</small>	行末にカーソルが移動する (行末ジャンプ)

■ 画面の動かしかた

画面のスクロールバーを触ったまま上下に動かすと、かくれている文字を見ることができます。これをスクロールといいます。キーボード(15ページ)の **▲** **▼** **◀** **▶** を押してカーソルを動かしても、見ることができます。



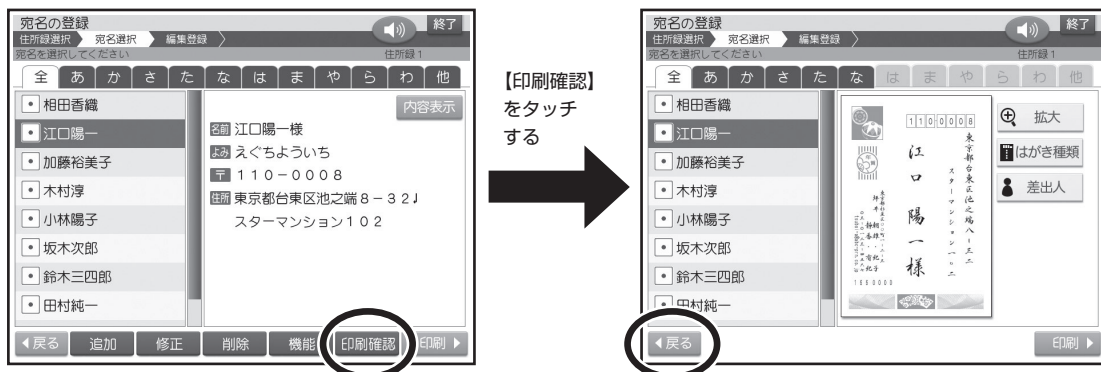
スクロールバー

印刷前に画面で印刷結果を確認する(印刷確認)

次の操作をしているとき【印刷確認】をタッチすると、印刷結果(印刷のイメージ)を画面で確認することができます(印刷確認)。

- 宛名/差出人の一覧を表示しているとき
- 差出人の登録/修正をしているとき
- カンタン作成、組み合わせ作成、オリジナルはがき作成、イラスト集の完成画面を表示しているとき
- 写真プリント、写真入り日記、写真カレンダー、コメントプリント、写真俳句、シールプリントの作成中(画面下に【印刷確認】が表示されているとき)/完成画面を表示しているとき

宛名の一覧を表示している例



- 確認した結果、修正したい場合は、【戻る】をタッチして、【修正】をタッチしてください。

- 宛名の登録/修正中は、入力画面上で同時に印刷イメージを確認することができます。

印刷確認表示中に操作できるボタン

【戻る】:印刷確認前の表示に戻る。

【拡大】:拡大して表示する。

以下の操作は、宛名/差出人の一覧表示での印刷確認画面の場合のみ有効です。

【印刷】:印刷確認表示中の宛名面を印刷する。

【はがき種類】:はがき種類選択画面を表示する。

【差出人】:宛名面に印刷する差出人を設定する。

重要

実際の印刷結果は、画面での印刷確認より四隅が若干切れることがあります。

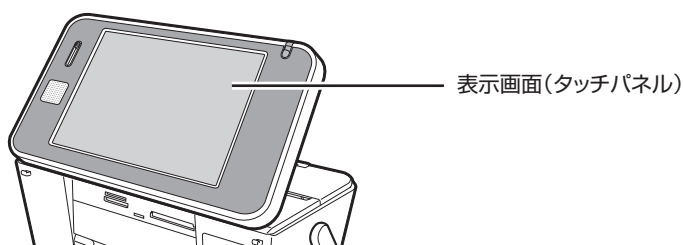
基本的な操作のしかた

本機は、表示画面(タッチパネル)を付属のタッチペンでタッチして、さまざまな操作をすることができます。文字はキーボードで入力、または表示画面に手書きで入力することができます(15、157ページ)。

タッチパネルの使いかた

重要

- タッチするときは、力を入れる必要はありません。
- タッチパネルの表面を強く押ししたり、力を込めてタッチまたは入力したりしないでください。タッチパネルに傷が入ったり、割れたりすることがあります。
- タッチペンでタッチした位置や手書きで入力した文字が、実際の表示の位置とずれているときは、タッチパネルの調整をしてください(177ページ)。

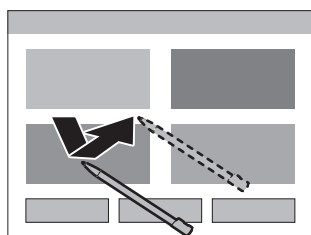


いろいろなタッチ操作

タッチ

タッチペンで画面を押して離します。

画面に表示される内容をタッチしていくと、操作できます。

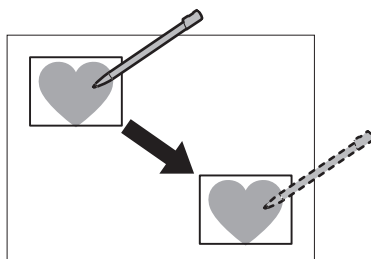


- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。パネルは確実にタッチしてください。
- タッチペンを使用すると、操作がしやすくなります。

ドラッグ

タッチペンで画面を触ったまま、上下左右に動かします。

写真の切り抜き位置やスタンプなどを移動することができます。



操作の進めかた

1 電源を押して、電源を入れます。

トップメニュー画面が表示されます。ここから、操作が始まります。

トップメニュー画面では、機能の内容やできることがイラストで表示されています。これをアイコンと呼びます。



アイコン

2 使いたい機能のアイコンをタッチします。

ここでは、【はがき文面】をタッチします。



3 操作を進めていくと、次々と選択画面が表示されます。

選択を間違えてしまったり、前の画面に戻りたいときは、【戻る】をタッチします。



トップメニュー画面からの操作のあらわしかた

本文中の操作手順の中では、トップメニュー画面からの操作をまとめて記載しています。

例

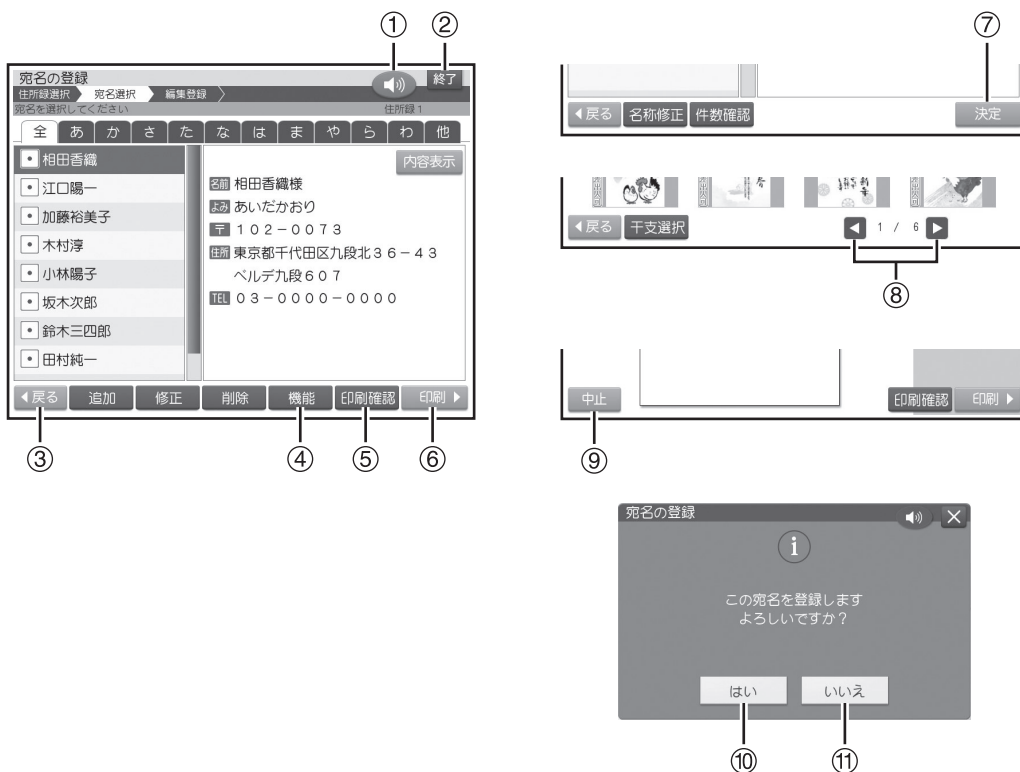
1 トップメニュー画面(21 ページ)から【はがき文面】→【カンタン作成】の順にタッチします。












ジャンル選択画面が表示されます。



基本的なアイコンについて

本機の画面には、さまざまなアイコンが表示されます。ここでは、基本的なアイコンについて説明しています。



アイコン	操作の説明
① 	音声ガイドを聞きたいときにタッチします。
② 	操作を終了させたいときにタッチします。
③ 	操作を取り消したり、前の画面に戻るときにタッチします。
④ 	いろいろな設定をするときにタッチします。
⑤ 	印刷の仕上がり状態を確認するときにタッチします。
⑥ 	印刷するときにタッチします。
⑦ 	操作を進めていくとき、確定させるときにタッチします。
⑧ 	ページを切り替えるときにタッチします。
⑨ 	操作を中止して、やり直したいときにタッチします。
⑩ 	操作を進めていくときにタッチします。
⑪ 	操作を取り消したり、中止するときにタッチします。

電源を入れる

重要

ご購入後、はじめて電源を入れるときは、リセット（初期化）、プリンターの調整、時計の時刻合わせなどが必要です。別冊の取扱説明書「入門編」の「準備をしましょう」を参照して、必ず行ってください。

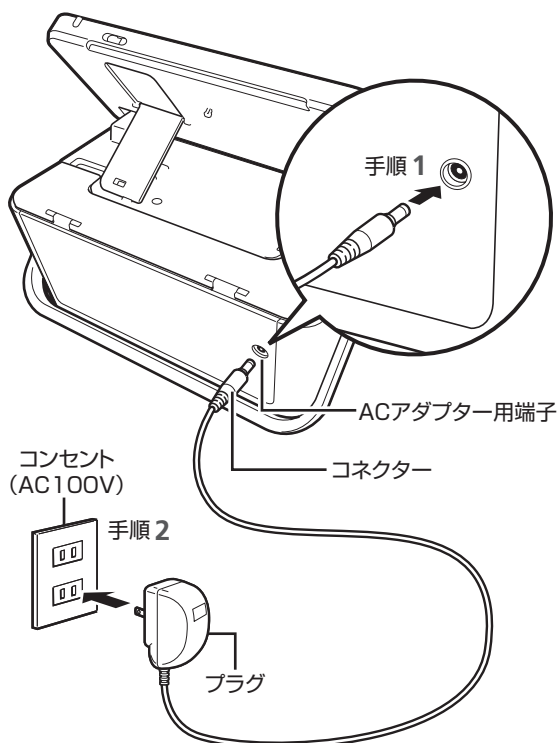
ACアダプターを接続する

重要

- ACアダプターは必ずAC100Vのコンセント（通常の家庭用コンセント）に差し込んでください。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください（3ページ）。

1 付属のACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子に差し込みます。

2 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントに差し込みます。



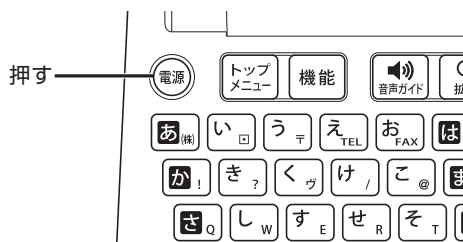
重要

ACアダプターを本体に接続しているときは、キャリングハンドルを引き上げる操作（13ページ）はしないでください。ACアダプターのコネクターやコードと、キャリングハンドルが接触すると故障の原因となります。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れるときは


電源が切れている状態で **電源** を押してください。



重要

- 「電源を入れる操作」や「電源を切る操作」は、完了するまでに10～20秒かかることがあります。完了するまで、そのまましばらくお待ちください。
- 本機をご使用になるときは、プリントカートリッジがセットされていることを確認してください。たとえば、「住所録の作成」だけをしたいときも、プリントカートリッジをセットしておいてください。

■ 電源を切るときは

- 1  を押して、電源を切ります。
- 2 表示画面が完全に消えたことを確認します。

必ず表示画面が完全に消えてからACアダプターを家庭用のコンセントから抜いてください。表示画面が消える前にACアダプターを抜くと登録したデータが消えることがあります。

- 3 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントから抜きます。
- 4 ACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子から抜きます。

重要

電源を切るときは、必ず、プリントカートリッジ収納部カバーがきちんと閉まっていることを確認してください。プリントカートリッジ収納部カバーが正しく閉められていないと、インクが乾燥してプリントカートリッジが使用できなくなったり、プリンターの故障の原因になることがあります。

オートパワーオフ

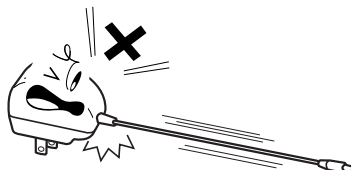
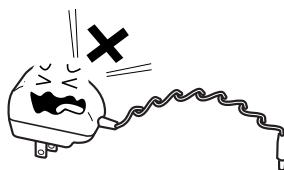
約1時間キー操作をしないと、自動的に電源が切れます。

- スライドショー(146ページ)をしているときは、オートパワーオフは動きません(約1時間以上経過しても、電源は切れません)。

ACアダプター使用上のご注意

ACアダプターのコードの先端や根元部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

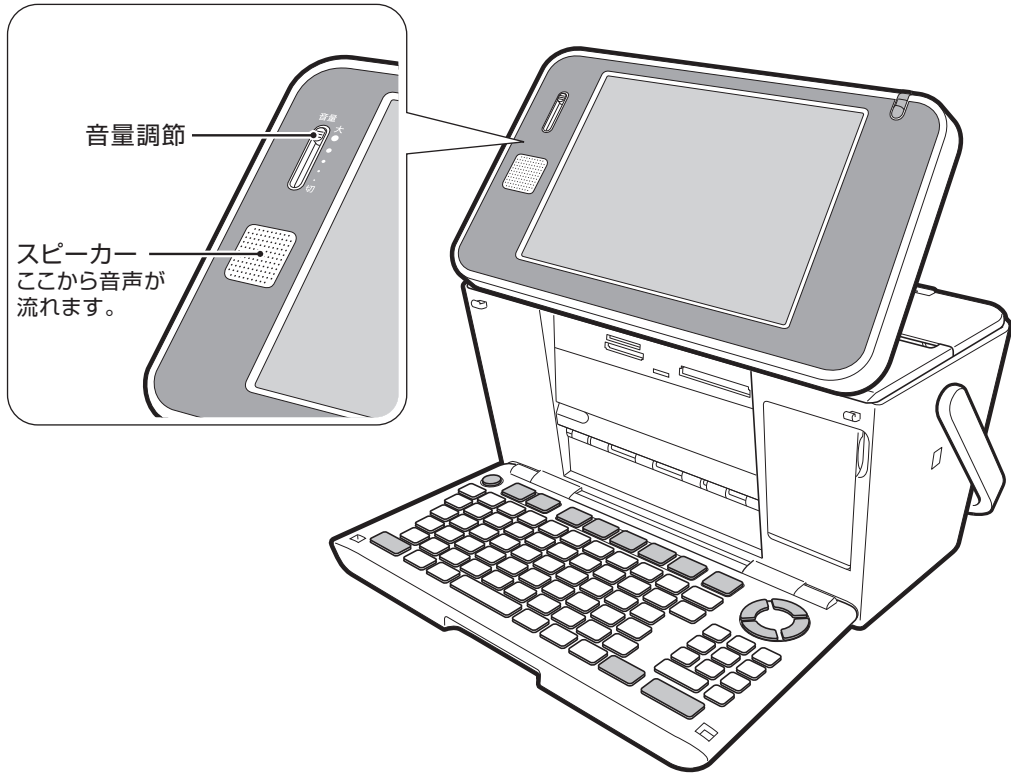
また、コードの先端や根元部分が折り曲げられた状態での保管は避けてください。コードが断線して故障の原因となります。



音声ガイド

本機では、音声で操作の説明が流れます（音声ガイド）。また、直前に流れた音声ガイドを、もう一度、聞くこともできます。

- 音声ガイドによる説明のない画面もあります。



■ 音量の調節

「音量調節」のつまみを、上方向に動かすと音が大きく、下方向に動かすと小さくなります。

■ 音声ガイドを消す

「音量調節」のつまみを一番下の「切」の位置まで動かすと、音量はなし（音声ガイドOFF）になります。

■ 音声ガイドをもう一度聞きたいときは

画面の  をタッチすると、直前に流れた音声ガイドを、もう一度、聞くことができます。

プリントカートリッジのセットと交換のしかた

印刷するときは、プリントカートリッジを使います。

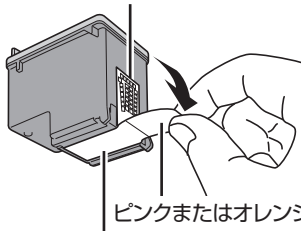
重要

必ず指定のプリントカートリッジをお使いください(203ページ)。

プリントカートリッジをセットする

- 1 ACアダプターを接続して、電源を入れます(23ページ)。
- 2 プリントカートリッジについているピンクまたはオレンジのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。

金属端子部
(絶対にはがさないでください)



ピンクまたはオレンジのタブ

プラスチックテープ
(はがして取り去ります)

重要

- 金属端子部は絶対にはがさないでください。プリントカートリッジが使用できなくなります。
- 一度はがした透明のプラスチックテープは、絶対に貼り直さないでください。ノズル内のインクが混ざり合い、使用できなくなることがあります。

- 3 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。
プリンターが動きます。

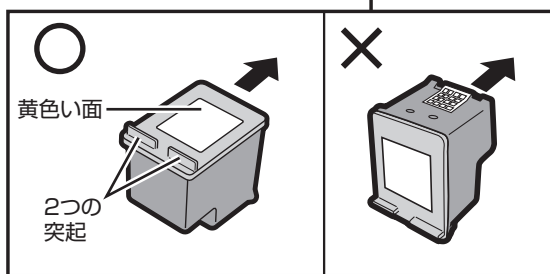
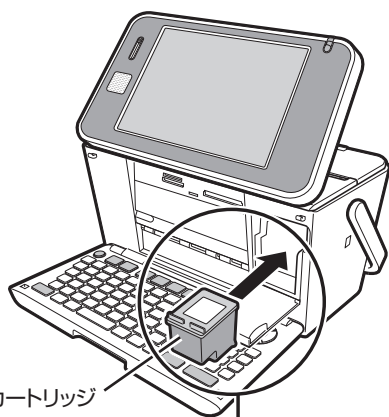


プリントカートリッジ
収納部カバー

重要

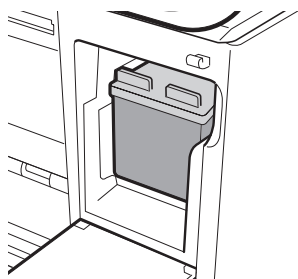
「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

4 プリントカートリッジを収納部にセットします。



ラベルのある黄色い面を上、2つの突起がある方を手前にして、セットします。

「カチッ」と音がするまで、奥へ押し込みます



セットされた状態

- 正しくセットしないとプリントカートリッジの故障の原因となります。

5 プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。

- カバーが開いていると、エラーが表示されません。
- 自動的に「プリンターの調整」を行います。プリンター調整用の用紙をセットして画面の指示に従って操作してください(30、172ページ)。
- プリントカートリッジを正しくセットしても「カートリッジ装着エラー」などのメッセージが表示される場合は、プリンターやプリントカートリッジのクリーニングを行ったり、汚れを取ってください(172、179ページ)。

印刷できる枚数(目安)

本機に付属のプリントカートリッジで印刷できる枚数は、印刷する内容によって異なります。

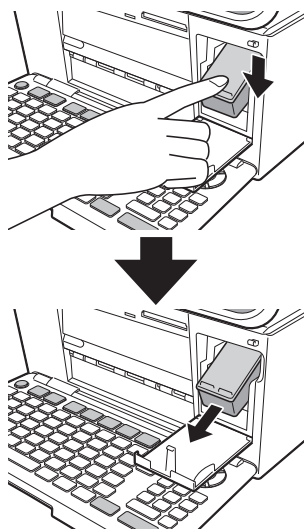
印刷できる枚数については、204ページをご覧ください。

プリントカートリッジを交換する

- 1 ACアダプターを接続して、電源を入れます(23ページ)。
- 2 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。



3 プリントカートリッジを下に押しながら手前に引きます。



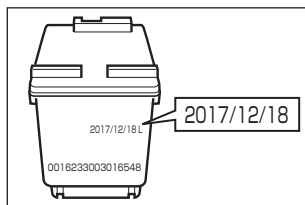
4 新しいプリントカートリッジをセットします (26 ページ)。

プリントカートリッジ使用上のご注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、純正品の使用をお勧めします。インクの詰め替え、改造や互換用リサイクルカートリッジなど純正品以外のものをご使用になると、印刷品位の低下、製品の誤動作、故障の原因となる場合があります。また、純正品以外のものをご使用になった場合の本機故障については、保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 振動や衝撃を与えないでください。また、金属端子部には手を触れないでください。
- プリンターに装着するまでは包装を開封せずに、直射日光を避け、常温で保管してください。
- 使用中のプリントカートリッジは、本機に入れたまま保管してください。プリントカートリッジを単体のままで長期間保管すると、インクノズル部分の目づまりの原因となります。

プリントカートリッジの使用期限

- プリントカートリッジに印刷されている数字が、使用期限です (下のイラストの「2017/12/18」は「2017年12月18日」を表しています)。使用期限までに使い切ってください。
- なお、良質な印刷品質を得るために、使用開始後6ヶ月以内に使い切ることをおすすめします。



使用済みのプリントカートリッジは、インクが飛び散らないようにポリ袋などに入れ、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

用紙のセットのしかた

使用できる用紙

用紙	サイズ	厚さ	用紙の種類
はがき	(縦) 148mm × (横) 100mm	郵便はがきと同等の厚さ で、0.18mm ~ 0.26mm の範囲のもの	郵便はがき (日本郵便株式会 社製) インクジェット用はがき フォト光沢はがき
A6	(縦) 148mm × (横) 105mm	郵便はがきと同等の厚さ で、0.18mm ~ 0.26mm の範囲のもの	インクジェット用紙 フォト光沢紙 普通紙
L判	(縦) 127mm × (横) 89mm		
2L判	(縦) 178mm × (横) 127mm		
シール紙 (16面付け)	(縦) 148mm × (横) 100mm		別売品「16面分割光沢フォ トシール」(PO-165)。203 ページの別売品一覧を参照 してください。

重要

- 写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」(郵便はがきに写真が貼り付けられているもの)の宛名面への印刷は、本機ではできません。用紙づまりや故障の原因となりますので使用しないでください。
- 使用できる用紙は、用紙のサイズ、厚さおよび種類が上記の表の条件に合っているものだけです。

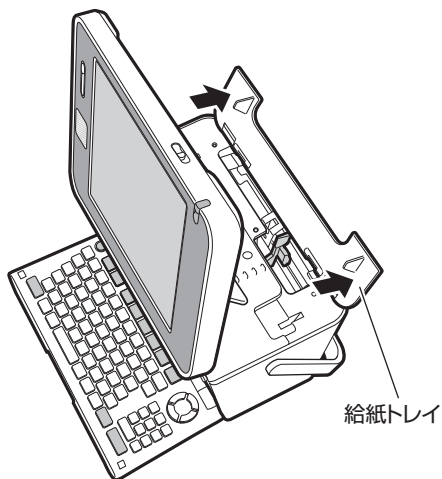
コピー用紙などの薄い紙や、形状が不定形な用紙などは、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

用紙をセットする

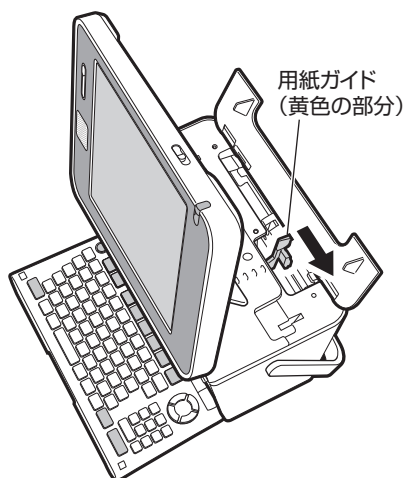
重要

- 用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- 印刷中に用紙を追加することはできません。
- 印刷途中で絶対に用紙を引き抜かないでください。

1 給紙トレイを開きます。

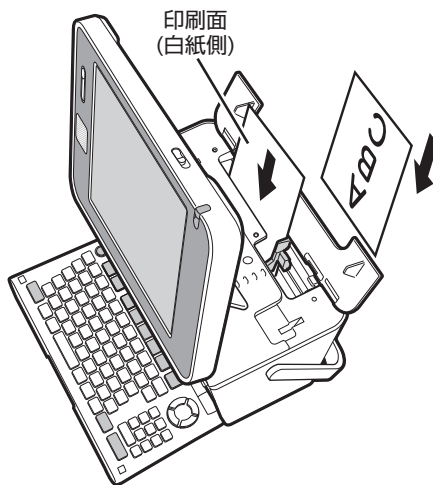


2 用紙ガイドを右側に広げます。



3 印刷面を表側にして、軽く止まるまで差し込みます(32ページ)。

- 一度にセットできる枚数は、20枚までです(印刷枚数は99枚まで設定可能です)。
- 「16分割光沢フォトシール」「インクジェット写真用年賀葉書」は、1枚ずつセットしてください。
- 静電気などで印刷時に用紙どうしが貼りつきやすい場合は、間に空気を入れて、十分さばいてからセットしてください。頻繁に2枚同時に用紙が送られる場合は1枚ずつセットしてください。
- 用紙に反り・曲がりがあると用紙がつまる原因となります。用紙の反り・曲がり直してから本体にセットしてください。

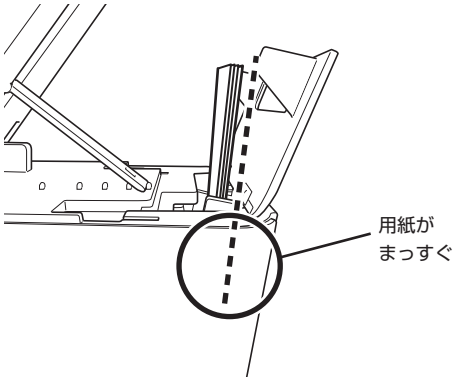


- 用紙の左端を挿入口の左端に沿わせて挿入します。

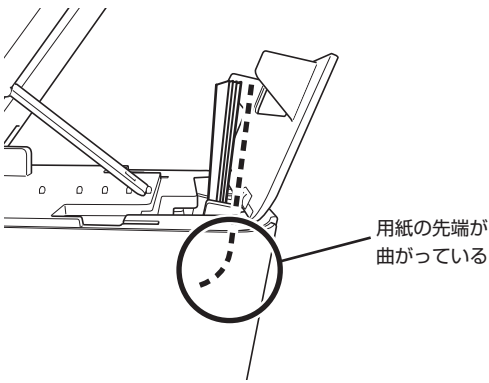
重要

用紙をセットする際は、用紙の先端を必要以上に奥まで入れすぎないでください。給紙が正しくできない場合があります（用紙の先端が曲がっていないのが正しい状態です）。

○ 正しい状態

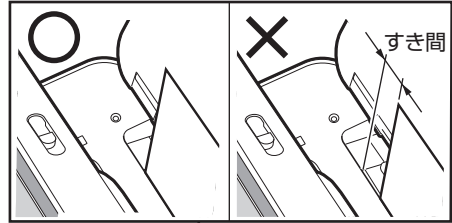


× 間違った状態

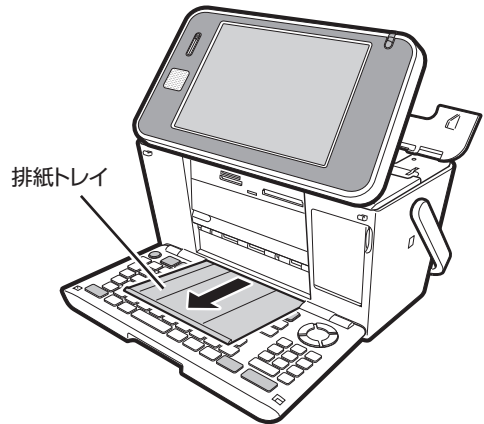


4 用紙ガイドを用紙に当たるまで左側にスライドさせます。

用紙の両端にすき間ができないようにセットしてください。正しくセットしないと、用紙が曲がって挿入され、正しく印刷できないことがあります。

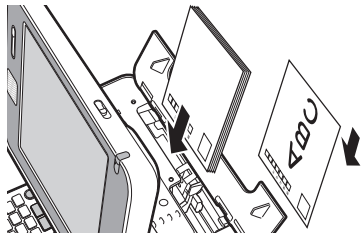
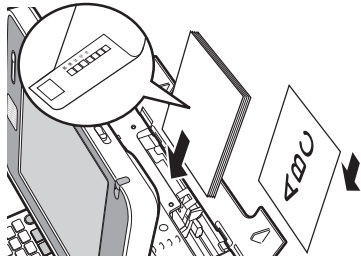


5 排紙トレイを引き出します。



用紙をセットする向きについて

印刷する面が表側になるようにセットします。印刷の種類を確認して、正しい方向で用紙をセットしてください。

用紙の種類	印刷の種類	セット方向
はがき	宛名印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。 
	文面印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。 
	写真プリント 写真入り日記 DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 写真カレンダー 絵画変換	印刷する面を表側に向けてセットする。
A6	写真プリント DPOFプリント インデックスプリント	印刷する面を表側に向けてセットする。
L判	写真プリント DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 絵画変換	印刷する面を表側に向けてセットする。
2L判	写真プリント 写真入り日記 DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 写真カレンダー 絵画変換	印刷する面を表側に向けてセットする。
シール紙 (16面付け)	シールプリント	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する面を表側に向けてセットする。 1枚ずつセットする。 一度に複数枚セットすると正しく印刷できない場合があります。

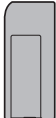






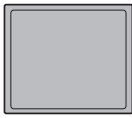
- 光沢紙に写真を印刷する場合は光沢面を表側に向けてセットしてください。
- フォト光沢はがきを使用する場合は、1枚ずつセットしてください。

本機で使えるメモリーカードと 写真のデータ

本機では、メモリーカードに保存されている写真のデータを印刷したり、はがきの文面に使用することができます。また、本機の住所録などのデータをメモリーカードに保存することもできます。

本機で使えるメモリーカード

・メモリーカード挿入口①～③の位置については、34ページをご覧ください。

分類1 (挿入口①に挿入します)		
<ul style="list-style-type: none"> メモリースティック^{※1} (最大容量:128MB) メモリースティックPRO^{※1} (最大容量:4GB) 	<ul style="list-style-type: none"> メモリースティックデュオ^{※1} (最大容量:128MB) メモリースティックPROデュオ^{※1} (最大容量:32GB) 	
分類2 (挿入口②に挿入します)		
<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカード (最大容量:2GB) SDHCメモリーカード (最大容量:32GB) 	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディアカード (最大容量:1GB) 	
<ul style="list-style-type: none"> miniSDメモリーカード^{※2} (最大容量:2GB) 	<ul style="list-style-type: none"> microSDメモリーカード^{※2} (最大容量:2GB) microSDHCメモリーカード^{※2} (最大容量:32GB) 	
<ul style="list-style-type: none"> xD-ピクチャーカード (最大容量:512MB) xD-ピクチャーカード Type M (最大容量:2GB) xD-ピクチャーカード Type M+ (最大容量:2GB) 	<th>分類3 (挿入口③に挿入します)</th>	分類3 (挿入口③に挿入します)
	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトフラッシュ (TYPE I / TYPE II)^{※3} (最大容量:8GB) 	

※1 マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。

※2 SDアダプター(市販品)に取り付けた後、本機に挿入してください。

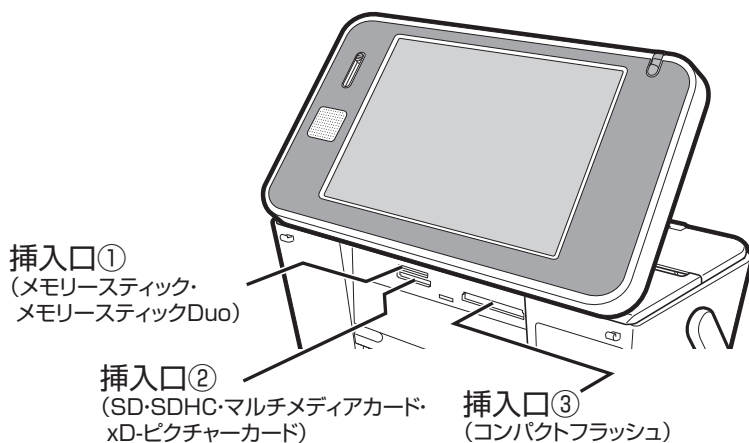


※3 UDMA対応のコンパクトフラッシュカードは対応していません。

- ・上記メモリーカードでも、ご使用になれない場合があります。
- ・マイクロドライブ、スマートメディアには対応していません。



メモリーカード挿入口



重要

- 33ページの表以外のメモリーカードを使用すると、本機およびメモリーカードの故障、破損の原因となります。
- 33ページの表のメモリーカードでも、本機やカードの状態によっては認識できない、または正しく動作しない場合があります。
- メモリーカードは、「デジタルカメラ写真のデータ読み込み」および「バックアップデータの保存」「文面やコメントプリントなどの作成物の保存」のときに使用します。本機のメモリー増設用（「住所録の登録件数を増やす」など）としては使用できません。

メモリーカードをセットする

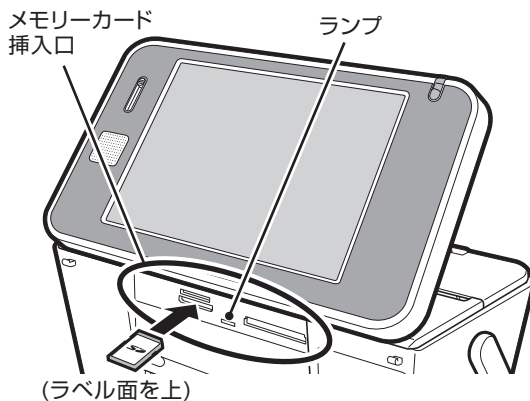
重要

- メモリーカードには表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。向きや角度に注意して、確実にセットしてください。
- メモリーカードを使う際は、メモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 メモリーカード(写真のデータが記録されているもの)を、本機の対応する挿入口に差し込みます。

- メモリーカードが正しくセットされると、ランプが点灯します。
- メモリーカードにアクセス中は、ランプが点滅します。



重要

- メモリーカードを一度に複数枚セットすることはできません。
- メモリーカードは、必要以上に強く押し込まないでください。また、メモリーカードがセットされている状態で、キーボードを閉めないでください。本機およびメモリーカードの故障、破損の原因になります。
- 故障の原因となりますので、メモリーカードの挿入口にはメモリーカード(アダプター含む)以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカードの挿入口に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、ACアダプターを抜いて、販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご連絡ください。

メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードをまっすぐ手前に引き抜きます。

ランプが消えます。

重要

- 写真データの印刷や本体メモリーへの登録、メモリーカードへの登録や呼び出しを行っているときは、メモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードに保存中に「メモリーカードを引き抜かないでください」のメッセージが表示されます。メモリーカードを取り出さないでください。

ご購入後はじめて使うとき

ご購入後はじめてメモリーカードを使うときは、使用するデジタルカメラで初期化(フォーマット)することをおすすめします。

- メモリーカードを初期化しないで写真データを保存した場合、「メモリーカードエラー」になることがあります。
- メモリーカードをパソコンで初期化すると、正しく動作しないことがあります。
- メモリーカードを初期化すると、保存されている内容がすべて消えてしまいます。必要のないときは初期化しないでください。

扱える写真のデータ

デジタルカメラなどで撮影した写真のうち、次の条件を満たすデータを扱うことができます。

使用する機能によって、扱えるデータのサイズが異なります。

(1) DCF Exif2.1 (JPEG 準拠)

(2) 対応ファイルサイズ

20M byte 以下: 写真プリント
スライドショー
写真データ登録

10M byte 以下: 文面(カンタン作成、組み合わせ作成、オリジナルはがき作成、イラスト集)

写真入り日記
コメントプリント
シールプリント
写真俳句
写真カレンダー
DPOF プリント
絵画変換

容量の制約なし: インデックスプリント

(3) 最小画素数 160 × 120ピクセル

(4) 画像読み込み可能枚数 9999枚まで

■ 携帯電話やスマートフォンで撮影した写真について

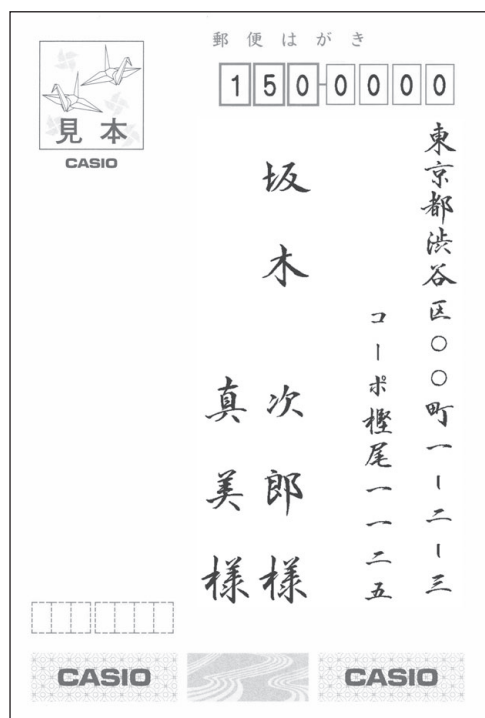
DCF規格対応の携帯電話やスマートフォンでも、撮影時の操作方法によってはDCF規格とは異なるフォルダー構成下に写真データが保存される場合があります。このような写真は本機では印刷できません。撮影した画像がDCF規格に準拠した形式でメモリーカード内に保存されるように操作してください(撮影した画像が、メモリーカードの「DCIM」フォルダーに保存されます)。また、撮影前にモードの設定が必要な場合があります。詳しくはご使用になる携帯電話やスマートフォンの取扱説明書を参照してください。

第2章 はがきの宛名印刷

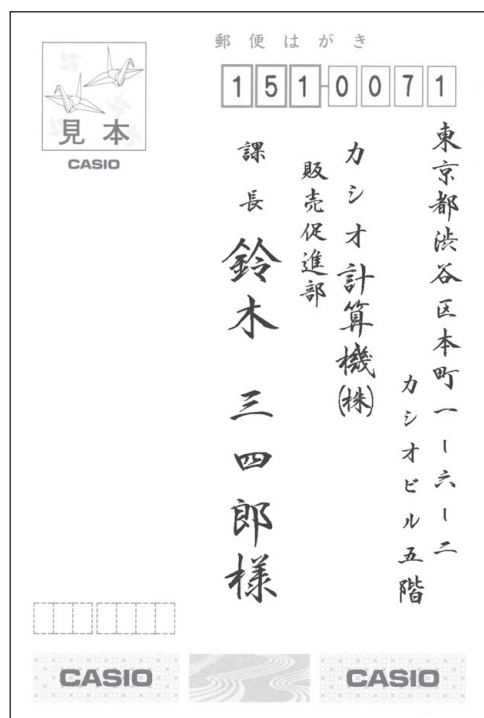
宛名作成の種類

本機の住所録に宛名を登録し、はがきの宛名面を作成・印刷できます。個人宛の宛名、会社名や役職などの入った会社宛の宛名を登録することができます。

個人宛印字例



会社宛印字例



- 差出人を登録し、宛名面に印刷することもできます。

宛名印刷の流れ

1. 宛名を登録して住所録を作成します(37ページ)

2. 差出人を登録します(50ページ)

はがきの宛名面に差出人を入れないときは、この操作は不要です。次の印刷に進んでください。

3. 印刷します(55ページ)

はがきの種類など印刷の条件を設定してから、宛名面を印刷します。

宛名を登録する(住所録の作成)

はがきに印刷するための宛名を登録し、住所録を作成します。

- 個人宛と会社宛、2種類の宛名が登録できます。

個人宛の宛名を登録する

個人宛の宛名に登録できる項目は次の通りです。

個人宛の項目

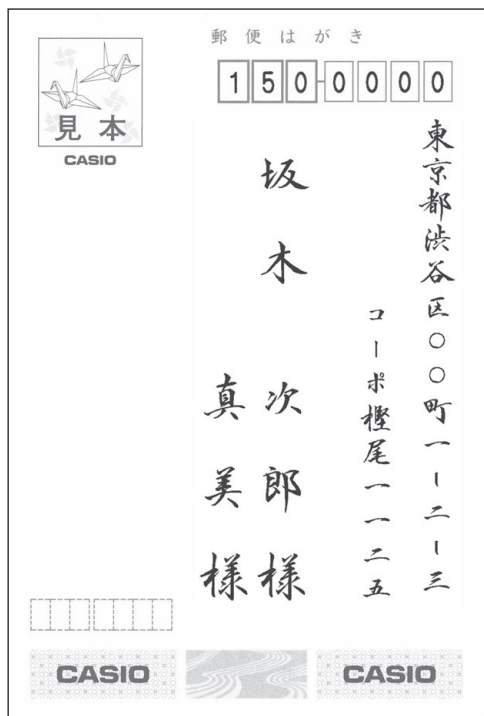
個人宛の宛名面では、連名を3つまで、住所を4行まで登録することができます。

項目	入力例	最大文字数	備考
姓 ※1	坂木	5	姓を入力します。
名 ※1	次郎	9	名前を入力します。
よみ(姓名)	さかきじろう	8	自動的に入力されます。修正することもできます。登録した宛名はこれをもとに50音順に表示されます。
敬称(姓名) ※1	様	2	最初は「様」が入っています。
連名1	真美	9	連名1に入れたい名前を入力します。
敬称(連名1)	様	2	最初は「様」が入っています。
連名2	—	9	連名2に入れたい名前を入力します。
敬称(連名2)	—	2	最初は「様」が入っています。
連名3	—	9	連名3に入れたい名前を入力します。
敬称(連名3)	—	2	最初は「様」が入っています。
〒(郵便番号)※1	1500000	7	数字だけ入力します。「-」は入力しません。
住所 ※1,2	東京都渋谷区〇〇町1-2-3 コーポ桎尾1125	15×4	4行まで入力できます。
TEL(電話番号) ※1	123-456-7890	15	宛名に印刷はできませんが、「住所録印刷」(62ページ)で印刷することができます。
マーク ※1	・	—	宛名を区別する7種のマークを入れることができます。

※1 個人宛、会社宛の両方で入力できる項目は、同じデータを使用します。

※2 個人宛と会社宛では、住所を入れられる行数が異なります。個人宛で入力した住所の3行目、4行目は会社宛の住所には表示されません(データが削除されます)。

- はがきの種類で「エコーはがき」(56ページ)や「宛名とテキスト」(60ページ)で個人宛の宛名を印刷する場合、「連名2」と「連名3」は印刷できません。

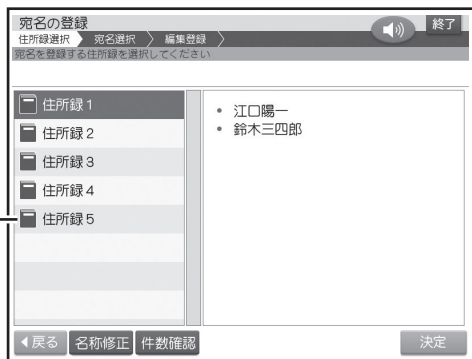


次の手順で個人宛の宛名を登録します。

- 文字の入れかたについては、「第5章 文字の入力／修正」を参照してください(147ページ)。
- 住所の入力は、郵便番号辞書機能により自動的に入力する方法と都道府県から選択して入力する方法があります。
ここでは、郵便番号辞書機能で入力する方法で説明します。都道府県から選択して入力する方法は「住所を都道府県から選択して入力する」を参照してください(41ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)で【宛名】をタッチします。

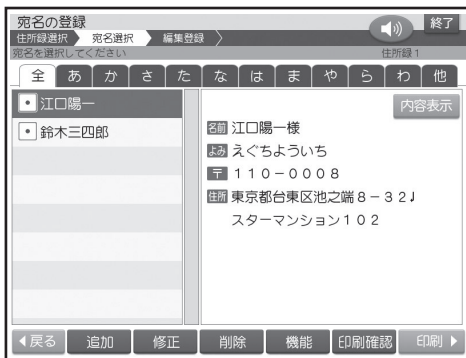
2 宛名メニューで【宛名の登録】をタッチします。



「住所録」は5つまで作ることができます

3 宛名を登録したい住所録が選ばれていることを確認し、【決定】をタッチします。

- 選ばれていない場合は、登録したい住所録をタッチし、【決定】をタッチしてください。
すでに宛名を登録してあるときは、下のような宛名一覧画面が表示されます。



- はじめて宛名を登録するときは、【宛名の登録】の確認画面が表示されます。【はい】をタッチして手順5に進んでください。

4 【追加】をタッチします。

- 個人宛の入力画面が表示されます。
- 画面の右側に印刷イメージが表示されます。
- 【印刷条件】をタッチすると、印刷設定を変更することができます(49ページ)。設定した内容に従って、印刷イメージの表示が行われます。
- 【会社宛へ】をタッチすると、会社宛の入力画面に切り替わります。



印刷イメージ

- 印刷イメージへ反映されるタイミングは、入力(変換)が確定したときです。

5 姓を入れます。

6 【名】の項目をタッチし、名を入れます。

7 【よみ】の項目をタッチします。

自動的にに入った【よみ】が正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。

- 個人宛で登録した場合は、宛名の【よみ】をもとに、50音順に並び替えられて表示されます(会社宛の会社名の【よみ】と混在)。

8 【敬称】の項目をタッチし、敬称を入れます。

最初は「様」が入っています。修正する必要がなければそのまま手順9に進みます。

9 【〒】の項目をタッチし、キーボードで郵便番号を入力した後、〒⇒住所 をタッチします。

「-」(ハイフン)は省いて、7桁の数字だけ入力してください。

- 数字を入力すると音声で読み上げがされます。
- 郵便番号は、**〒** をタッチして入力することもできます(40ページ)。

郵便番号辞書機能により、自動的に住所が入ります。

- ここで【住所】の項目をタッチすることもできます(41ページ)。
- 入力した郵便番号に該当する住所が複数あるときは、住所の選択画面になります。入力したい住所をタッチしてください。また、確認のメッセージが表示されることがあります(69ページ)。

10 必要に応じて、住所の続きを入力します。

丁目 **番地** **号** をタッチすると、それぞれの文字を入力することができます。

改行マーク

住所は15文字で自動的に改行されます。住所が2行以上になるときは、印刷したときに読みやすくなるように、適切な位置で**改行**を押して、改行してください。

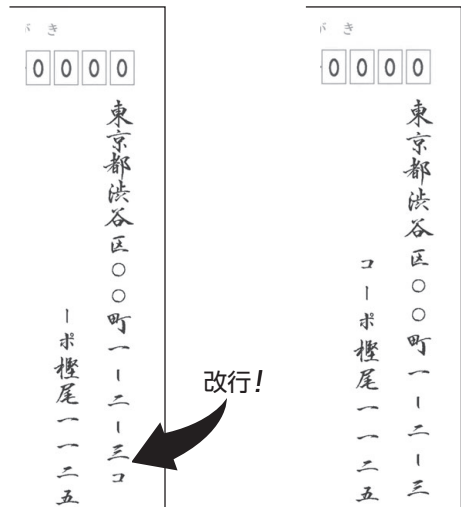
住所は4行まで入れることができます。

- 改行** をタッチして改行することもできます。

住所は区切りの良いところで改行を

改行をする／しないによって印刷の仕上がりは変わるので、キリのいい所で改行してください。

- 画面の右側の印刷イメージを見ながら、バランスを調整してください。【拡大】をタッチすると印刷イメージが拡大されます。



改行していない印刷例

改行した印刷例

11 【TEL】の項目をタッチし、電話番号を入力します。

電話番号が不要な場合は、何も入力しないで手順12に進みます。

- 電話番号ははがきの宛名面には印刷されません。住所録の一覧(62ページ)に、名前や住所と一緒に印刷されます。

12 【住所・連名】切り替えアイコンをタッチし、連名の項目に連名を入れます。

- 連名が不要な場合は、何も入力しないで手順15に進みます。

切り替えアイコン

13 【敬称】の項目をタッチし、連名の敬称を入れます。

最初は「様」が入っています。修正する必要があるればそのまま手順14に進みます。

14 続けて他の連名を入力するときは、【連名2】、【連名3】の項目をタッチし、連名を入れます。

- 連名は3つまで入れることができます。

15 必要に応じてマークをタッチし、【登録】をタッチします。

- マークは宛名を分類するための7種類の目印です(63ページ)。最初は「・」になっています。

登録を確認する画面が表示されます。

16 【はい】をタッチします。

17 宛名の登録が完了すると、「続けて他の宛名を入力しますか?」という画面が表示されます。

続けて入力するときは【はい】をタッチして、手順5以降の操作を繰り返してください。登録を終えるときは【いいえ】をタッチしてください。宛名の一覧表示に戻ります。

- 宛名を修正したり削除することができます(47、48ページ)。また、宛名面に差出人を入れることもできます(50ページ)。
- 宛名面を印刷するときは、55ページをご覧ください。

郵便番号を ㊦ で入力する

宛名または差出人の郵便番号は、画面の ㊦ をタッチして入力することもできます。ここでは宛名の操作例を示します。

1 39ページの手順9で、【〒】の項目をタッチした後、㊦ をタッチします。

郵便番号を入力する画面が表示されます。


2 数値ボタンをタッチして郵便番号を入力します。

3 入力が完了したら、【〒→住所】をタッチします。

住所を都道府県から選択して入力する

住所と郵便番号を、都道府県→市区町村→町域の順に選択して入力することができます。

1 「個人宛の宛名を登録する」の手順8までの操作をします(38ページ)。

2 【住所】の項目をタッチし、住所  をタッチします。

都道府県の選択画面が表示されます。

上段には住所を絞り込むための50音順のタブが表示されます(たとえば都道府県の選択中に「東京都」を探したいときは【た】をタッチし、た行で始まる住所を表示させます)。

- 【全】をタッチすると、すべての住所が表示されます。
- 【他】をタッチすると、数字などではじまる住所が表示されます。

以降、「市区町村」や「町域」の選択画面でも同様の操作で表示される住所を絞り込むことができます。



タブ

3 入力したい都道府県をタッチします。

市区町村の選択画面が表示されます。

4 入力したい市区町村をタッチします。

町域の選択画面が表示されます。

5 入力したい町域をタッチし、【決定】をタッチします。

個人宛の入力画面に戻り、郵便番号と住所が入力されます。

- 指定した住所の郵便番号の候補が複数あるときは、その中の1つが入力されます。入力された郵便番号を確認してから、操作を続けてください。



6 「個人宛の宛名を登録する」の手順10以降の操作をします(39ページ)。

会社宛の宛名を登録する

会社宛の宛名に登録できる項目は次の通りです。

会社宛の項目

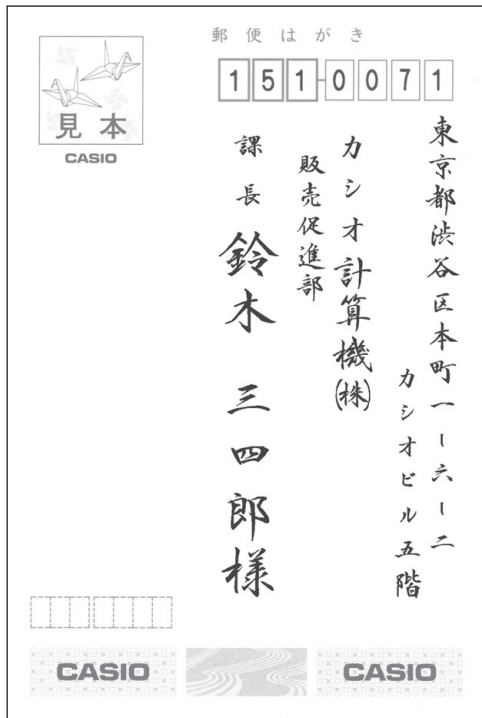
会社宛の宛名面では、会社名、部署名、役職を登録することができます。

項目	入力例	最大文字数	備考
会社名	カシオ計算機(株)	20	会社名を入力します。
よみ(会社名)	かしおけいさんき	8	自動的に入力されます。修正することもできます。登録した宛名はこれをもとに50音順に表示されます。
姓 ※1	鈴木	5	姓を入力します。
名 ※1	三四郎	9	名前を入力します。
敬称(姓名) ※1	様	2	最初は「様」が入っています。
〒(郵便番号)※1	1510071	7	数字だけ入力します。「-」は入力しません。
住所 ※1,2	東京都渋谷区本町 1-6-2 カシオビル5階	15×2	2行まで入力できます。
TEL(電話番号) ※1	120-348-5796	15	宛名に印刷はできませんが、「住所録印刷」(62ページ)で印刷することができます。
部署名	販売促進部	20	部署名を入力します。
役職	課長	20	役職を入力します。
マーク ※1	●	—	宛名を区別する7種のマークを入れることができます。

※1 個人宛、会社宛の両方で入力できる項目は、同じデータを使用します。

※2 個人宛と会社宛では、住所を入れられる行数が異なります。個人宛で入力した住所の3行目、4行目は会社宛の住所には表示されません(データが削除されます)。

印字例



次の手順で宛名を登録します。

1 「個人宛の宛名を登録する」の手順4までの操作をします(38ページ)。

個人宛の入力画面が表示されます。

2 【会社宛へ】をタッチします。

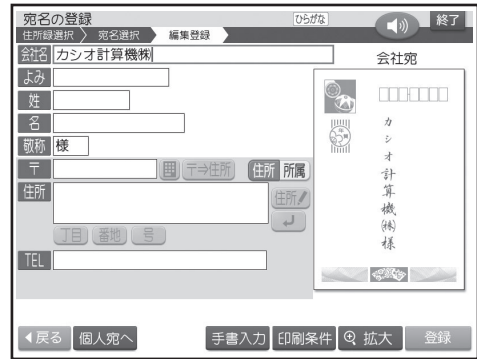
会社宛の入力画面が表示されます。

- 画面の右側に印刷イメージが表示されます。
- 【印刷条件】をタッチすると、印刷設定を変更することができます(49ページ)。設定した内容に従って、印刷イメージの表示が行われます。



印刷イメージ

3 会社名を入れます。

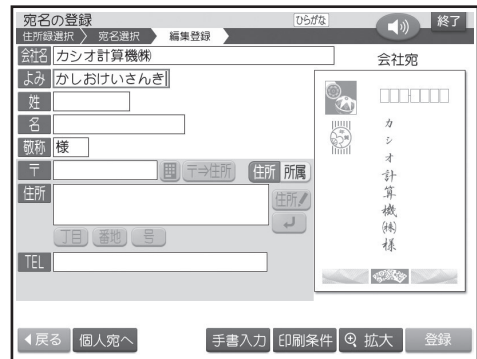


- (株)は、**英**と**漢**と押しして入力します(155ページ)。

4 【よみ】の項目をタッチします。

自動的に入った【よみ】が正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。

- 会社宛で登録した場合は、会社名の【よみ】をもとに、50音順に並び替えられて表示されます(個人宛の姓名の【よみ】と混在)。



5 【姓】の項目をタッチし、姓を入れます。

6 【名】の項目をタッチし、名を入れます。


7 【敬称】の項目をタッチし、敬称を入れます。

最初は「様」が入っています。修正する必要があるければそのまま手順8に進みます。

8 「個人宛の宛名を登録する」の手順9から11までの操作をします(39ページ)。

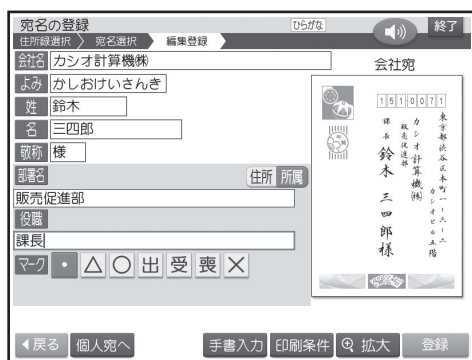
9 【住所・所属】切り替えアイコンをタッチし、部署名を入力します。

部署名が不要な場合は、何も入力しないで手順10に進みます。




10 【役職】の項目をタッチし、役職を入力します。

役職が不要な場合は、何も入力しないで手順11に進みます。



11 必要に応じてマークをタッチし、【登録】をタッチします。

- マークは宛名を分類するための7種類の目印です(63ページ)。最初は「」になっています。

登録を確認する画面が表示されます。

12 【はい】をタッチします。

13 宛名の登録が完了すると、「続けて他の宛名を入力しますか?」という画面が表示されます。

続けて入力するときは【はい】をタッチして、手順3以降の操作を繰り返してください。

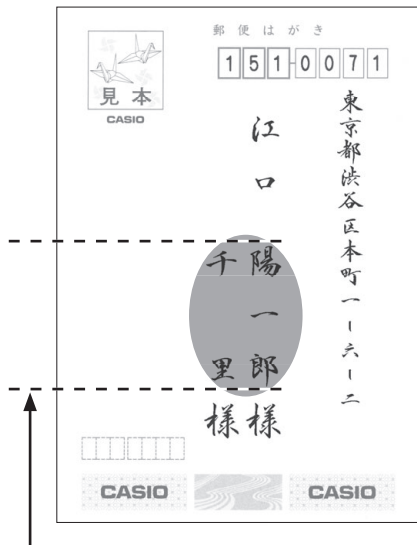
登録を終えるときは【いいえ】をタッチしてください。宛名の一覧表示に戻ります。

- 宛名を修正したり削除することができます(47、48ページ)。また、宛名面に差出人を入れることもできます(50ページ)。
- 宛名面を印刷するときは、55ページをご覧ください。

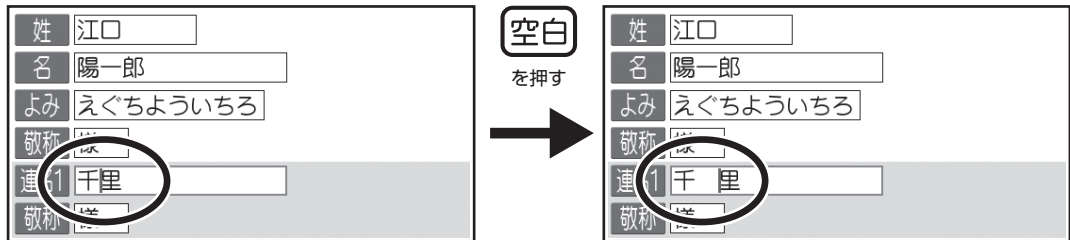
個人宛と会社宛の宛名について

- 登録した宛名は、個人宛、会社宛が混在して登録されます。個人宛の宛名は「姓名」の「よみ」、会社宛の宛名は「会社名」の「よみ」をもとに50音順に表示されます。
- 個人宛、会社宛の両方で入力できる項目は、同じデータを使用します。
- 個人宛と会社宛の宛名は、【個人宛へ】または【会社宛へ】をタッチすると切り替えることができます。個人宛の連名や会社宛の会社名など、どちらかでき入力できない項目は表示されなくなります(データは保持されます)。
- 個人宛と会社宛では、住所に入れられる行数が異なります。個人宛で入力した住所の3行目、4行目は会社宛の住所には表示されません(データが削除されます)。

連名の名前の位置をそろえて印刷するときは

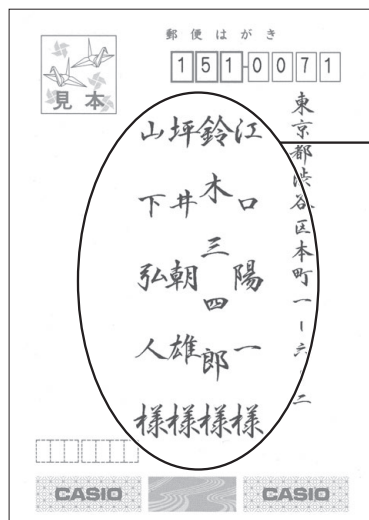


空白を入力して、「名前」と「連名」の文字数を同じにすることにより、位置をそろえることができます。



ここでは「陽一郎」と文字数を合わせるために、「千里」に空白を入力します。

別姓の複数の人宛てに出したいときは



次のように入力します。

- ・姓:何も入力せず
- ・名:江口陽一
- ・連名1:鈴木三四郎
- ・連名2:坪井朝雄
- ・連名3:山下弘人

登録した宛名を確認する

確認方法には次の2種類があります

- 50音順に確認する
- 特定の条件に合った人だけ確認する(検索)

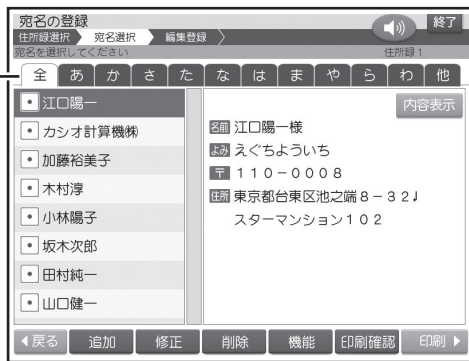
50音順に確認する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 確認したい宛名の住所録を選び、【決定】をタッチします。

50音順のタブが表示されます。確認したいタブをタッチします(「坂木」という宛名を確認する場合は、【さ】をタッチし、さ行の宛名を表示させます)。

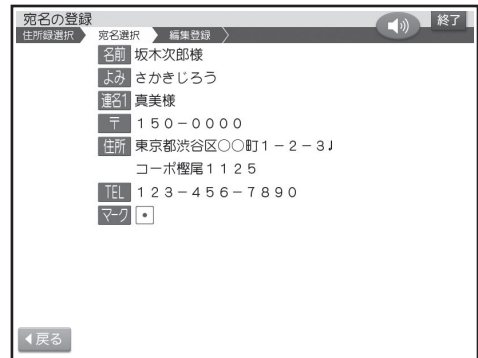
- 【全】をタッチすると、すべての宛名が表示されます。
- 【他】をタッチすると、アルファベットや記号ではじまる宛名が表示されます。



タブ

個人宛で登録した宛名は、名前(姓名)が表示され、会社宛で登録した宛名は、会社名が表示されます。

3 確認したい宛名を選び、【内容表示】をタッチします。



【戻る】をタッチすると、宛名の一覧表示に戻ります。

特定の条件に合った宛名だけ確認する(検索)

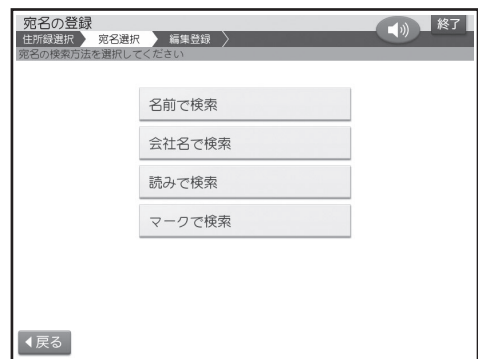
次の条件を指定して、該当する宛名だけ確認することができます。

- 名前で検索する
- 会社名で検索する
- 読みで検索する
- マークで検索する(63ページ)

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 確認したい宛名の住所録を選び、【決定】をタッチします。

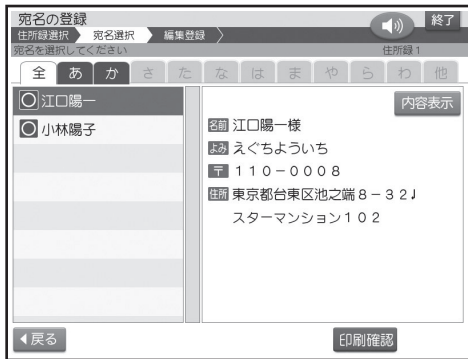
3 【機能】→【宛名の検索】の順にタッチします。



4 検索方法をタッチします。

5 検索条件を入力します。

- 名前で検索
名前(姓・名)を入れ、【決定】をタッチします。
- 会社名で検索
会社名を入れ、【決定】をタッチします。
- 読みで検索
読みを入れ、【決定】をタッチします。
- マークで検索
検索対象にするマークをタッチします。



検索が完了すると、該当する宛名が表示されます。

- 会社名で検索したときは、会社宛の宛名のみが表示されます。それ以外は個人宛および会社宛の宛名が表示されます。
- 会社宛の宛名は会社名の順に表示されます。
- 【内容表示】をタッチすると、選択された宛名の登録内容が表示されます。

宛名を編集する

宛名を修正する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。
- 2 修正したい宛名の住所録を選び、【決定】をタッチします。
- 3 修正したい宛名を選び、【修正】をタッチします。



4 修正したい項目をタッチし、内容を修正します(156ページ)。

- 修正を途中でやめるときは、【戻る】をタッチしてください。
- 登録するときと異なり、「姓」、「名」や「会社名」で入れた漢字の読みが「よみ」に反映されません。「姓」、「名」や「会社名」を変更したときは、「よみ」も必要に応じて変更してください。

5 修正が終わったら【登録】をタッチします。

- 【登録】をタッチするときは、どの項目にカーソルがあってもかまいません。修正を確認する画面が表示されます。

6 【はい】をタッチします。

修正が完了したことを示すメッセージが表示された後、宛名の一覧表示に戻ります。

宛名を削除する

次の方法で宛名を削除できます。

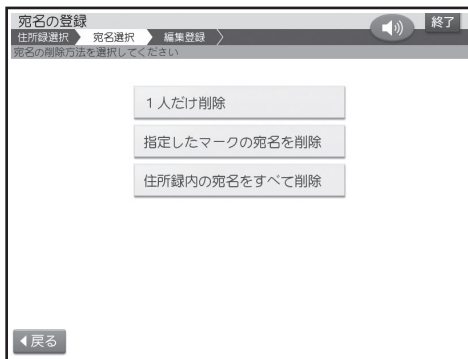
- 1件ずつ選んで削除する
- 特定のマークを付けた宛名だけ削除する(63ページ)
- 住所録内のすべての宛名を削除する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 削除したい宛名の住所録を選び、【決定】をタッチします。

3 削除したい宛名を選び、【削除】をタッチします。

- 「特定のマークを付けた宛名を削除する」ときや「住所録内のすべての宛名を削除する」ときは、宛名を指定する必要はありません。削除の方法を選ぶ画面が表示されます。



4 使いたい削除方法をタッチします。

- 【指定したマークの宛名を削除】をタッチしたときは、次の画面で削除の対象にするマーク(63ページ)をタッチします。選択したマークがついている宛名が1件も登録されていない場合は、「該当データなし」のメッセージが表示されます。【確認】をタッチして、マークを選び直してください。

削除を確認する画面が表示されます。

5 【はい】をタッチします。

削除が完了したことを示すメッセージが表示された後、宛名の一覧表示に戻ります。

- 削除後に宛名が0件になった場合は、住所録の一覧表示に戻ります。

宛名を複写する

次の方法で宛名を他の住所録に複写することができます。

- 1件ずつ選んで複写する
- 特定のマークを付けた宛名だけ複写する(63ページ)
- 住所録内のすべての宛名を複写する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

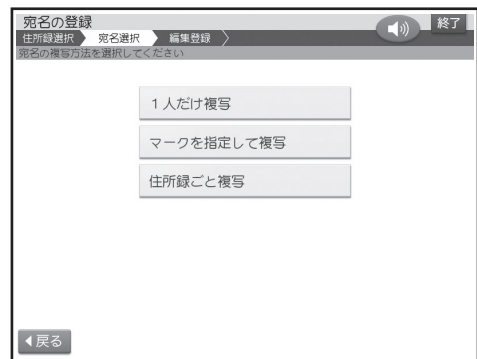
2 複写したい宛名の住所録を選び、【決定】をタッチします。

3 複写したい宛名を選び、【機能】をタッチします。

- 「特定のマークを付けた宛名を複写するとき」や「住所録内のすべての宛名を複写するとき」は、宛名を指定する必要はありません。

4 【宛名の複写】をタッチします。

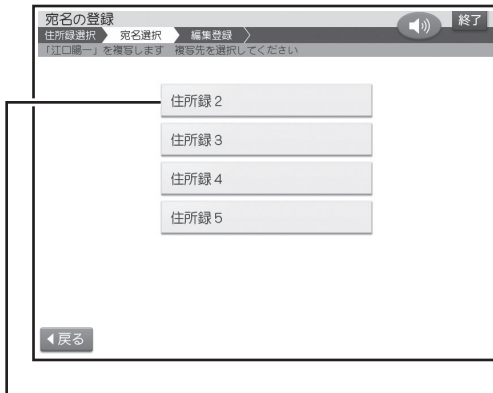
複写の方法を選ぶ画面が表示されます。



5 使いたい複写方法をタッチします。

複写先の住所録を選ぶ画面が表示されます。

- 【マークを指定して複写】をタッチしたときは、この画面の前に複写の対象にするマークをタッチします。



手順 2 で選んだ住所録は表示されません(同じ住所録に複写することはできません)

6 複写先の住所録をタッチします。

複写が完了したことを示すメッセージが表示された後、複写元の宛名の一覧表示に戻ります。

印刷条件を変更する

宛名の入力中に【印刷条件】をタッチすると、印刷設定を変更することができます。

1 宛名の入力中に、【印刷条件】をタッチします。

印刷設定画面が表示されます。



画面の右側に印刷イメージが表示されます。【拡大】をタッチすると、印刷イメージが拡大されます。

2 変更する項目の内容(56ページ)を指定した後、【決定】をタッチします。

- 「マーク」の設定はできません。
- 「差出人」の設定を変更する場合は、【差出人】をタッチした後、印刷したい差出人をタッチします。差出人を印刷したくない(宛名だけ印刷したい)ときは【差出人は印刷しない】をタッチしてください。

差出人を登録する

差出人を5名まで登録できます。

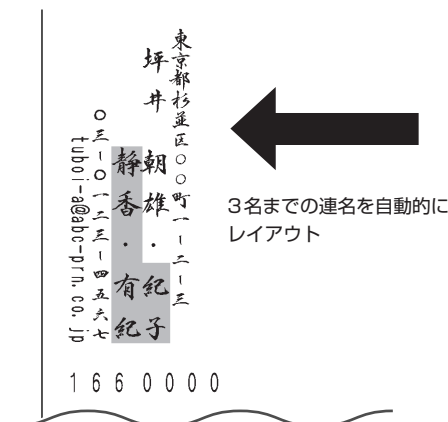
- 登録した差出人は、はがきの宛名面だけでなく文面にも印刷できます。

登録フォーマットと印刷例

差出人の登録フォーマットには次の2つがあります。

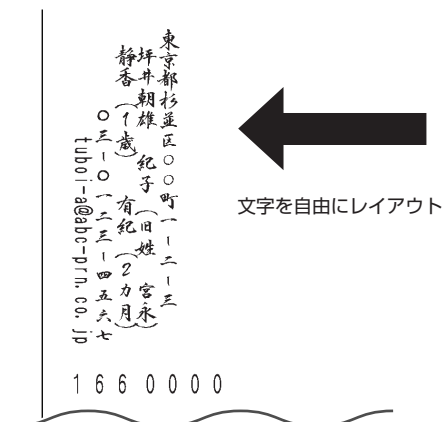
登録フォーマット1

連名の位置を揃えて印刷できます。



登録フォーマット2

旧姓や年齢なども印刷できます。



- 通常は、「登録フォーマット1」の入力状態になります。登録フォーマット2に切り替えて入力したい場合は、「差出人の登録フォーマットを切り替える」を参照してください(53ページ)。

登録フォーマット1の入力項目

項目	入力例	最大文字数	備考
姓	坪井	5	
名	朝雄	4	
連名1	紀子	4	連名にしたい名前を入力(最大3名)します。名前と名前の間に自動的に・を印刷します。
連名2	静香	4	
連名3	有紀	4	
〒(郵便番号)	1660000	7	数字だけ入力します(-は不要)
住所	東京都杉並区〇〇町1-2-3	15×3	3行まで入力できます。
TEL(電話番号)	03-0123-4567	15	数字以外も入力できます。
メール	tuboi-a@abc-prn.co.jp	30	半角文字で入力します。

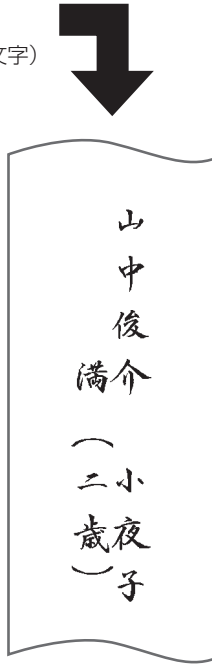
登録フォーマット2の入力項目

項目	入力例	最大文字数	備考
名前1	坪井朝雄 (空白) 紀子(旧姓 (空白) 宮永)	15	入力した通りに印刷されるので、必要に応じて、(空白)を押して空白を入力してください。
名前2	静香(1歳) (空白) 有紀(2カ月)	15	
〒(郵便番号)	1660000	7	数字だけ入力します(-は不要)
住所	東京都杉並区〇〇町1-2-3	15×3	3行まで入力できます。
TEL(電話番号)	03-0123-4567	15	数字以外も入力できます。
メール	tuboi-a@abc-prn.co.jp	30	半角文字で入力します。

「登録フォーマット2」では、「名前1」「名前2」の入力文字数を同じにすると、入力通りのレイアウトで印刷されます（空白を入力して文字数を調整します）。

例 名前1 (7文字+空白=8文字)
山中俊介 空白 小夜子

名前2 (5文字+空白3=8文字)
空白 × 3 満(二歳)

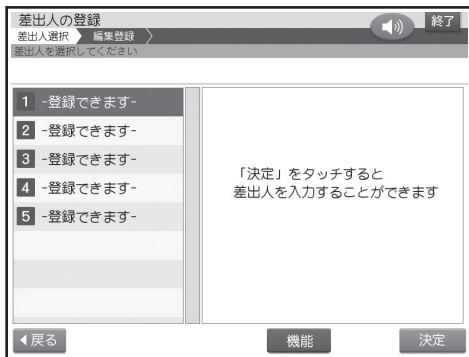


次の手順で差出人を登録します。
ここでは、50ページの「登録フォーマット1」と「登録フォーマット2」の例で説明します。

- 文字の入れかたについては、「第5章 文字の入力/修正」を参照してください(147ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)で【宛名】をタッチします。

2 宛名メニューで【差出人の登録】をタッチします。



3 【1】～【5】の登録したい場所を選び、【決定】をタッチします。

差出人を入力する画面が表示されます。



4 名前や連名を入力します。

1つの項目への入力が終わったら、次の項目をタッチして次の入力に進んでください。

登録フォーマット1の入力例



登録フォーマット2の入力例



• 「登録フォーマット1」と「登録フォーマット2」の切り替え方法は、53ページを参照してください。

連名にする必要がないとき

登録フォーマット1:「姓」「名」だけ入力

登録フォーマット2:「名前1」だけ入力

5 キーボードで郵便番号を入れて、**〒⇒住所** をタッチします。

郵便番号辞書機能により、自動的に住所が入ります。

- 郵便番号は、「-」(ハイフン)は省いて、7桁の数字だけ入力してください。
- 数字を入力すると音声で読み上げがされます。
- 郵便番号は、**〒** をタッチして入力することもできます(40ページ)。

- 入力した郵便番号に該当する住所が複数あるときは、住所の選択画面になります。この場合は入力したい住所をタッチしてください。また、確認のメッセージが表示されることがあります(69ページ)。

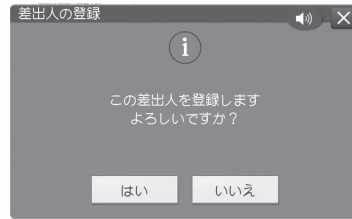
6 必要に応じて、住所の続きを入れます。

- 住所が2行以上になるときは、印刷したときに読みやすくなるように、適切な位置で **改行** を押して、改行してください。

7 引き続き、電話番号、メールアドレスを入れて**【登録】**をタッチします。

- 次の項目に進むときは、次の項目をタッチします(何も入れずに次の項目をタッチすると、空欄になります)。
- 前の項目に戻りたいときは、前の項目をタッチします。
- 登録を途中でやめるときは**【戻る】**をタッチします。
- メールアドレスの「@」は **㊟** を押して入力します。

- はがきの種類で「エコーはがき」(56ページ)や「宛名とテキスト」(60ページ)は、「電話番号」、「メール」は印刷できません。登録を確認する画面が表示されます。



8 **【はい】**をタッチします。

登録が完了したことを示すメッセージが表示された後、差出人表示の画面に戻ります。

- 入力中に**【印刷確認】**をタッチすると、差出人の印刷確認画面(印刷イメージ)が表示されます(19ページ)。

文面から差出人を登録する

差出人は宛名面と文面で共通です。

文面から差出人を登録する場合は、下記のように操作します。

1 トップメニュー画面(21ページ)から**【はがき文面】**→**【差出人登録】**の順にタッチします。

差出人表示の画面になります。

2 「差出人を登録する」の手順3以降の操作をします(51ページ)。

会社名を差出人に登録するには

登録フォーマット2(50ページ)で次のように入力します。

- 住所: 東京都渋谷区本町1-6-2
- 名前1: カシオ計算機株式会社 **空白** 販売促進課
- 名前2: **空白** 鈴木 **空白** 三四郎

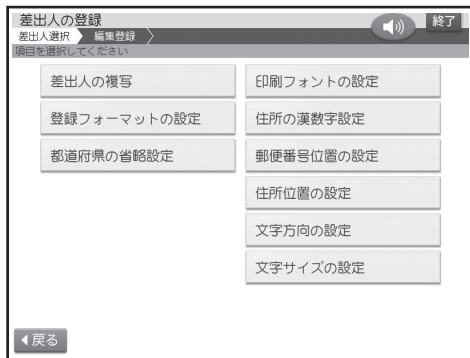
(横と入力したいときは) **→** **㊟** **㊦** と押して入力します(155ページ)。

差出人の登録フォーマットを切り替える

- はじめてご使用になるときは、登録フォーマット1 (50ページ)になっています。
- すでに登録されている差出人のフォーマットを変更すると、名前や連名が入れ直しになります。その他の項目の内容はそのまま残ります。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【差出人の登録】の順にタッチします。

2 フォーマットを切り替えたい差出人を選び、【機能】をタッチします。



3 【登録フォーマットの設定】をタッチします。

4 【登録フォーマット1】または【登録フォーマット2】をタッチします。

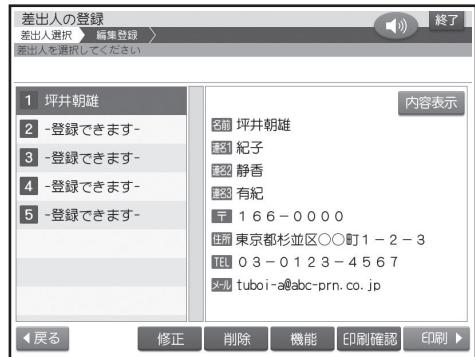
差出人の登録画面になります。

- 「登録フォーマット2」に設定された差出人は、差出人表示画面の差出人番号アイコンが で囲まれます(例: 1 → 1)。

差出人の登録内容を確認する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【差出人の登録】の順にタッチします。

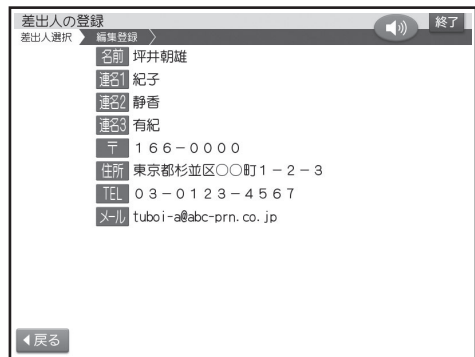
2 確認したい差出人を選びます。



3 【内容表示】をタッチします。

差出人の登録内容が表示されます。

- 登録したとき空欄だった項目は表示されません。



【戻る】をタッチすると、差出人表示に戻ります。

差出人を編集する

差出人を修正する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【差出人の登録】の順にタッチします。
- 2 修正したい差出人を選び、【修正】をタッチします。

- 3 修正したい項目をタッチし、内容を修正します(156ページ)。
 - 修正を途中でやめるときは、【戻る】をタッチします。
- 4 修正が終わったら【登録】をタッチします。

修正を確認する画面が表示されます。

 - 【登録】をタッチするときには、どの項目にカーソルがあってもかまいません。
- 5 【はい】をタッチします。

修正が完了したことを示すメッセージが表示された後、差出人表示の画面に戻ります。

 - 修正中に【印刷確認】をタッチすると、差出人の印刷確認画面(印刷イメージ)が表示されます(19ページ)。

差出人を削除する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【差出人の登録】の順にタッチします。
- 2 削除したい差出人を選び、【削除】をタッチします。

削除を確認する画面が表示されます。
- 3 【はい】をタッチします。

削除が完了したことを示すメッセージが表示された後、差出人表示に戻ります。

差出人を複写する

差出人のデータを複写できます。同じ住所で差出人の名前だけを変えたいときなどに便利です。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【差出人の登録】の順にタッチします。
- 2 複写したい差出人を選び、【機能】をタッチします。
- 3 【差出人の複写】をタッチします。
- 4 複写先をタッチします。

複写が完了したことを示すメッセージが表示された後、差出人表示の画面に戻ります。

 - 選んだ複写先にすでに差出人が登録されているときは、確認のメッセージが表示されます。【はい】をタッチすると、新しい内容が上書きされます。

印刷する

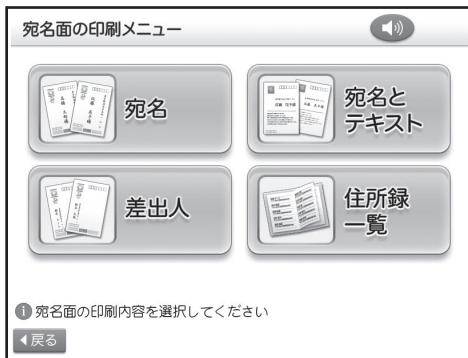
すべての宛名を印刷する

個人宛で登録された宛名は個人宛のフォーマットで、会社宛で登録された宛名は会社宛のフォーマットで印刷されます。

重要

- 印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。
- はがきの種類で「エコーはがき」(56ページ)や「宛名とテキスト」(60ページ)で個人宛の宛名を印刷する場合、「連名2」と「連名3」は印刷できません。また、「エコーはがき」「宛名とテキストの印刷」で差出人を印刷する場合、「電話番号」、「メール」は印刷できません。

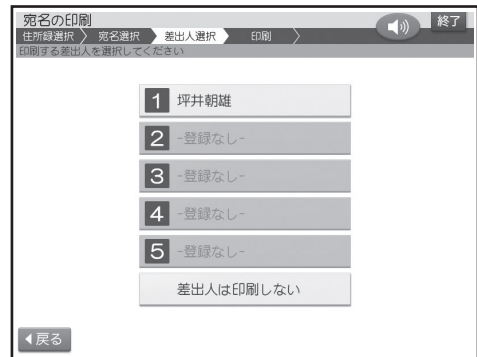
1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名面の印刷】の順にタッチします。



2 【宛名】をタッチします。

3 印刷したい住所録を選び、【決定】をタッチします。

4 【すべての宛名を印刷】をタッチします。差出人を選択する画面が表示されます。



5 印刷したい差出人をタッチします。

- 差出人を印刷したくない(宛名だけ印刷したい)ときは【差出人は印刷しない】をタッチしてください。

印刷設定画面が表示されます。



画面の右側に印刷イメージが表示されます。【拡大】をタッチすると、印刷イメージが拡大されます。

6 設定する項目の内容(このページ)を指定した後、【印刷】をタッチします。

7 画面のメッセージに従って、挿入方向を確認しながら印刷面を表にして用紙をセットします(29ページ)。

8 排紙トレイを引き出してから【印刷開始】をタッチします。

印刷が始まります。印刷が終わると、宛名メニューに戻ります。

9 印刷が終わったら、排紙トレイを「カチッ」と音がするまで戻してください。

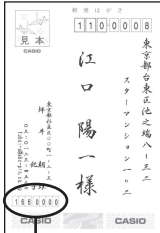
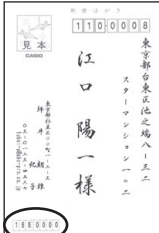

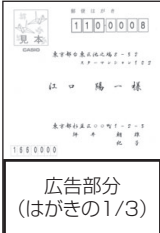
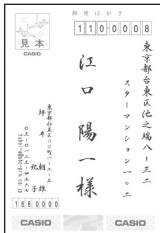
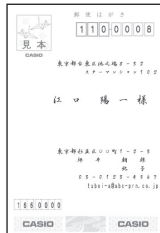
- 郵便番号や住所の位置がずれて印刷された場合は、印刷位置を調整してください(65ページ)。



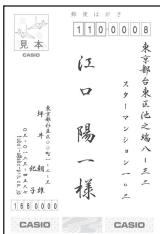
宛名一覧画面からの印刷

- 宛名一覧画面から印刷することもできます。【印刷】をタッチして、手順4以降の操作をしてください。

■ 宛名印刷の印刷設定画面の項目

項目をタッチすると、それぞれの内容を設定する画面が表示されます。必要に応じて設定を変更してください。

項目	内容
はがきの種類	<p>年賀はがき・普通はがき・かもめ〜る・エコーはがきのうちの用紙に印刷するかを指定します(「宛名とテキスト」は普通はがきで固定されます)。異なった用紙を指定すると印刷の位置がずれることがあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>• 年賀はがき (くじ付きのはがき)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>• 普通はがき</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>• かもめ〜る</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>• エコーはがき</p>  </div> </div> <p>差出人の郵便番号の位置が違います</p>
文字の方向	<p>縦書き/横書き、どちらのフォーマットで印刷するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エコーはがきと「宛名とテキスト」は横書きで固定され、縦書きのフォーマットは選べません。 • 宛名の一覧表示、差出人の表示中に【機能】をタッチすると表示されるメニューからも、「文字方向の設定」を行うことができます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>• 縦書き</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>• 横書き</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">↔</p>

項目	内容
<p>フォント</p>	<p>印刷時の書体(フォント)を指定します。 ゴシック体・丸ゴシック体・明朝体・毛筆流麗体・毛筆楷書体が指定できます。</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p style="text-align: center;"> ゴシック体 丸ゴシック体 明朝体 毛筆流麗体 毛筆楷書体 </p>
<p>マーク</p>	<p>マークを指定し、そのマークのついた宛名を印刷するかどうか設定できます。各マークの【印刷する】または【印刷しない】をタッチし、【決定】をタッチしてください。 「すべて印刷」では、マークの指定の有無に関わらず、<input checked="" type="checkbox"/> マーク以外のすべての宛名を印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> マークの宛名は常に印刷されません。 • 「1人ずつ選んで印刷」「差出人だけ印刷」では、「マーク」の指定はできません。
<p>文字サイズ</p>	<p>宛名と差出人の文字サイズを、大、標準、小から指定することができます(横書きの場合は標準で固定されます)。 「宛名の文字サイズ」または「差出人の文字サイズ」の文字サイズを指定し、【決定】をタッチします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 宛名の一覧表示、差出人の表示中に【機能】をタッチすると表示されるメニューからも、「文字サイズの設定」を行うことができます。 • 宛名と差出人で異なる文字サイズを指定した場合は、印刷設定画面に 宛 (宛名) アイコン・ 差 (差出人) アイコンとそれぞれの文字サイズが表示されます。 • 文字サイズの設定を変更しても、文字数や行数によっては、印刷したときの文字サイズが変わらない場合があります。 <p style="text-align: center;"> • 文字サイズ-大 • 文字サイズ-標準 • 文字サイズ-小 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
<p>部数</p>	<p>同じ宛名を何枚印刷するかを指定します(印刷する宛名の合計枚数ではありません)。通常は「1部ずつ」のままにします。同じ宛名の人を複数枚印刷するときに、必要な部数を指定します。最大で「99部」まで指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「差出人」の印刷は印刷設定画面で設定できます。 <p>「宛名」と「宛名とテキスト」の印刷は印刷設定画面で【機能】をタッチすると表示されるメニューから設定できます。「住所録一覧」の印刷は住所録一覧画面で【機能】をタッチすると表示されるメニューから設定できます。</p>

- フォントを「毛筆流麗体」に指定して印刷した場合、文字が若干重なることがあります。

途中の宛名から印刷する

指定した宛名から印刷することができます。「すべての宛名を印刷」で途中で印刷を中止した場合などに便利です。

個人宛で登録された宛名は個人宛のフォーマットで、会社宛で登録された宛名は会社宛のフォーマットで印刷されます。

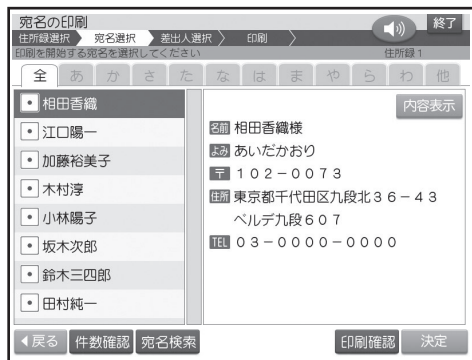
重要

- 印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。
- 「エコーはがき」「宛名とテキスト」で個人宛の宛名を印刷する場合、「連名2」と「連名3」は印刷できません。また、「エコーはがき」「宛名とテキスト」で差出人を印刷する場合、「電話番号」、「メール」は印刷できません。

1 「すべての宛名を印刷する」の手順3までの操作をします(55ページ)。

2 【途中の宛名から印刷】をタッチします。

宛名の一覧が表示されます。



3 印刷を開始する宛名を選び、【決定】をタッチします。

- ここで【宛名検索】をタッチし、宛名の検索機能を使うこともできます(46ページ)。検索後は、【戻る】をタッチして、印刷を開始したい宛名を選びます。

印刷を開始する宛名の確認メッセージが表示されます。【はい】をタッチすると、差出人の選択画面が表示されます。

4 「すべての宛名を印刷する」の手順5以降の操作をします(55ページ)。

1人ずつ選んで印刷する

個人宛で登録された宛名は個人宛のフォーマットで、会社宛で登録された宛名は会社宛のフォーマットで印刷されます。

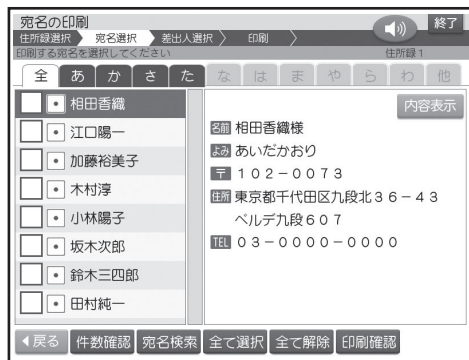
重要

- 印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。
- 「エコーはがき」「宛名とテキスト」で個人宛の宛名を印刷する場合、「連名2」と「連名3」は印刷できません。また、「エコーはがき」「宛名とテキスト」で差出人を印刷する場合、「電話番号」、「メール」は印刷できません。

1 「すべての宛名を印刷する」の手順3までの操作をします(55ページ)。

2 【1人ずつ選んで印刷】をタッチします。

宛名の一覧が表示されます。

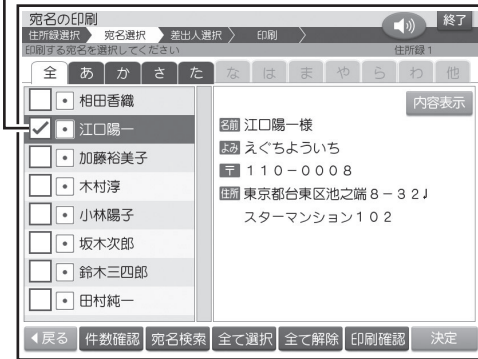


- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

3 印刷したい宛名をタッチします。

選んだ宛名の先頭に「」が表示されます。取り消すときは、もう一度タッチします。

「」が表示



- 【全て選択】をタッチすると、すべての宛名の先頭に「」が表示されます。取り消すときは、【全て解除】をタッチします。
- のマークの宛名も印刷することができます(63ページ)。
- ここで【宛名検索】をタッチして、宛名の検索機能を使うこともできます(46ページ)。検索後は、【戻る】をタッチして、印刷したい宛名を選びます。

4 手順3の操作を繰り返して、印刷したい宛名をタッチし、【決定】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。

5 「すべての宛名を印刷する」の手順5以降の操作をします(55ページ)。

印刷設定画面で「マーク」は設定できません。

差出人だけを印刷する

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名面の印刷】の順にタッチします。

2 【差出人】をタッチします。

3 印刷したい差出人をタッチします。

印刷設定画面が表示されます。

4 「すべての宛名を印刷する」の手順6以降の操作をします(56ページ)。

差出人の画面から印刷する

差出人表示画面からも次の手順で印刷することができます。

1 印刷する差出人を選び、【印刷】をタッチします。

印刷設定画面が表示されます。

2 「すべての宛名を印刷する」の手順6以降の操作をします(56ページ)。

宛名と文章を一緒に印刷する

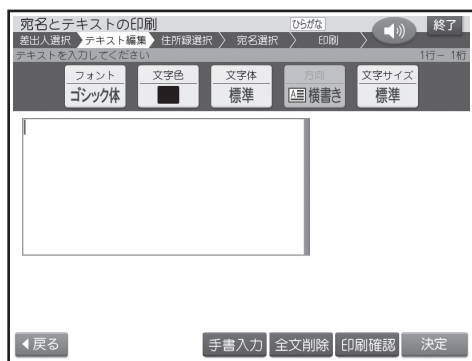
宛名面の上半分に宛名、下半分に文章を印刷することができます。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名面の印刷】の順にタッチします。

2 【宛名とテキスト】をタッチします。
差出人を選択する画面が表示されます。

3 印刷したい差出人をタッチします。

- 差出人を印刷したくないときは【差出人は印刷しない】をタッチしてください。
文章を入力する画面が表示されます。
- 差出人を印刷する場合は、入力できる行数が減ります。



4 文章を入力し(147ページ)、【決定】をタッチします。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。
- 入力の終了を確認する画面が表示されます。【はい】をタッチしてください。

【印刷確認】をタッチすると、入力した文章の印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

5 印刷する住所録を選び、【決定】をタッチします。

ここでは「すべての宛名を印刷」の例で説明します。

- 「途中の宛名から印刷」の操作は58ページの手順3以降をご覧ください。
- 「1人ずつ選んで印刷」の操作は59ページの手順3以降をご覧ください。

6 【すべての宛名を印刷】をタッチします。
印刷設定画面が表示されます。

7 設定する項目(56ページ)の内容を指定した後、【印刷】をタッチします。

8 「すべての宛名を印刷する」の手順7以降の操作をします(56ページ)。

便利な機能

宛名面で行える機能(文字の書体の設定、住所録の印刷など)について説明します。

宛名面に印刷する文字の書体(フォント)を変更する

宛名面の「印刷書体(フォント)」を変更することができます。

あ あ あ あ あ

ゴシック体

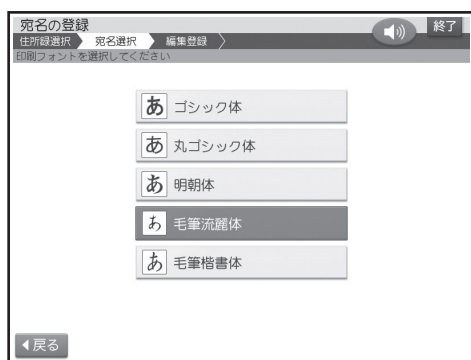
丸ゴシック体

明朝体

毛筆流麗体

毛筆楷書体

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。
- 2 宛名が登録してある住所録を選び、【決定】をタッチします。
- 3 【機能】をタッチします。
- 4 【印刷フォントの設定】をタッチします。



- 5 書体(フォント)をタッチします。

宛名の一覧表示に戻ります。

- 差出人の表示中に【機能】をタッチすると表示されるメニューからも、「印刷フォントの設定」を行うことができます。

重要

- 印刷書体によって、印刷する文字の大きさに差があります。
- フォントを「毛筆流麗体」に指定した場合、差出人のメールアドレスは「丸ゴシック体」で印刷されます。
- フォントを「毛筆流麗体」に指定して印刷した場合、文字が若干重なることがあります。
- フォントは各住所録で共通の設定です。
- 住所録印刷では、ここでの設定に関わらず、常に「ゴシック体」で印刷されます(62ページ)。

宛名の一覧を印刷する(住所録印刷)

登録した宛名の一覧を印刷することができます。個人宛、会社宛の両方で入れた宛名が印刷されます。会社宛で入れた宛名は、会社名の順に印刷されます。宛名の登録で、「電話番号」を入力した場合は、電話番号も印刷されます。

印刷方法には次の3種類があります。

- すべての宛名を印刷:登録したすべての宛名を印刷します。
- 途中の宛名から印刷:住所録の途中の宛名以降の宛名をすべて印刷します。
- 1人ずつ選んで印刷:1件ずつ選んで印刷します。

・ 相田太郎様 香織様 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-6-4 3 ベルテ九段B07 03-0000-0000
・ 青山雄一様 広美様 〒141-0031 東京都品川区西五反田8-9-4 1 03-0000-0000
・ 伊藤次郎様 雅美様 厚太郎様 和康様 〒110-0008 東京都台東区池之端8-3-2 03-0000-0000
・ 江藤一樹様 優花様 〒454-0139 愛知県海部郡飛鳥村 松野橋北ノ割5-2-5 ネクストサンデー102 000-0000-0000
・ カシオ計算機㈱ 販売促進部 藤森 鈴木三四郎様 〒151-0071 東京都渋谷区本町1-6-2 カシオビル5階 120-348-5796

住所録は、用紙サイズ:はがきサイズ、フォント(書体):ゴシック体で印刷されます。
用紙サイズ、フォントを変更することはできません。

「マーク」で を指定した宛名も印刷されます。

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名面の印刷】の順にタッチします。

2 【住所録一覧】をタッチします。

住所録の一覧が表示されます。
このまま住所録を印刷するときには、手順5に進みます。

3 【機能】をタッチします。



4 必要に応じて、部数、濃度、住所位置を設定します(57、67、68ページ)。

設定が終了すると、住所録の一覧表示に戻ります。

5 印刷する住所録を選び、【決定】をタッチします。

ここでは「すべての宛名を印刷」の例で説明します。

- 「途中の宛名から印刷」の操作は58ページの手順3以降をご覧ください。
- 「1人ずつ選んで印刷」の操作は59ページの手順3以降をご覧ください。

6 【すべての宛名を印刷】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

7 印刷面を表にして用紙をセット(29ページ)し、排紙トレイを引き出してから【印刷開始】をタッチします。

印刷が始まります。

印刷が終わると、宛名メニューに戻ります。

8 印刷が終わったら、排紙トレイを「カチッ」と音がするまで戻してください。

登録している宛名の件数を確認する

住所録ごとに、どのくらい宛名が登録されているのかを確認できます。

- 宛名は約1000件登録できます。登録されている内容によって件数は異なります。

1 【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 宛名が登録されている住所録を選び、【件数確認】をタッチします。

住所録内の宛名の登録件数と、住所録用のメモリの全使用量が表示されます。

- 他の住所録をタッチすると、その住所録の登録件数を表示します。



【戻る】をタッチすると住所録の一覧表示に戻ります。

- 宛名の一覧表示で【機能】をタッチすると表示されるメニューからも、「登録件数の確認」を行うことができます。

宛名を分類するためのマークを付ける

宛名のグループを分ける目印として「マーク」を使うことができます。マークは次の7種類です。

■ マークの種類

			一般的な分類に使います。たとえば、● を付けたグループは会社の同僚、○ は友人、△ は親戚、などの使い分けができます。特に選ばなければ「●」が付けられます。
			印刷しない宛名に付けます。× のついた宛名は、「すべての宛名を印刷」「途中の宛名から印刷」の印刷では印刷されません。
			年賀状などのやりとりの状況や喪中の人を記録するために使います。

はがきの
宛名印刷

マークを変更する

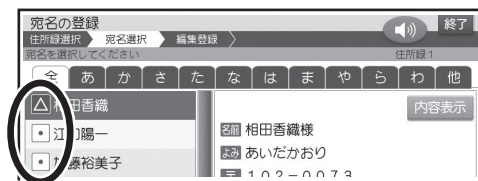
次の方法でマークを変更できます。

- 1 件ずつ選んで変更する
- マーク別にまとめて変更する

■ 1 件ずつ変更する

1 宛名の一覧表示で、変更したい宛名のマークをタッチします。

タッチするたびに、マークが切り替わります。続けて他の宛名のマークを変更するときは、この操作を繰り返してください。



■ マーク別にまとめて変更する

宛名に付けた特定のマークを、一括して他のマークに変更します。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 マークを変更したい住所録を選び、【決定】をタッチします。

3 【機能】をタッチします。

4 【マークの一括設定】をタッチします。



5 変更前のマークをタッチします。

6 変更後のマークをタッチし、【決定】をタッチします。

住所録の名前を変更する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【宛名】→【宛名の登録】の順にタッチします。

2 名前を変更したい住所録を選び、【名称修正】をタッチします。

住所録の名前を変更する画面が表示されます。

3 【後退】を何回か押して不要な文字を消してから、新しい住所録の名前を入力します。

住所録の名前は8文字以内で入力してください。

4 【決定】をタッチします。

修正を確認する画面が表示されます。

5 【はい】をタッチします。

修正が終わり、住所録表示の画面に戻ります。

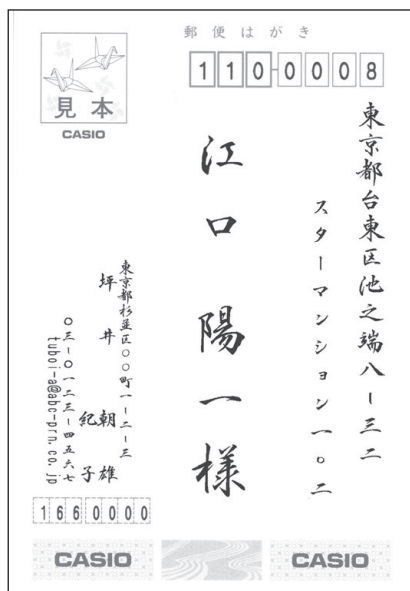
縦書き印刷のとき、漢数字と算用数字を切り替える

宛名や差出人を縦書きで印刷するとき、「住所」および「電話番号」の項目の数字は自動的に漢数字(一、二、三など)になります。これを算用数字(1、2、3など)で印刷することができます。

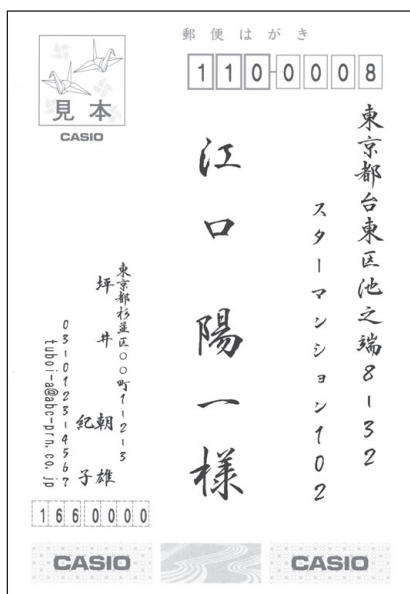
重要

この設定は、宛名面の宛名と差出人の「住所」と「電話番号」、および文面の差出人の「住所」と「電話番号」に反映されます。

漢数字の場合



算用数字の場合



- 宛名表示、差出人表示、または宛名印刷の印刷設定画面で【機能】をタッチします。
- 【住所の漢数字設定】をタッチします。
- 【漢数字にして印刷】または【算用数字のまま印刷】をタッチします。

設定が完了し、宛名表示、差出人表示または印刷設定画面に戻ります。

印刷位置を調整する

本機は郵便はがきにバランスよく印刷できるよう設定されていますが、必要に応じて、郵便番号や住所の印刷位置を調整することができます。なお、私製はがきなど、郵便番号枠の位置が郵便はがきと著しく異なるときは、郵便番号を印刷しないように設定することもできます。

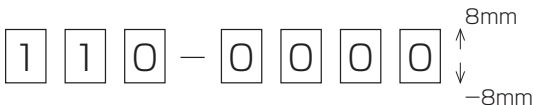
重要

- この設定は、宛名面に反映されます。文面の差出人には反映されません。
- 設定後は、必ず、印刷確認表示または試し印刷を行って印刷結果を確認の上、印刷してください。

宛名の郵便番号位置の調整

- 上下、左右位置を最大で約8mm調整できます。

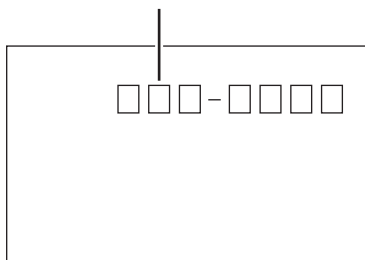
上下位置



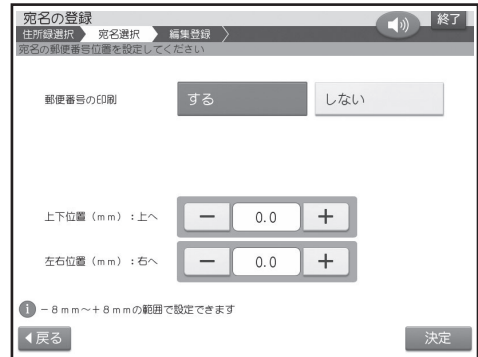
左右位置



宛名の郵便番号枠



- 宛名表示、差出人表示または宛名印刷の印刷設定画面で【機能】をタッチします。
- 【郵便番号位置の設定】をタッチします。
- 【宛名の郵便番号位置】をタッチします。



- 「郵便番号の印刷」で【する】をタッチします。
- 「上下位置 (mm): 上へ」または「左右位置 (mm): 右へ」で位置を調整します。

数値は【+】をタッチするごとに約0.5mm増加し、【-】をタッチするごとに約0.5mm減少します。

- 位置の調整が終わったら、【決定】をタッチします。

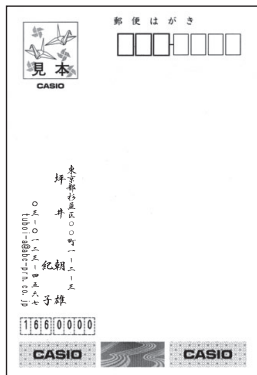
設定が完了し、宛名表示、差出人表示または印刷設定画面に戻ります。

差出人の郵便番号位置の調整

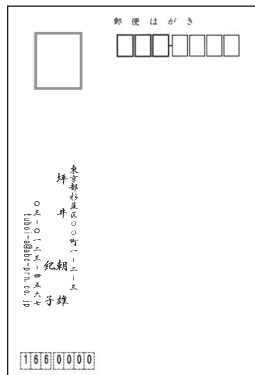
差出人の郵便番号の位置は「年賀はがき用(くじ付きのはがき)」、「普通はがき用」、「かもめ〜る」、「エコーはがき」の4種類あります(67ページの手順5で設定)。

年賀はがき用

(くじ付きのはがき)



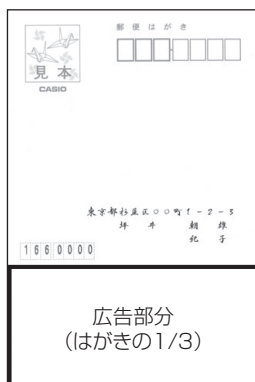
普通はがき用



かもめ〜る



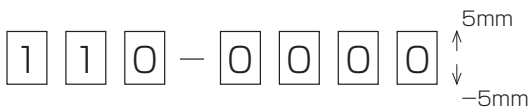
エコーはがき



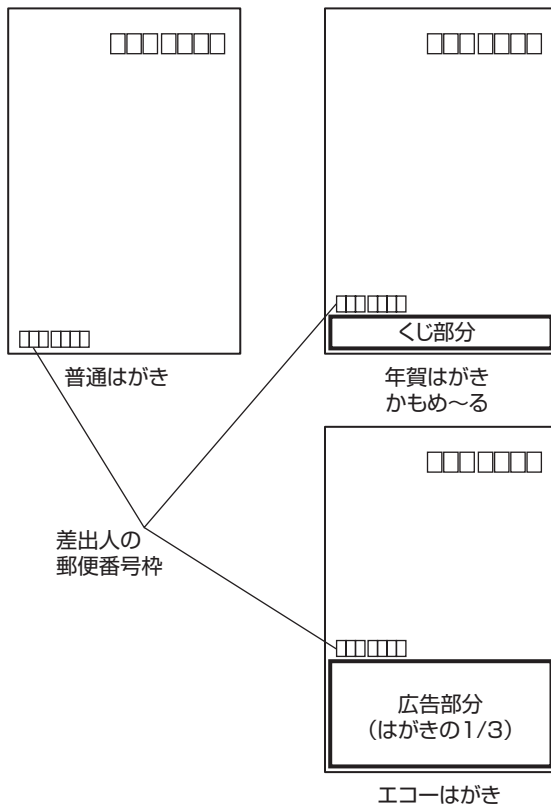
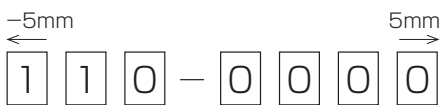
郵便番号の位置調整は、以下のように設定します(67ページの手順6で設定)。

- 上下、左右位置を最大で約5mm調整できます。

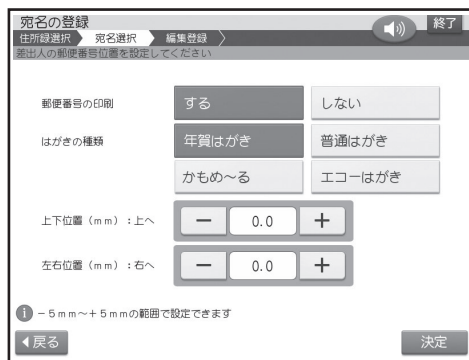
上下位置



左右位置



- 1 宛名表示、差出人表示または宛名印刷の印刷設定画面で【機能】をタッチします。
- 2 【郵便番号位置の設定】をタッチします。
- 3 【差出人の郵便番号位置】をタッチします。



- 4 「郵便番号の印刷」の【する】をタッチします。

5 「はがきの種類」で印刷するはがきの種類をタッチします。

位置は、はがきの種類ごとにそれぞれ記憶することができます。

6 「上下位置 (mm):上へ」または「左右位置 (mm):右へ」で位置を調整します。

数値は【+】をタッチすることにより約0.5mm増加し、【-】をタッチすることにより約0.5mm減少します。

7 位置の調整が終わったら、【決定】をタッチします。

設定が完了し、宛名表示、差出人表示または印刷設定画面に戻ります。

買ったときの状態に戻すには

工場出荷状態では、すべての値が0mmです。「宛名の郵便番号位置の調整」の手順5 (65ページ)、「差出人の郵便番号位置の調整」の手順6 (このページ)で、すべての値を0mmにしてください。

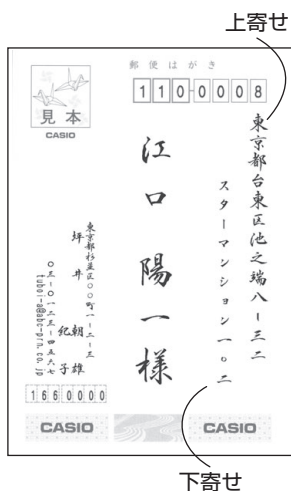
住所の印刷位置の調整

住所は最大4行で印刷されます。各行の桁方向の位置を調整することができます。

重要

この設定は、宛名面の宛名と差出人の住所、文面の差出人の住所に反映されます。

縦書きのとき

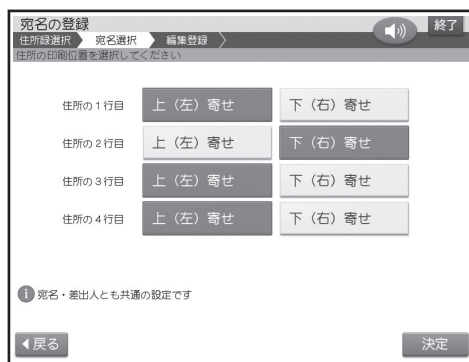


横書きのとき



1 宛名表示、差出人表示または印刷設定画面で【機能】をタッチします。

2 【住所位置の設定】をタッチします。



3 それぞれの行で、【上 (左) 寄せ】または【下 (右) 寄せ】をタッチします。

4 【決定】をタッチします。

設定が完了し、宛名表示、差出人表示または印刷設定画面に戻ります。

- 「行の位置」は、印刷する内容に合わせて自動的に調整されます。

印刷濃度の設定

印刷の濃さを指定します。

- 「濃度 2 (標準)」で印刷結果を確認して、必要に応じて調整してください。

1 印刷設定画面で【機能】をタッチします。

2 【印刷濃度の設定】をタッチします。



3 印刷したい濃度をタッチします。

印刷設定画面に戻ります。

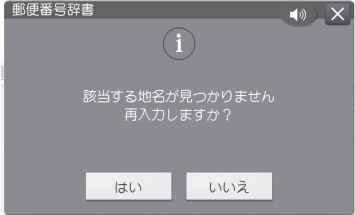
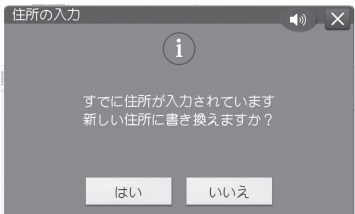
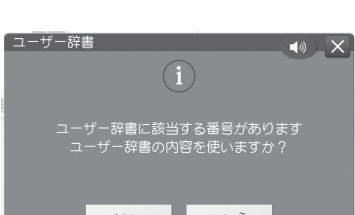
- 数値が大きいほど濃く印刷されます。

郵便番号辞書について

本機では、宛名や差出人を登録するとき、郵便番号に対応した住所が自動的に呼び出されます。これを郵便番号辞書機能と呼びます(39、52 ページ)。

- 本機の郵便番号辞書は、平成28年2月29日、日本郵便株式会社発表のデータに準拠しています。ただし、事業所の個別郵便番号には対応していません。
- 京都府の住所は、「通り名」を除いた形式で入力されます。

住所を入れるときメッセージが表示されたら、以下の内容に従って操作してください。

 <p>郵便番号辞書</p> <p>該当する地名が見つかりません 再入力しますか？</p> <p>はい いいえ</p>	<p>発生原因 入力した郵便番号に該当する住所が辞書に登録されていない。 郵便番号が7桁で入力されていない。</p> <p>対応 再入力するときは、【はい】をタッチする。 【いいえ】をタッチすると、手動で住所を入れる状態になる。</p>
 <p>住所の入力</p> <p>すでに住所が入力されています 新しい住所に書き換えますか？</p> <p>はい いいえ</p>	<p>発生原因 すでに住所が入力されている状態で郵便番号を入力した。</p> <p>対応 書き替えるときは、【はい】をタッチする。</p>
 <p>ユーザー辞書</p> <p>ユーザー辞書に該当する番号があります ユーザー辞書の内容を使いますか？</p> <p>はい いいえ</p>	<p>発生原因 入力した郵便番号に該当する住所をユーザー辞書に登録していた(168ページ)。</p> <p>対応 ユーザー辞書の住所を使うとき： 【はい】をタッチする。 郵便番号辞書にある住所を使うとき： 【いいえ】をタッチする。</p>

郵便番号辞書を使うとき、都道府県を省略するには

宛名・差出人の登録時に、都道府県を省略するかどうか選ぶことができます。なお、この設定はユーザー辞書の郵便番号には反映されません。

省略しない: 198-0036 → 東京都青梅市河辺町
省略する : 198-0036 → 青梅市河辺町

- 1 宛名表示、差出人表示画面で、【機能】をタッチします。

- 2 【都道府県の省略設定】をタッチします。

- 3 【省略する】または【省略しない】をタッチします。

設定が完了し、宛名表示、差出人表示画面に戻ります。

- 「省略する」に設定されていても、郵便番号から呼び出された住所の候補が複数あるときの選択画面では都道府県が表示されます。ただし、住所を選んだ後は都道府県が省略されます。

第3章 はがきの文面印刷

文面作成の種類

文面の作りかたには、次の4つがあります。

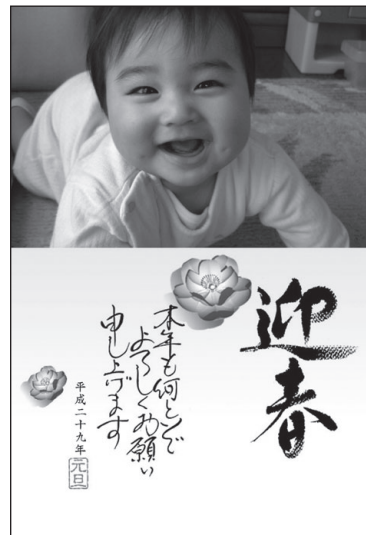
登録されているデザインを使って作る(カンタン作成) (72ページ)

デザインを選ぶだけで手軽に文面を作れます。お気に入りの写真を入れた文面も作れます。

イラスト入り

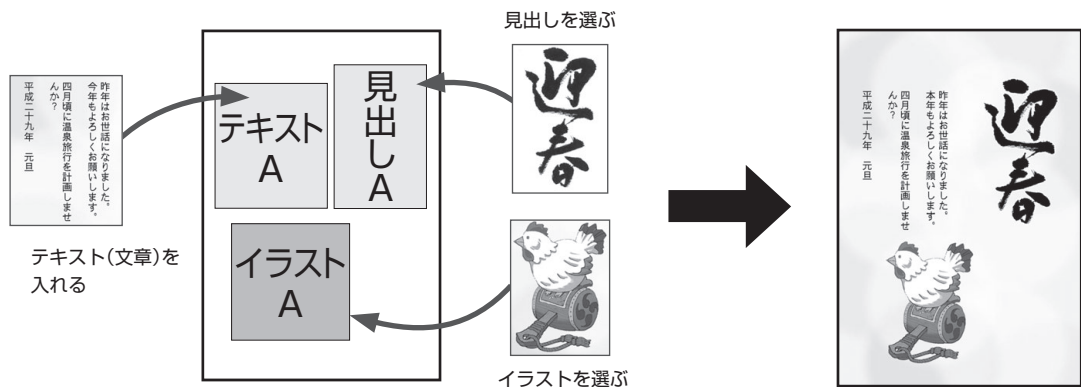


写真入り



見出しやイラストを選んで作る(組み合わせ作成) (78ページ)

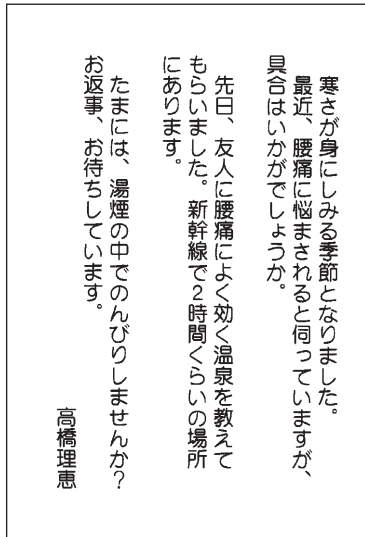
あらかじめ用意されているレイアウト(ひな形)に見出しやイラスト、テキストなどを組み合わせて文面を作れます。写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る機能もあります。



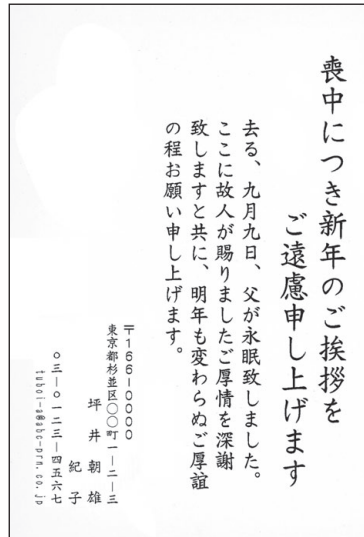
文字を自由に編集して作る(オリジナルはがき作成)(90ページ)

あらかじめ用意されているレイアウト(ひな形)や文例を選び、文字を自由に入力して案内状や喪中はがきなどの文面を作れます。

案内状



喪中はがき



はがきの
文面印刷

イラスト集を使って作る(イラスト集)(年賀状イラスト集2017、95ページ)

本機に内蔵されているイラスト集のイラストを使って、いろいろな年賀状を作れます。

イラスト入り(添え書きあり)



写真入り



登録されているデザインを使って作る(カンタン作成)

本機に登録されているデザインを選ぶだけで、手軽にはがきの文面を作れます。
イラスト入りのデザインと写真入りのデザインがあります。

写真を入れる



カンタン作成の流れ

1. はがきのジャンルを選びます(73、74ページ)

年賀状や暑中見舞い、クリスマスカードなど、作りたいはがきのジャンルを選びます。

2. はがきのデザインを選びます(73、74ページ)

3. 印刷します(100ページ)

印刷する枚数やはがきの紙質などを設定してから、文面を印刷します。

イラスト入りの文面を作る

- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

ジャンルを選ぶ

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【カンタン作成】の順にタッチします。

ジャンル選択画面が表示されます。



- 2 使いたいジャンル(ここでは【年賀状】)をタッチします。

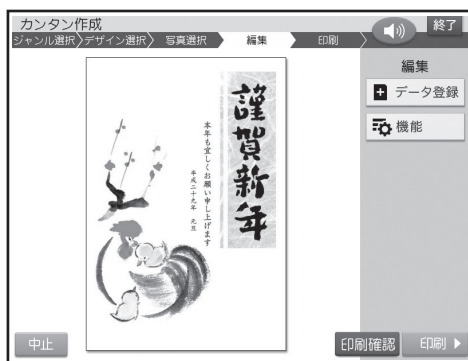
デザイン選択画面が表示されます。



デザインを選ぶ

- 1 デザイン選択画面で使いたいイラスト入りデザインをタッチします。

- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。
- 【干支選択】をタッチして表示される干支のボタンで、干支の種類を切り替えることができます。このとき、【全部】をタッチすると、すべての干支のデザインが表示されます。選んだイラスト入りデザインの完成画面が表示されます。
- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。
- 差出人を入れたい場合は、デザイン選択画面で(差出人可)のマークが付いているデザインを選び、「差出人入りの文面を作る」の操作をしてください(76ページ)。



- 【機能】をタッチすると、コメントを追加したり(104ページ)、年月の編集をしたり(105ページ)することができます。
- 差出人付きのデザインの場合は、【差出人】をタッチすると、他の差出人に差し替えることができます(106ページ)。
- 【印刷確認】をタッチするとデザインの印刷確認画面(印刷イメージ)を表示することができます(19ページ)。
- 印刷するときは100ページをご覧ください。
- 干支のイラストやデザインは、十二支すべてを内蔵しています。詳細は付属の「デザインカタログ」を参照してください。
- カンタン作成のデザインは、内蔵された時計に連動して、毎年4月1日時点で翌年の干支のデザインに自動的に切り替わります。

写真入りの文面を作る

メモリーカードまたは本体に登録されている写真(107ページ)を使って、写真の入ったはがきの文面を作ります。

- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

重要

文面で印刷できる写真の容量は写真1枚につき10M byte以下です。10M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を10M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

また、容量が20M byte以下の写真の場合、本体に写真データを登録する(107ページ)ことで使用できるようになります。

ジャンルを選ぶ

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 【はがき文面】→【カンタン作成】の順にタッチします。

ジャンル選択画面が表示されます。



3 使いたいジャンル(ここでは【年賀状】)をタッチします。

デザイン選択画面が表示されます。



デザインと写真を選ぶ

1 デザイン選択画面で使いたい写真入りデザインをタッチします。

- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀】【▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 【Q】をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。
- 全面が見本の写真になっているデザインは、用紙全面に写真を入れることができます。

- 2枚の写真をレイアウトしているデザインは、2枚の写真を入れることができます。
- 差出人を入れたい場合は、デザイン選択画面で(差出人可)のマークが付いているデザインを選んでください。

<メモリーカードの場合>

- サムネイルは、デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
- サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、拡大表示で写真が表示される場合は、印刷できます。
- 動画は表示されません。

2 使いたい写真をタッチします。

写真を切り抜く範囲を指定する画面が表示されます。



3 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

調整する必要がなければそのまま手順4に進みます。

- 写真2枚入りのデザインを選んでいる場合は、手順2、3を繰り返してください。
- 差出人を入れられるデザインを選んだ場合は、「差出人入りの文面を作る」の操作をしてください(76ページ)。

4 【決定】をタッチします。

選んだ写真入りデザインの完成画面が表示されます。



- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。
- 【印刷確認】をタッチすると、デザインや写真の印刷確認画面(印刷イメージ)を表示することができます(19ページ)。
- 印刷するときは100ページをご覧ください。

【写真】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- 写真の設定(104ページ)
- 切り抜き範囲の変更(101ページ)
- 他の写真に変更(103ページ)

【機能】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- コメント追加(104ページ)
- 年月の編集(105ページ)
- 見出し文の文字設定(105ページ)

- 差出人付きのデザインの場合は、【差出人】をタッチすると、他の差出人に差し替えたり、QRコードを設定したりすることができます(106ページ)。

差出人入りの文面を作る

はがきの文面に差出人を入れる方法を説明します。

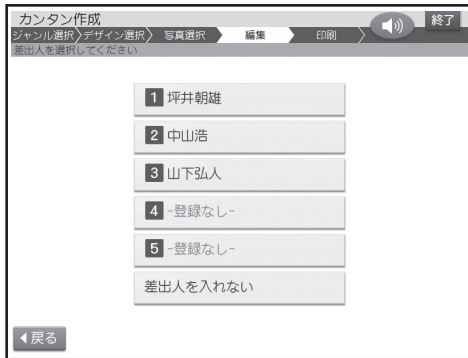
- あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

文面の種類によって操作の流れが異なります。

- イラスト入りの文面に差出人を入れる場合
「イラスト入りの文面を作る」の「デザインを選ぶ」の手順1(73ページ)まで操作してから、差出人を選ぶ操作に進んでください。
- 写真入りの文面に差出人を入れる場合
「写真入りの文面を作る」の「デザインを選ぶ」の手順3(75ページ)まで操作してから、差出人を選ぶ操作に進んでください。

1 差出人付きのデザインをタッチします。

- 差出人が1人も登録されていない場合は、手順2の完成画面が表示されます。
- 「-登録なし-」はタッチすることはできません。

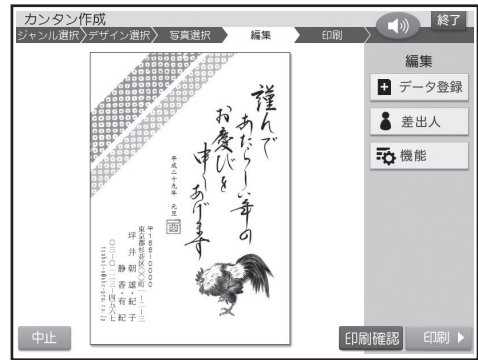


2 印刷したい差出人をタッチします。

完成画面が表示されます。

- フォントや文字色、文字サイズを変更したり、QRコードを設定したりしたい場合は、「差出人を差し替える」(106ページ)、「QRコードを設定する」(106ページ)の操作をしてください。

イラスト入りの文面



写真入りの文面



重要

毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さくなり、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。
- 【印刷確認】をタッチすると、デザインや差出人の印刷確認画面(印刷イメージ)を表示することができます(19ページ)。
- フォントを「毛筆流麗体」に指定した場合、メールアドレスは「丸ゴシック体」で印刷されます。
- 差出人の文字色の「白」は、全面写真の年賀状で設定すると効果的です。文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつかます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」を参照してください(177ページ)。輪郭をつけないようにした場合に、全面写真の年賀状以外のはがきで「白」を設定すると、白い背景の上では差出人は印刷されません。
- 差出人の入力内容やQRコードの設定(106ページ)によっては、差出人が文面の写真の上に印刷されることがあります。

デザインを番号で選ぶ

カンタン作成で使用するデザインは、番号を指定して選ぶこともできます（全面写真のデザインは除く）。

デザインの番号については、付属の「デザインカタログ」を参照してください。

1 トップメニュー画面（21 ページ）から【はがき文面】→【カンタン作成】の順にタッチします。

2 【番号で選ぶ】をタッチします。

番号で選ぶ画面が表示されます。



3 【+】または【-】をタッチしてデザイン番号を指定し、【決定】をタッチします。

ここでは「025」を指定します。

- デザイン番号は、数字キーで直接数字を入力して指定することもできます。

入力した番号のデザインが完成画面に表示されます。



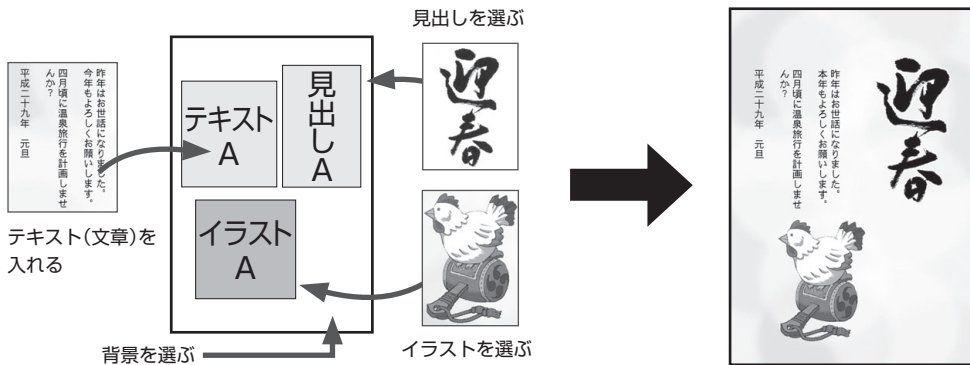
- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。

最初から作り直したいときは

カンタン作成の完成画面から【終了】をタッチすることにより、文面メニュー画面に戻ることができます。

見出しやイラストを選んで作る (組み合わせ作成)

あらかじめ用意されているレイアウト(ひな形)に見出しやイラスト、テキストなどのパーツ(部品)を組み合わせて文面を作れます。テキストは自由に入力できるので、時間をかけずにメッセージカードを作成する場合などに便利です。写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る機能もあります(88ページ)。



組み合わせ作成の流れ

1. レイアウト(ひな形)を選びます(79ページ)

30種類のレイアウトから好みのものを選びます。写真が入るものと入らないもので操作が異なります。写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る機能も操作が異なります。88ページをご覧ください。

2. 組み合わせるパーツ(部品)を選びます(81ページ)

組み合わせることができるパーツは次の通りです。

見出し・イラスト・テキスト・写真・差出人背景

3. パーツの位置を調整します(87ページ)

印刷確認機能(19ページ)でできあがりのイメージを確認し、必要に応じて手直します。

4. 印刷します(100ページ)

印刷する枚数やはがきの紙質などを設定してから、文面を印刷します。

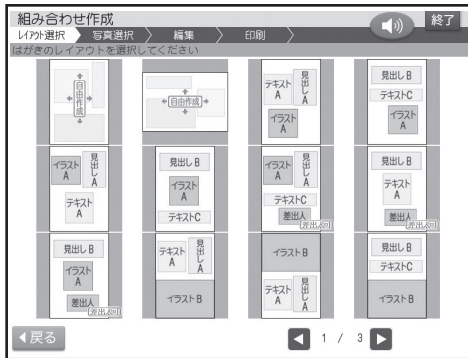
レイアウトを選ぶ

文面の基本となるレイアウトを選びます。ここでは写真が入らない文面のレイアウトの選び方について説明します。

- 写真入りのレイアウトを選ぶこともできます(このページ)。
- 写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る機能は操作が異なります(下の手順1の画面で、先頭の2つの「自由作成」のレイアウト)。88ページをご覧ください。
- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【組み合わせ作成】の順にタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。



2 レイアウト選択画面で使いたいレイアウトをタッチします。

- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。

レイアウトを選ぶと完成画面が表示されます。

- 見出しやイラスト、テキスト、背景はサンプルとして登録されているものが仮に表示されます。
- 差出人は現在登録されているものが表示されます。
- 差出人を入れたい場合は、レイアウト選択画面で(差出人可)のマークが付いているデザインを選んでください。



- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

レイアウトを選ぶ(写真入り)

メモリーカードまたは本体に登録されている写真(107ページ)を入れた文面が作れます。ここでは写真が入る文面のレイアウトの選び方について説明します。

- 写真が入らないレイアウトを選ぶこともできます(このページ)。
- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

重要

文面で印刷できる写真の容量は10M byte以下です。10M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を10M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

また、容量が20M byte以下の写真の場合、本体に写真データを登録する(107ページ)ことで使用できるようになります。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【組み合わせ作成】の順にタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。

3 レイアウト選択画面で使いたい写真入りのレイアウトをタッチします。

- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。

レイアウトを選ぶとメモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチします。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀】【▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 🔍をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

<メモリーカードの場合>

- サムネイルは、デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
- サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、拡大表示で写真が表示される場合は、印刷できます。
- 動画は表示されません。

4 使いたい写真をタッチします。

写真を切り抜く範囲を指定する画面が表示されます。



5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

- 調整する必要がなければそのまま手順6に進みます。

6 【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。



- 見出しやイラスト、テキスト、背景はサンプルとして登録されているものが仮に表示されます。
- 差出人は現在登録されているものが表示されます。
- 差出人を入れたい場合は、レイアウト選択画面で(差出人可)のマークが付いているデザインを選んでください。
- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

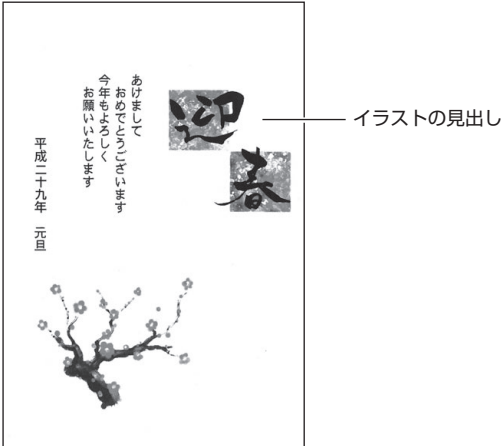
パーツ(部品)を選ぶ

完成画面(79、80ページ)で、見出し、イラスト、写真などのパーツを選びます。

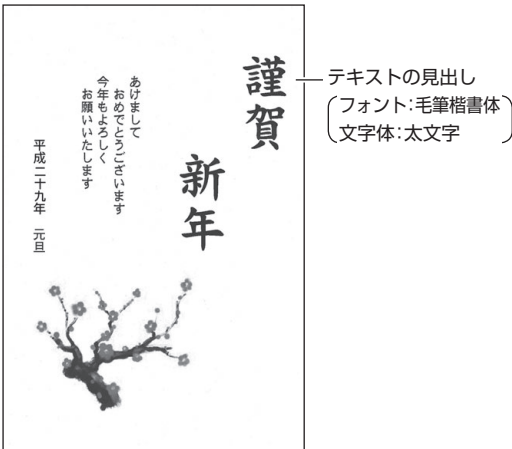
見出しを選ぶ

見出しには、イラストの見出しとテキストの見出しがあります。

イラストの見出しが入った例



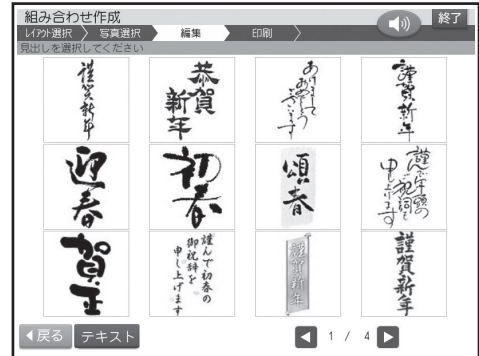
テキストの見出しが入った例



■イラストの見出しを選ぶ

1 完成画面(79、80ページ)で【見出し】をタッチします。

イラストの見出しを選ぶ画面が表示されます。イラストの見出しは「見出しA(縦)」と「見出しB(横)」の2種類の形があります。選んだ形の見出しだけが表示されます。



- イラストの見出しを選ぶ画面が表示されていないとき(テキスト見出しになっているとき)は、【イラスト】をタッチしてください。

2 使いたいイラストをタッチします。

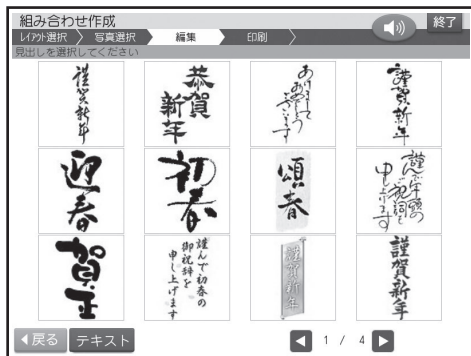
- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。イラストをタッチすると完成画面に戻り、選んだイラストの見出しが文面に表示されます。



- イラストの見出しを変更したい場合は、手順1以降の操作をやり直してください。
- 作っている文面を保存することができます(108ページ)。

■テキストの見出しを入れる

1 完成画面(79、80ページ)で【見出し】をタッチします。



2 【テキスト】をタッチします。

文字を入力する画面が表示されます。「方向」は変更することはできません。



3 テキストの見出しにしたい文字を入力します (147ページ)。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

文字サイズは、「大」または「極大」を選択することができます。

4 テキストの見出しの入力が終わったら、【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

5 【はい】をタッチします。

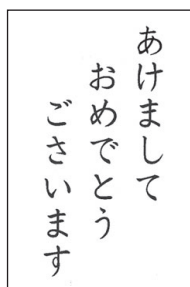
完成画面に戻り、入力したテキストの見出しが文面に表示されます。



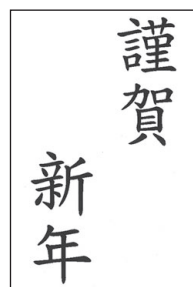
- テキストの見出しを変更したい場合は、手順1以降の操作をやり直してください。
- 【終了】や【中止】をタッチしてレイアウトの選択をやり直した場合、入力したテキストの見出しは消えてしまいます。ご注意ください。
- 作っている文面を保存することができます (108ページ)。

テキストの見出しのタイプについて

テキストの見出しとして入力できるタイプは次の2種類です。



大
(文字サイズ:24ポイント)



極大
(文字サイズ:48ポイント)

イラストを選ぶ

1 完成画面(79ページ)で【イラスト】をタッチします。

イラストは「イラストA(小)」と「イラストB(大)」の2種類の形があります。

選んだ形のイラストだけが表示されます。



2 使いたいイラストをタッチします。

完成画面に戻り、選んだイラストが文面に表示されます。

- 【イラストなし】をタッチすると、イラストが削除され、完成画面に戻ります。



- イラストを変更したい場合は、手順 1 以降の操作をやり直してください。
- 作っている文面を保存することができます(108ページ)。

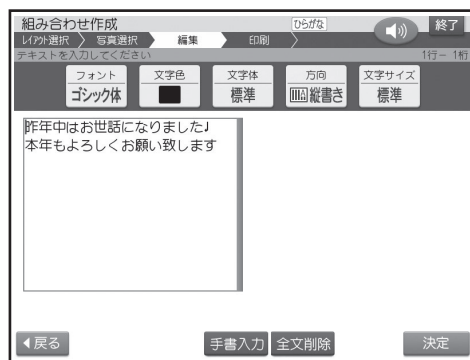
テキスト(文章)を入力する

1 完成画面(79、80ページ)で【テキスト】をタッチします。

テキストは「テキストA(縦書き／横書き)」、「テキストB(縦書き)」、「テキストC(横書き)」の3種類の形があります。

ここでは、テキストAの画面で説明します。

文章を入力する画面が表示されます。



- テキストの方向は、テキストBは縦書きのみ、テキストCは横書きのみになります。
- テキストに例文が入力されているときは、修正してご使用ください。

2 文章を入力します(147ページ)。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

3 文章の入力が終わったら、【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

4 【はい】をタッチします。

完成画面に戻り、入力した文章が文面に表示されます。

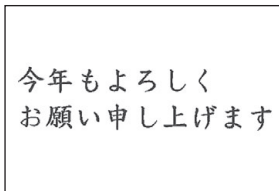
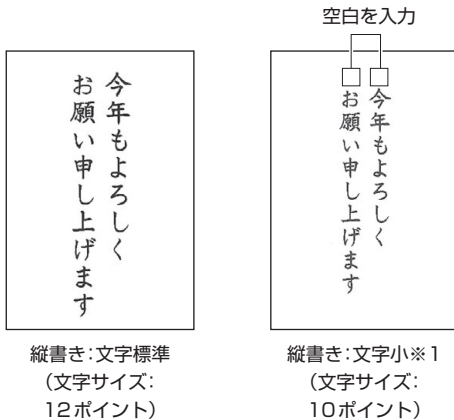
- テキストを変更したい場合は、手順 1 以降の操作をやり直してください。
- 【終了】や【中止】をタッチしてレイアウトの選択をやり直した場合、入力したテキストは消えてしまいます。ご注意ください。
- 作っている文面を保存することができます(108ページ)。

重要

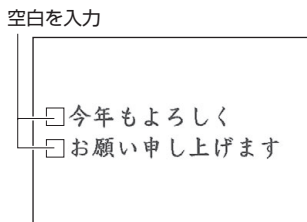
毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さくなり、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

テキストのタイプについて

テキストとして入力できるタイプは次の4種類です。



横書き:文字標準
(文字サイズ:
12ポイント)



横書き:文字小※2
(文字サイズ:
10ポイント)

- ※1 縦書きのテキストの文字位置(上下)は、空白を入力して調整してください。
- ※2 横書きのテキストの文字位置(左右)は、空白を入力して調整してください。

写真を選ぶ(写真の編集)

写真入りのレイアウト(79ページ)を選んでいるときは、後から写真を変更したり調整することができます。

- メモリーカードまたは本体に登録されている写真を使うことができます(107ページ)。

重要

文面で印刷できる写真の容量は10M byte以下です。10M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を10M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

また、容量が20M byte以下の写真の場合、本体に写真データを登録する(107ページ)ことで使用できるようになります。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 完成画面(80ページ)で【写真】をタッチします。

写真のメニューが表示されます。

3 編集したい項目をタッチします。

ここでは【他の写真に変更】をタッチします。次の操作もできます。

- 写真の設定(104ページ)
- 切り抜き範囲の変更(101ページ)

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 写真の表示に関する操作については、74ページをご覧ください。

4 変更したい写真をタッチします。

写真を切り抜く範囲を指定する画面が表示されます。



5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

- 調整する必要がなければそのまま手順 6 に進みます。

6 【決定】をタッチします。

完成画面に戻り、写真が文面に表示されます。



- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

【写真】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- 写真の設定(104ページ)
- 切り抜き範囲の変更(101ページ)
- 他の写真に変更(84ページの手順2以降)

差出人を選ぶ

差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 完成画面(差出人入り)で【差出人】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。



- 【QRコードを印刷する】のチェックボックスをタッチすると、差出人のQRコードを印刷することができます(106ページ)。

2 印刷したい差出人をタッチします。

差出人文字設定画面が表示されます。

- 「-登録なし-」はタッチすることはできません。
- 差出人を入れたいときは、【差出人を入れたい】をタッチして組み合わせ作成の完成画面に戻ります。



3 フォント、文字色、文字サイズの設定(このページ)を指定した後、【決定】をタッチします。

完成画面に戻り、差出人が文面に表示されます。



- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。
- 差出人を変更したい場合は、手順 1 以降の操作をやり直してください。

■ 差出人を削除するとき

1 完成画面(差出人入り)で【差出人】をタッチします。

2 【差出人を入れない】をタッチします。

デザインから差出人が削除され、完成画面に戻ります。なお、差出人の登録内容そのものは削除されません。

■ 差出人設定画面の項目

項目	内容	設定
フォント	印刷するフォント(書体)を設定します。	ゴシック体、丸ゴシック体、明朝体、毛筆流麗体、毛筆楷書体 重要 毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さくなり、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。
文字色	文字の色を設定します。 それぞれの色の■をタッチしてください。 【他の色】をタッチすると、全32色から色を選ぶパレットが表示されます。 パレットで設定したい色の■をタッチしてください。「設定色」に現在設定されている色が表示されます。	黒、赤、青、白、他の色
文字サイズ	文字のサイズを設定します。	大、標準、小

- フォントを「毛筆流麗体」に設定した場合、メールアドレスは「丸ゴシック体」で印刷されます。
- 差出人の文字色に「白」を設定した場合、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」を参照してください(177ページ)。白色の文字に輪郭をつけないようにした場合は、白い背景の上では差出人は印刷されません。
- 文字サイズの設定を変更しても、文字数や行数によっては、印刷したときの文字サイズが変わらない場合があります。

背景を入れる

背景用のイラストを入れて印刷することもできます。

1 完成画面(80ページ)で【背景】をタッチします。

背景の選択画面が表示されます。



2 使いたい背景をタッチします。

背景が入り、完成画面に戻ります。

- 背景を入れたくないときは【背景なし】をタッチしてください。



- 24種類の背景を選ぶことができます。

パーツ(部品)の位置を変える

見出しやイラスト、テキスト、差出人など、レイアウト上に配置されているパーツ(部品)の位置を後からドラッグ(20ページ)して調整できます。

1 完成画面(80ページ)で、位置を変えたいパーツをタッチペンでタッチします。

2 タッチしたまま、目的の位置まで動かします。

- パーツをタッチしている間、パーツに枠が付き、位置を変えることができます。



3 目的の位置にきたら、タッチペンを離します。



- パーツ(部品)を端に配置すると印刷時に切れることがあります。パーツは少し内側に配置するようにしてください。

写真やイラスト、文字などを自由に配置して文面を作る(自由作成)

印字例



レイアウトを選ぶ

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【組み合わせ作成】の順にタッチします。



この2つのいずれかを選ぶ

- 2 先頭の2つのレイアウトから、使いたいレイアウトをタッチします。

確認メッセージが表示されます。

- 3 【確認】をタッチすると、自由作成の完成画面が表示されます。



パーツ(部品)を選ぶ

写真やイラスト、文字などのパーツを自由に配置して文面を作ります。

ここでは、組み合わせ作成との操作の違いで説明します。

■ イラストを選ぶ

- 1 完成画面(このページ)で【イラスト】→【イラスト】とタッチします。

イラストを選ぶ画面が表示されます。

- イラストの選択方法は、83ページの「イラストを選ぶ」と同様です。
- 最初は、「イラストA」の選択画面が表示されます。「イラストB」を選びたいときは、画面左下の【イラストB】をタッチしてください。

- 2 使いたいイラストをタッチします。

- 選んだイラストは、位置や大きさなどを調整できます。操作方法は、129ページの「スタンプを追加する」の手順4と同様です。

- 3 調整後、【決定】をタッチすると、イラストが確定されて、完成画面に戻ります。

■ 見出しを選ぶ

- 1 完成画面(このページ)で【イラスト】→【見出し】とタッチします。

見出しを選ぶ画面が表示されます。

- 見出しの選択方法は、81ページの「イラストの見出しを選ぶ」と同様です。
- 最初は、「見出しA(縦)」の選択画面が表示されます。「見出しB(横)」を選びたいときは、画面左下の【見出しB】をタッチしてください。

- 2 使いたい見出しをタッチします。

- 選んだ見出しは、位置や大きさなどを調整できます。操作方法は、129ページの「スタンプを追加する」の手順4と同様です。

- 3 調整後、【決定】をタッチすると、見出しが確定されて、完成画面に戻ります。

- イラストと見出しは、合計で10個まで追加できます。

■ テキスト(文章)を入力する

- 1 完成画面(このページ)で【テキスト】をタッチします。

文章の入力画面が表示されます。

- 文章の入力方法は、83ページの「テキスト(文章)を入力する」と同様です。

2 文章の入力が終わったら、【決定】→【はい】とタッチします。

- 入力した文章は、位置や大きさなどを調整できます。操作方法は、130ページの「コメントを追加する」の手順4と同様です。

3 調整後、【決定】をタッチすると、文章が確定されて、完成画面に戻ります。

- テキストは5個まで追加できます。

■ 差出人を選ぶ

差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 完成画面(88ページ)で【差出人】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。

- 差出人の選択方法は、85ページの「差出人を選ぶ」と同様です。
- 差出人の方向(縦書き/横書き)は差出人を選択後の画面で選びます。

2 差出人の選択が終わったら、【決定】をタッチします。

- 選択した差出人は、位置を調整できます。操作方法は、87ページの「パーツ(部品)の位置を変える」と同様です。

3 調整後、【決定】をタッチすると、位置が確定されて、完成画面に戻ります。

■ 手書きを追加する

1 完成画面(88ページ)で【手書き】をタッチします。

手書きの文字や絵を追加できる状態になります。

2 付属のタッチペンを使用して、手書きを追加します。

- 手書きの操作方法は、132ページの「手書きを追加する」と同様です。
- 色の初期設定は、黒です。

3 【決定】→【はい】とタッチすると、手書きが確定されて、完成画面に戻ります。

■ 写真を追加する

1 完成画面(88ページ)で【写真】をタッチします。

写真の選択画面が表示されます。

- 写真の準備や選択方法は、84ページの「写真を選ぶ(写真の編集)」を参考に操作してください。

2 写真を選んで、切り抜き範囲を決定すると、写真の位置や大きさなどを調整する画面になります。

- 調整の操作方法は、129ページの「スタンプを追加する」の手順4と同様です。

3 調整後、【決定】をタッチすると、写真が確定されて、完成画面に戻ります。

- すでに写真が追加されている場合に、【写真】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

写真の追加

写真の設定(104ページ)※1

- すでに写真が追加されている場合に、写真をタッチすると次の操作ができます。

位置や大きさの調整

切り抜き範囲の変更(101ページ)

写真の削除(130ページの「スタンプを削除する」と同様)

- 写真は3個まで追加できます。

■ 背景を入れる

1 完成画面(88ページ)で【背景】をタッチします。

2 【イラスト背景】または【写真背景】をタッチします。

- イラスト背景の場合の操作方法は、87ページの「背景を入れる」と同様です。

- 写真背景の場合の準備や選択方法は、84ページの「写真を選ぶ(写真の編集)」を参考に操作してください。

3 背景を選ぶと、完成画面に戻ります。

- すでに写真背景が指定されている場合に、【写真背景】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

写真の設定(104ページ)※1

切り抜き範囲の変更(101ページ)

他の写真に変更(84ページ)

- ※1 写真の設定内容は、貼り付けられた複数の写真および背景写真のすべてに共通です。

■ 各パーツの重なるの順序について

各パーツは、次の順番で下から上に重なって表示されます。背景→写真→イラスト・見出し→テキスト→差出人→手書き

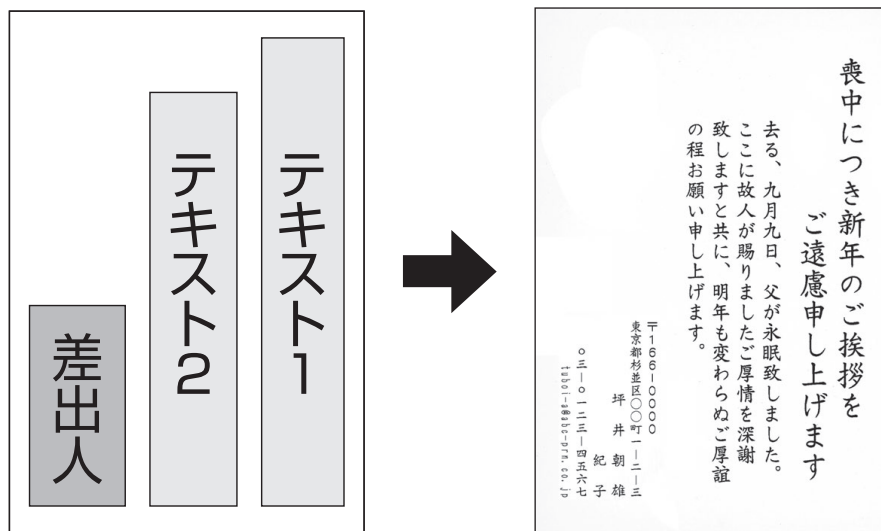
- 同じ種類のパーツの場合は、後から追加・編集したものが上になります。

■ 文面を保存する

作っている文面を保存することができます(108ページ)。

文字を自由に入力して作る (オリジナルはがき作成)

あらかじめ用意されているレイアウト(ひな形)や文例を選び、文字を自由に入力して案内状や喪中はがきなどの文面を作れます。



縦置きレイアウト例

オリジナルはがき作成の流れ

1. 新規作成または文例参照を選びます(91 ページ)

新規に作成するか、あらかじめ用意されている文例から作成するかを選びます。

2. レイアウト(ひな形)や文例を選びます(91 ページ)

8種類のレイアウトや登録されている文例から好みのものを選びます。

3. テキスト(文章)を入れます(92 ページ)

テキストを入れます。差出人や背景を入れることもできます。

4. 印刷します(100 ページ)

印刷する枚数やはがきの紙質などを設定してから、文面を印刷します。

新規に作成する(新規作成)

新規に作成する場合は、はじめにレイアウトを選びます。

- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【オリジナルはがき作成】の順にタッチします。

2 【新規作成】をタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。



3 レイアウト選択画面で使いたいレイアウトをタッチします。

- 差出人を入れたい場合は、レイアウト選択画面で(差出人可)のマークが付いているレイアウトを選んでください。

完成画面が表示されます。



- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

登録されている文例を使う(文例参照)

内蔵されている文例を使って作る場合は、次のように操作して完成画面を表示させます。

- 文例の内容は、付属の「デザインカタログ」を参照してください。
- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【オリジナルはがき作成】の順にタッチします。

2 【文例参照】をタッチします。

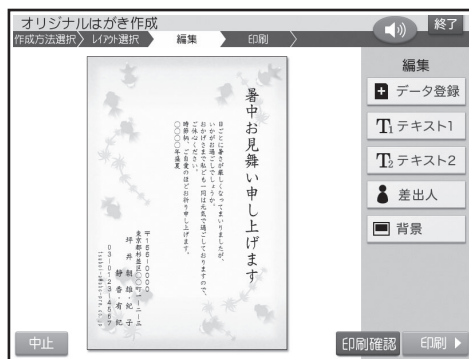
文例選択画面が表示されます。



3 文例選択画面で使いたい文例をタッチします。

- 差出人を入れたい場合は、文例選択画面で差出人付きの文例を選んでください。

文例が呼び出されて、完成画面が表示されます。



- 文例中で○の部分には修正が必要です(上の例では、○○○○年)。

テキスト(文章)や差出人を選ぶ

テキスト(文章)を入力する

1 完成画面(91ページ)で【テキスト】をタッチします。

- テキストが2つあるレイアウトでは、「テキスト1」「テキスト2」になります。



「レイアウトを選ぶ」の手順3で指定したレイアウトによって、縦書きまたは横書きの表示になります。

2 組み合わせ作成と同様な操作で、テキストを入力します(83ページ)。

- 文字サイズは、小/標準/やや大/大の4種類あります。
- テキストを修正するとき、最初の文字サイズよりも大きいものを指定すると、入力済みのテキストの一部が消えることがあります。

差出人を選ぶ

- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 完成画面(91ページ)で【差出人】をタッチします。



2 組み合わせ作成と同様な操作で、差出人を選びます(85ページ)。

テキストや差出人の位置を変える

組み合わせ作成と同様な操作で、テキスト、差出人の位置を変えることができます(87ページ)。

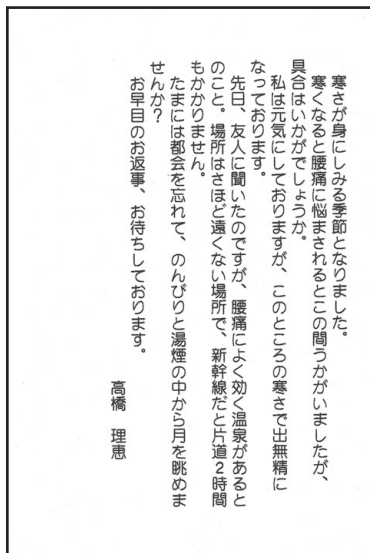
背景を入れる

背景にイラストや写真を入れることができます。

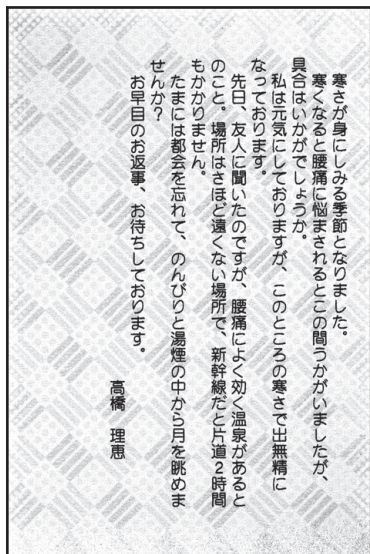
■ 背景にイラストを入れる

背景にイラストを入れることができます。

背景なし



背景あり



1 完成画面(91ページ)で【背景】をタッチします。

背景選択画面になります。

- 写真の背景のときは、写真のメニューが表示されます。写真のメニューから【イラスト背景】をタッチしてください。

2 使いたい背景をタッチします。

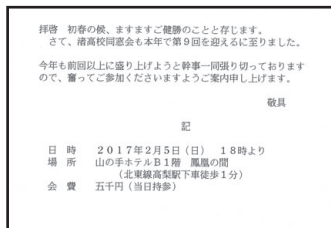
背景が入り、完成画面に戻ります。

- 背景は、24種類あります。
- 背景を入れたくないときは、【背景なし】をタッチしてください。

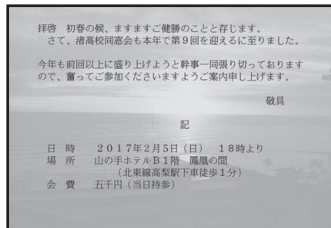
■ 背景に写真を入れる

背景に写真を入れることができます。

背景なし



背景あり



- 背景に入れる写真は色を変えたり絵のように変換することができます(104ページ)。
- 写真の上に文字を入れるときは、写真の薄印刷(104ページ)をすると読みやすくなります。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 完成画面(91ページ)で【背景】をタッチします。

3 【写真背景】をタッチします。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。

4 背景に入れたい写真をタッチします。

5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

調整する必要がなければそのまま手順 6 に進みます。

6 【決定】をタッチします。

写真が入り、完成画面に戻ります。

- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

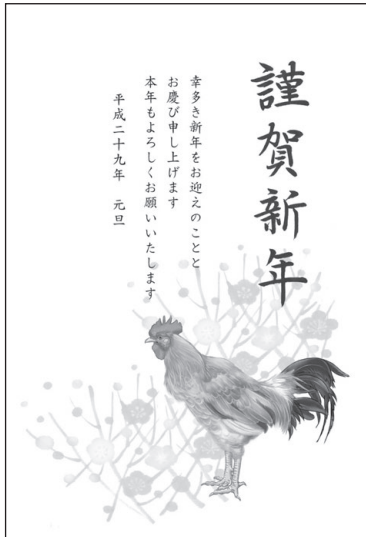
【背景】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- 写真の設定(104ページ)
- 切り抜き範囲の変更(101ページ)
- 他の写真に変更(このページの手順3以降)
- イラスト背景(93ページの手順2以降)

イラスト集を使って作る(イラスト集)

本機に内蔵されているイラスト集のデザインを使って、いろいろな年賀状を作れます。
デザインにはイラストが入っているものと、写真を入れられるものがあります。
まず、付属の「年賀状イラスト集2017」で年賀状のデザインを選んでください。

写真を入れる



はがきの
文面印刷

イラスト集を使った文面作成の流れ

1. イラスト集からデザインを選びます(年賀状イラスト集2017)

「年賀状イラスト集」の中から作りたいデザインを選び、番号を控えます。



2. デザインの番号を指定します(96ページ)

ジャンルからデザインを選ぶこともできます。

3. 印刷します(100ページ)

印刷する枚数やはがきの紙質などを設定してから、文面を印刷します。

イラスト入りの文面を作る

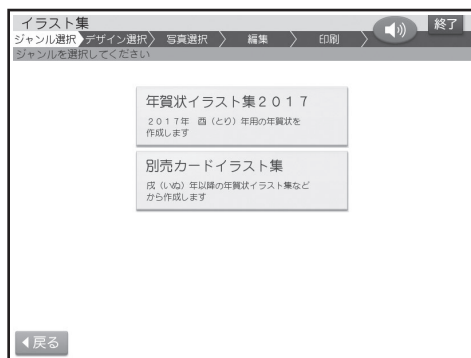
デザイン番号からデザインを選ぶ

1 「年賀状イラスト集」の年賀状イラストカタログで、年賀状のデザインを選びます。デザインを決めたら、その番号を控えておきます。

重要

2018年用以降の「年賀状イラスト集」など(別売品)を使うときは、イラストが収録されたメモリーカードをメモリーカードの挿入口にセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【はがき文面】→【イラスト集】の順にタッチします。イラスト集選択画面が表示されます。

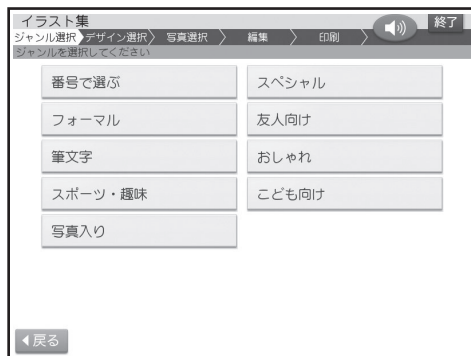


3 【年賀状イラスト集2017】をタッチします。

重要

2018年用以降の「年賀状イラスト集」など(別売品)を使うときは、【別売カードイラスト集】をタッチします。

ジャンル選択画面が表示されます。



4 【番号で選ぶ】をタッチします。

番号で選ぶ画面が表示されます。



5 【+】または【-】をタッチしてデザイン番号を指定し、【決定】をタッチします。

ここでは「0088」を指定します。

- デザイン番号は、数字キーで直接数字を入力して指定することもできます。

入力した番号のデザインの完成画面が表示されます。



- 作っている文面を保存することができます(108ページ)。
- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。
- 印刷するときは100ページをご覧ください。
- 文面にコメントや差出人を追加することができます(98、99ページ)。

ジャンルからデザインを選ぶ

デザインは、ジャンルから選ぶこともできます。

1 「デザイン番号からデザインを選ぶ」の手順1から3の操作をします(このページ)。

- 2 「番号で選ぶ」以外の写真を入れないデザインのジャンルをタッチします。
デザイン選択画面が表示されます。

- 3 デザイン選択画面で使いたいイラスト入りデザインをタッチします。
「デザイン番号からデザインを選ぶ」の手順5の画面が表示されます(96ページ)。

写真入りの文面を作る

- 1 文面に入れたい写真を本体に登録します(107ページ)。
- 2 「デザイン番号からデザインを選ぶ」の手順3までの操作をします(96ページ)。
- 3 【写真入り】をタッチします。
写真入りのデザイン選択画面が表示されます。
- 写真入りのデザインを番号から選ぶこともできます。「デザイン番号からデザインを選ぶ」の手順5で写真入りのデザイン番号を選んでください(96ページ)。

- 4 デザイン選択画面で使いたい写真入りデザインをタッチします。
- 画面を次に送るときは、【◀】または【▶】をタッチしてください。
- 本体に登録した写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 🔍 をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

- 5 使いたい写真をタッチします。
写真を切り抜く範囲を指定する画面が表示されます。



- 6 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。
調整する必要がなければそのまま手順7に進みます。
写真2枚入りのデザインを選んでいる場合は、手順5、6を繰り返してください。

- 7 【決定】をタッチします。
選んだ写真入りデザインの完成画面が表示されます。



- 【中止】をタッチしてデザインの選択からやり直すことができます。
- 印刷するときは100ページをご覧ください。

【写真】をタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- 写真の設定(104ページ)
- 切り抜き範囲の変更(101ページ)
- 他の写真に変更(103ページ)
- 文面にコメントや差出人を追加することができます(98、99ページ)。

文面に自分だけのコメントを入れる

添え書き(71ページ)の入るデザインで、添え書きの代わりに自由な文章(コメント)を入れることができます。コメントは5個まで入れられます。

1 イラスト集の完成画面で【機能】をタッチします。

機能メニューが表示されます。

2 【添え書きの設定】をタッチします。

添え書きの設定メニューが表示されます。



3 【添え書きなし】をタッチし、【決定】をタッチします。

添え書きがない完成画面が表示されます。

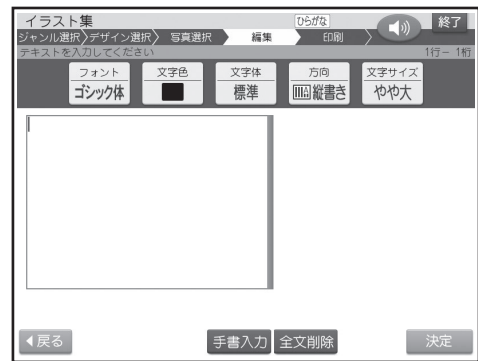


4 【機能】をタッチします。

機能メニューが表示されます。

5 【コメントの追加】をタッチします。

文章を入力する画面が表示されます。



6 文章を入力します(147ページ)。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

7 文章の入力が終わったら、【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

8 【はい】をタッチします。

コメントに青い枠がつきます。この枠をドラッグ(20ページ)して、コメントの位置を指定します。

- 【コメント編集】をタッチすると手順5に戻ります。
- コメントを削除したいときは、【削除】をタッチしてください。

9 コメントの位置が決まったら、【決定】をタッチします。

コメントが入り、完成画面に戻ります。

- 追加したコメントをタッチすると位置の調整や編集をすることができます。
- コメントをさらに追加したい場合は、手順4以降の操作を繰り返してください。
- コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。

文面に差出人を入れる

- 差出人を入れたい場合は、あらかじめ差出人を登録しておいてください(50ページ)。

1 イラスト集の完成画面で【差出人】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。

2 印刷したい差出人をタッチします。

差出人文字設定画面が表示されます。

- 差出人部分にQRコードを印刷することはできません。



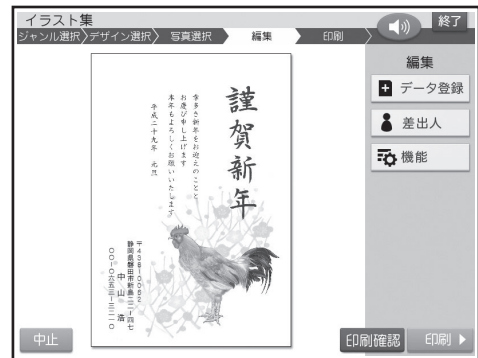
3 フォント、文字色、方向、文字サイズを指定した後、【決定】をタッチします(86ページ)。

差出人に青い枠がつきます。この枠をドラッグ(20ページ)して、差出人の位置を指定します。



4 差出人の位置が決まったら、【決定】をタッチします。

差出人が入り、完成画面に戻ります。



重要

毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さくなり、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

- 差出人を変更したい場合は、手順1以降の操作をやり直してください。

印刷する

カンタン作成、組み合わせ作成、オリジナルはがき作成、イラスト集で作った文面を、印刷する方法について説明します。

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 カンタン作成、組み合わせ作成、オリジナルはがき作成、イラスト集の完成画面で、【印刷】をタッチします。

印刷設定画面が表示されます。

- 【印刷】をタッチする前に【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。



2 紙質、印字タイプ、印刷部数の設定(このページ)を指定した後、【次へ】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。



3 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

ここでは、はがきの裏面に印刷するようにセットしてください(29ページ)。

4 【印刷開始】をタッチします。

はがきの印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

- 印刷を中止するときには、【中止】をタッチしてください。

5 印刷が終わったら、排紙トレイを「カチッ」と音がするまで戻してください。

■ 文面印刷の印刷設定画面の項目

項目	内容	設定
用紙サイズ	はがきサイズで固定されます。	はがき
印刷部数	印刷する枚数を設定します(数字キーで入力または【+】【-】をタッチして設定)。	1～99枚
紙質	印刷する紙の種類を設定します。	フォト光沢紙 (写真印刷用) インクジェット紙(インクジェット用) 普通紙 (上記以外)
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。	高精細(印刷時間:長い/仕上がり:きれい) 普通 (通常の仕上がり) 高速 (印刷時間:短い/仕上がり:粗い)

便利な機能

文面で行える機能(写真、差出人の編集など)について説明します。

写真を拡大して表示する

写真を画面全体に拡大して表示することができます(拡大表示画面)。



写真選択画面で、
🔍 をタッチする



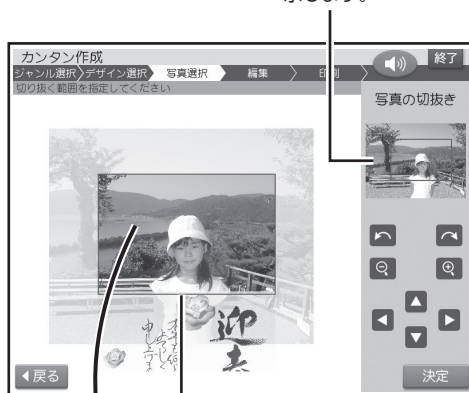
- 【回転】をタッチすると、写真が時計回りに90度ずつ回転します。
- 【拡大】をタッチすると、さらに写真が拡大されます。【▲】【▼】【◀】【▶】をタッチするか、付属のタッチペンで写真をドラッグ(20ページ)して、写真をスクロールすることができます。
- 【縮小】をタッチすると、写真が縮小されます。
- 【戻る】をタッチすると、写真選択画面に戻ります。

写真を編集する

写真の一部を切り抜いて文面に入れる(トリミング)

写真の一部を切り抜いて、好きな部分だけ使うことができます。

写真の印刷される範囲を示します。



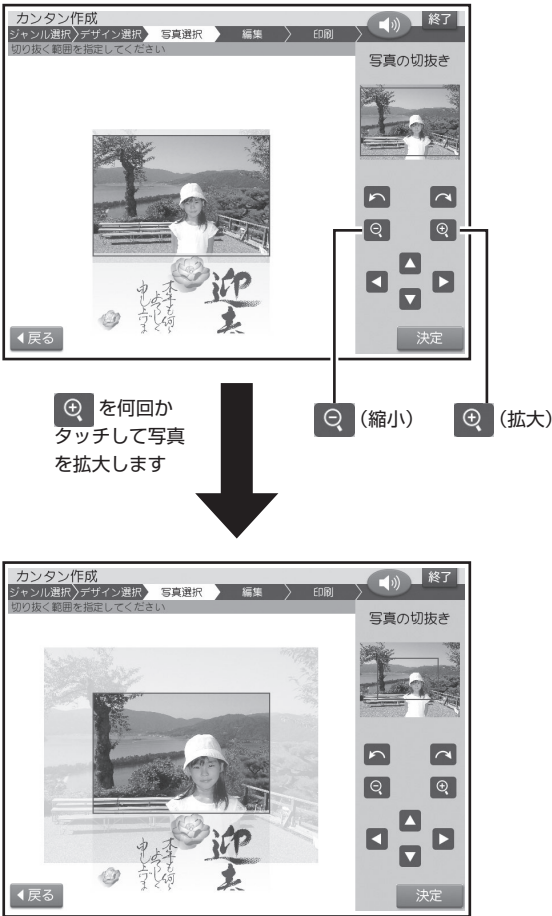
写真の枠
(この枠の中の写真が印刷されます。)



■ 写真の大きさを変更する

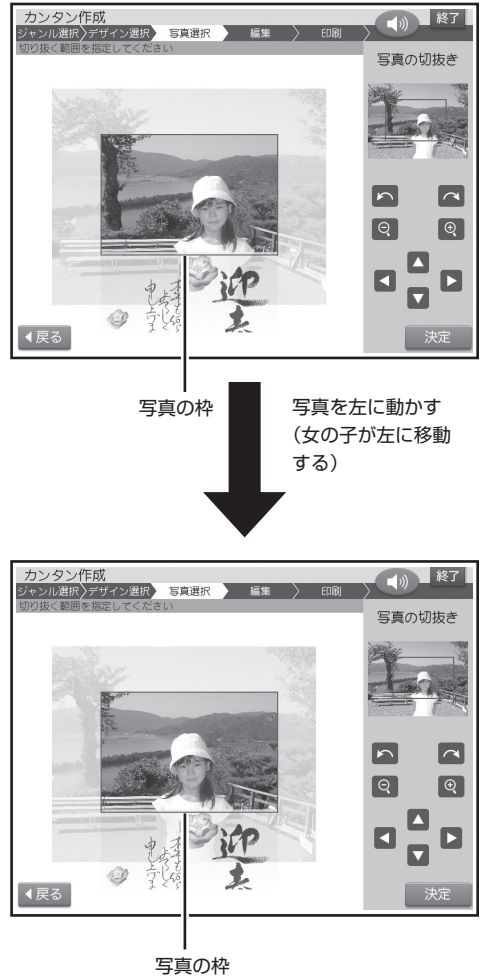
🔍 🔍 をタッチすることにより、写真の大きさを変更することができます。

例) 写真を拡大する



■ 写真の印刷する範囲を指定する

写真のどの部分を印刷するか指定することができます。付属のタッチペンで写真をドラッグ(20ページ)し、印刷したい部分を写真の枠の中におさめてください。([▲] [▼] [◀] [▶])をタッチして、写真を移動させることもできます。



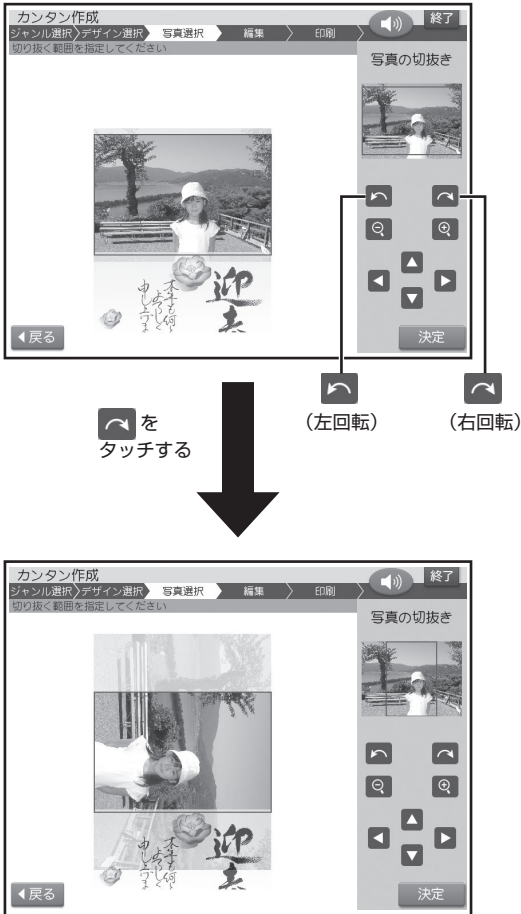
- 写真の枠の大きさによっては、指定した範囲と、切り抜いた結果が、若干異なる場合があります。

■ 写真を回転させる

☞☞ をタッチして、写真の向きを変更することができます。

☞ をタッチするごとに左(反時計回り)に、☞ をタッチするごとに右(時計回り)に、写真が90度ずつ回転します。

例) 写真を右(時計回り)に回転させる



写真を差し替える

一度選んだ写真を差し替えることができます。

- 1 差し替える写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 完成画面(写真入り)で【写真】をタッチします。
- 3 【他の写真に変更】をタッチします。
写真の一覧が表示されます。
写真2枚のレイアウトのときは、どちらの写真を変更するか指定する画面が表示されます。
- 4 使いたい写真をタッチします。
写真が画面に表示されます。
- 5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。
調整する必要がなければそのまま手順6に進みます。
- 6 【決定】をタッチします。
完成画面に戻り、差し替えた写真が文面に表示されます。

写真の色や濃さ、絵画変換を変える

写真の色をカラーの他に、白黒やセピア色に変えることができます。また、写真を薄く印刷したり(写真の上に文字を入れたい場合などに便利です)、水彩画や油彩画のように変換することができます。

1 完成画面(写真入り)で、**【写真】**をタッチします。

2 **【写真の設定】**をタッチします。

3 写真の色、薄印刷、絵画変換の設定(このページ)を指定した後、**【決定】**をタッチします。

完成画面に戻り、指定した内容で表示されます。

- 絵画変換を行った場合、画面に、絵画変換の進行状況を示すバーが表示されます。バーの最後まで進むと、完成画面が表示されます。完成画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

文面を編集する(カンタン作成)

カンタン作成で作った文面にコメントを追加したり、見出し文や年月を編集することができます。

コメントを追加する

コメントを5個まで追加することができます。

1 カンタン作成の完成画面で、**【機能】**をタッチします。

2 **【コメントの追加】**をタッチします。

入力画面が表示されます。

3 文章を入力し(147ページ)、**【決定】**をタッチします。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

テキストの終了を確認する画面が表示されます。

4 **【はい】**をタッチします。

コメントに青い枠が付きまます。この枠をドラッグ(20ページ)して、コメントの位置を指定します。

- **【コメント編集】**をタッチすると手順**2**に戻ります。
- コメントを削除したいときは、**【削除】**をタッチしてください。

5 コメントの位置が決まったら、**【決定】**をタッチします。

コメントが入り、完成画面に戻ります。

- 追加したコメントをタッチすると位置の調整や編集をすることができます。
- コメントをさらに追加したい場合は、手順**1**以降の操作を繰り返してください。
- コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。

■ 写真の色／濃さ／絵画変換の項目

項目	内容	設定
写真の色	写真の色を設定します。	カラー、白黒、セピア
薄印刷	写真を薄く印刷します。写真の上に文字を入れたい場合などに便利です。	しない、する
絵画変換	写真を水彩画、油彩画などのように変換することができます。	絵画変換しない、水彩、油彩、色鉛筆、パステル、淡彩点描、ししゅう、シルクスクリン、ガッシュ

見出し文を編集する

全面写真の年賀状では、見出し文のフォント・文字色・文字体を指定することができます。

- 見出し文の文章は変更できません。

1 カンタン作成の完成画面で、【機能】をタッチします。

2 【見出し文の文字設定】をタッチします。

3 フォント、文字色、文字体の設定(161ページ)を指定した後、【決定】をタッチします。

毛筆流麗体では、文字体の指定はできません。

- 見出し文の色を「白」にした場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」を参照してください(177ページ)。輪郭をつけないようにした場合は、白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。

年月を編集する

1 カンタン作成の完成画面で、【機能】をタッチします。

2 【年月の編集】をタッチします。

3 ◀▶で変更したい文字の前にカーソルを合わせます。

4 必要に応じて文字を修正し、【決定】をタッチします。

入力終了を確認する画面が表示されます。

5 【はい】をタッチします。

カンタン作成の完成画面に戻ります。

■ 年月の編集の文字設定の項目

項目	内容	設定
フォント	印刷するフォント(書体)を設定します。最初はデザインごとに決められた書体が表示されます。	ゴシック体、丸ゴシック体、明朝体、毛筆流麗体、毛筆楷書体
文字色	文字の色を設定します。パレットでそれぞれの色の■をタッチしてください。	32色から選択(黒、赤、緑、青、白など)

- 全面写真の年賀状で年月の編集をする場合、行頭に空白を入力して文字の位置を調整してください。空白を入力しないと、年月の文字と見出し文の文字が重なって印刷されます。

差出人を編集する

差出人を差し替える

差出人入りの文面を作った後に、差出人を変更したり、フォントや文字色、文字サイズを設定したりすることができます。

1 完成画面(差出人入り)で、【差出人】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。

- 【QRコードを印刷する】をタッチすると、差出人部分にQRコードを印刷することができます(このページ)。

2 印刷したい差出人をタッチします。

3 フォント、文字色、文字サイズを指定した後、【決定】をタッチします(86ページ)。

完成画面に戻り、変更した差出人が文面に表示されます。

重要

毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さくなり、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

QRコードを設定する

文面の差出人部分にQRコードを印刷できます。

QRコードにできるのは次の情報です。

差出人の名前・電話番号・メールアドレス

- イラスト集では、差出人部分にQRコードを印刷することはできません。



QRコード

- QRコードは、NTT docomo社の携帯電話の電話帳登録機能に対応した形式で作られています。その他の通信事業者の携帯電話では、電話帳への登録ができないことがあります。
- QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などを参照してください。

1 差出人を入れることができるデザインを選び、完成画面で【差出人】をタッチします。

2 【QRコードを印刷する】のチェックボックスをタッチします。

チェックボックスにが表示されます。



QRコードについてのご注意

- 印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。
- 携帯電話に登録するときには、差出人のふりがなをご自分で入力してください。
- QRコードを印刷する場合には、「インクジェット紙」または「インクジェット紙 光沢」の郵便はがきをご利用ください。
- インクジェット対応として市販されている私製はがきでも、インクがにじむ用紙があり、QRコードの印刷に適さないものがあります。

QRコードに登録可能な文字

- 名前
JISコード部分(JIS X0208)を登録します。
JIS外の漢字・外字・カシオオリジナル記号は登録できません。
- 電話番号
0~9までを登録します。
電話マークや(代)(直)などの記号は登録できません。

- メールアドレス
0~9/A~Z/a~z/!&(),-_./:?@を登録
します。
空白は登録しません。

登録できない文字は無視され、後ろの文字が詰め
られます。

写真を本体に登録する

メモリーカードの写真を100枚、本体に登録する
ことができます。

- 「イラスト集」で写真入り年賀状を作成する場合、作
成前に使用する写真を本体に登録しておくこと便利
です。
- 本体に登録した写真は、「文面」「写真プリント」「写
真アレンジ」の各機能で使用することができます。
- 登録した写真は、300万画素相当で保存されます。
- 本体に登録した写真をメモリーカードに戻すことは
できません。
- 大切な写真は本体だけでなく、メモリーカードなど
にも残しておくことをおすすめします。

写真を本体に登録する

- 1 写真が保存されているメモリーカードをセッ
トします(34ページ)。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)で【写真
データ】をタッチします。



3 【写真データ登録】をタッチします。

メモリーカードから読み込んだ写真の一覧(サム
ネイル)が表示されます。



- 【表示切替】をタッチすると、年月ごとに写真
が表示されます。年表示の横の【◀】【▶】を
タッチして年を指定し、写真を見たい月のタ
ブをタッチしてください。

4 本体に登録したい写真をタッチします。

選んだ写真にが表示されます。

- 取り消すときは、もう一度写真をタッチしま
す。
- 【全て選択】をタッチすると、表示されてい
るすべての写真にが表示されます。取り消
すときは、【全て解除】をタッチします。
- をタッチすると、写真を拡大表示するこ
とができます(101ページ)。

5 【決定】をタッチします。


確認のメッセージが表示されます。

6 【はい】をタッチします。

登録完了のメッセージが表示され、トップメ
ニュー画面に戻ります。

- 登録する写真の枚数によって、登録完了の
メッセージが表示されるまで時間がかかる
場合があります。

本体に登録した写真を削除する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)で【写真データ】をタッチします。
- 2 【写真データ削除】をタッチします。
本体に登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。
- 3 削除したい写真をタッチします。
選んだ写真にが表示されます。
 - 取り消すときは、もう一度写真をタッチします。
 - 【全て選択】をタッチすると、表示されているすべての写真にが表示されます。取り消すときは、【全て解除】をタッチします。
 -  をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。
- 4 【決定】をタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 5 【はい】をタッチします。
写真が削除されます。

データ登録と呼び出し

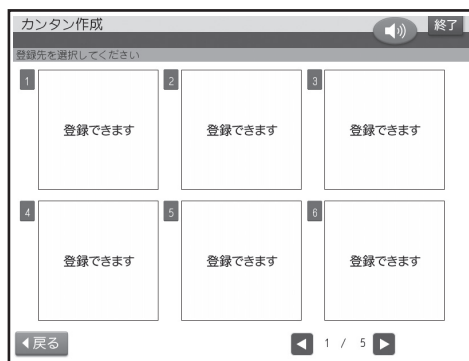
作成したデータを、本体に30件・メモリーカードに1000件まで登録できます。登録したデータは、後から呼び出して、内容を修正したり印刷することができます。

また、コメントプリントと絵画変換で作成したデータは画像として本体に登録することもできます。登録した画像は文面や写真カレンダーなどの機能で使用することができます(画像登録)。

- 差出人と外字は登録できません。
- 1件あたりのデータ容量は、使用されている写真の容量によって異なります。

作成したデータを登録する

- 1 メモリーカードに登録する場合は、メモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 完成画面で【データ登録】をタッチします。
- 3 コメントプリント／絵画変換の場合は、登録方法を選択する画面が表示されます。【ファイル登録】または【画像登録】をタッチします。
 - ファイル登録
登録したデータを、後で呼び出して編集したり印刷することができます。
 - 画像登録
データを画像データとして登録します。コメントプリントや絵画変換で作成したデータを、文面や写真カレンダーなどで写真として本体メモリーから呼び出すときに使用します。
- 4 【本体メモリー】または【メモリーカード】をタッチします。
 - 本体メモリー
ファイル選択画面が表示されます。



登録したいファイルをタッチします。

- すでにデータが登録されているファイルをタッチした場合は、新しいデータに書き替えるかどうか確認するメッセージが表示されます。

- メモリーカード
ファイル名の入力画面が表示されます。



ファイル名を入力し、【決定】をタッチします。ファイル名は8文字以内で入力してください。確認のメッセージが表示されます。【はい】をタッチしてください。

- すでに登録されているファイル名を入力すると、別のデータとして登録されます。

重要

ファイル名を入力しないと、データを登録することはできません。

データが登録され、元の画面に戻ります。

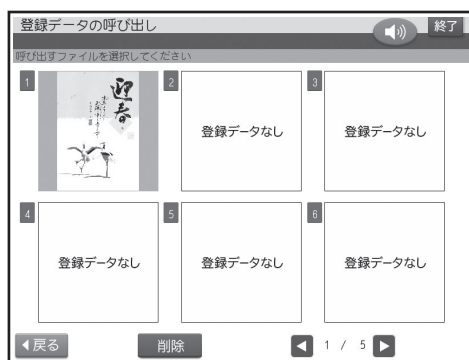
ファイルに登録したデータを呼び出す

- 1 メモリーカードから呼び出す場合は、データを登録したメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)で【登録データ】をタッチします。

3 【本体メモリー】または【メモリーカード】をタッチします。

ファイル選択画面が表示されます。

- 本体メモリー



- メモリーカード
ファイル名、ファイルの作成日時、登録件数が表示されます。ファイルは機能ごとに、作成日時順で登録されています。



4 呼び出すファイルをタッチします。

呼び出したファイルが表示されます。

- 他の機種で登録したデータは呼び出すことはできません。また、本機で作ったデータを他の機種で呼び出すこともできません。
- 差出人の内容は登録されていません。このため、データを登録後、本体の差出人を変更した場合は、呼び出し時に差出人の内容が変わります。
- 外字の内容は登録されません。データ呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

■ 登録したデータを削除する

- 1 メモリーカードに登録したデータを削除する場合は、データを登録したメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)で【登録データ】をタッチします。
- 3 【本体メモリー】または【メモリーカード】をタッチします。
ファイル選択画面が表示されます。
- 4 【削除】をタッチします。
- 5 削除するファイルを指定した後、【決定】をタッチします。
選んだファイルにが表示されます。
 - 取り消すときは、もう一度ファイルをタッチします。
 - 【全て選択】をタッチすると、表示されているすべてのファイルにが表示されます。取り消すときは、【全て解除】をタッチします。削除を確認する画面が表示されます。
- 6 【はい】をタッチします。

ファイル名を変更する

メモリーカードのファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

- 1 データを登録したメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)で【登録データ】をタッチします。
- 3 【メモリーカード】をタッチします。
ファイル選択画面が表示されます。
- 4 【名称修正】をタッチします。
- 5 ファイル名を変更したいファイルをタッチします。
- 6 現在のファイル名を削除します。
- 7 新しいファイル名を入力して【決定】をタッチします。
修正の終了を確認する画面が表示されます。
- 8 【はい】をタッチします。
ファイル選択画面に戻ります。
ファイル名を変更しても、ファイルの作成日時は変更されません。

第4章 写真の印刷

写真印刷の種類

デジタルカメラなどで撮った写真を印刷できます。そのまま印刷するだけでなく、本機の機能でさまざまなアレンジを加えることもできます。印刷できる写真の種類は次の通りです。

重要

印刷の前に、本機で使用できるメモリーカードと写真のデータについて、必ず、ご確認ください(33、35ページ)。

写真を印刷する (写真プリント) (112ページ)

写真にフチをつけたり白黒やセピアに変更することもできます。



写真入りの日記を作る (写真入り日記) (114ページ)



カレンダーを入れて印刷する (写真カレンダー) (122ページ)



文字やイラストを入れて印刷する (コメントプリント) (127ページ)

写真にコメントやスタンプなどを追加して印刷できます。



写真を絵画のように変換する (絵画変換) (134ページ)

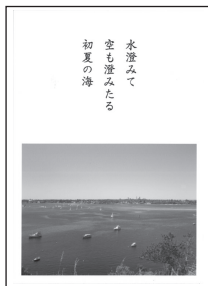


写真の一覧を印刷する (インデックスプリント) (135ページ)



俳句を入れて写真を印刷する (写真俳句) (136ページ)

俳句を添えた写真を印刷できます。



写真をシールに印刷する (シールプリント) (140ページ)

写真にフレームをつけてシールとして印刷できます。



デジタルカメラの設定で印刷する(DPOFプリント) (144ページ)

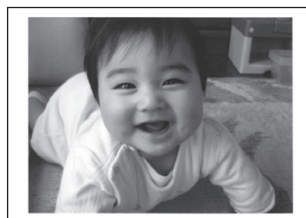
DPOFに対応したデジタルカメラでは、カメラ側で印刷する写真を選んだり、印刷枚数を指定することができます。

写真を印刷する(写真プリント)

デジタルカメラなどのメモリーカード、または本体に保存されている写真を選んで印刷できます。写真にフチをつけたり、日付を入れることができます。また、写真の色を白黒やセピアに変えることもできます。



2016/12/28



重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)で【写真プリント】をタッチします。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。

- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀】【▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。

<メモリーカードの場合>

- デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
- サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、拡大表示で写真が表示されている場合は、印刷できます。
- 動画は表示されません。

3 印刷したい写真をタッチします。

印刷枚数を設定できるようになります。



- 【Q】をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。拡大表示した状態では、枚数は設定できません。【戻る】をタッチしてください。
- 写真をタッチするたびに、印刷枚数が増えます。
- 枚数は、1枚の写真につき99枚まで指定することができます。
- 印刷枚数は、数字キーで入力または【+】【-】をタッチして指定することもできます。
- 【一括指定】をタッチすると、すべての写真の印刷枚数を一括で指定することができます。数字キーで入力または【+】【-】をタッチして枚数を指定した後、【決定】をタッチします。取り消すときは、【全て解除】をタッチしてください。

他の写真も印刷したい場合は、手順3の操作を繰り返してください。

4 【印刷】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

- 写真プリントの場合、用紙サイズは「L判」に設定されています。用紙サイズを変更するときは【用紙変更】をタッチして用紙を選択してください。
- 紙質は「フォト光沢紙」、印字タイプは「普通」、フチは「なし」、日付は「日付なし」、写真の色は「カラー」に設定されています。【印刷設定】をタッチして表示されたメニューで設定を変更することができます(143ページ)。
- 「フチなし」にすると、印刷のときに写真の一部が切れることがあります。

変更する必要がなければ、そのまま手順5に進みます。

5 印刷します(142ページ手順3以降)。

写真入りの日記を作る

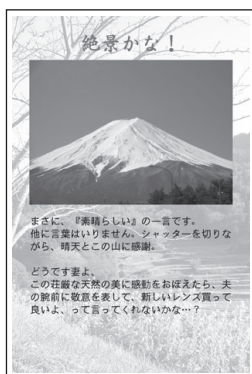
(写真入り日記)

写真を入れた日記を作ることができます。日記の背景に色を付けたり、イラストや写真を入れることもできます。

イラスト背景



写真背景



色背景



- 日記は日記帳ごとに管理できます。
 - 日記帳は作成者や内容などによって分類できます。
 - 日記は本体に150ページ、メモリーカードに1000ページ登録できます*。
- *すべての日記帳の日記を合計したページ数

日記帳を作る

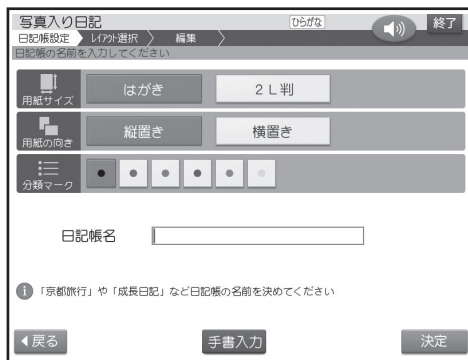
まずは、新しい日記帳を作ります。日記のサイズやレイアウトなどを選んでください。

- 日記帳は分類マークによって、分類することができます。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【写真入り日記】の順にタッチします。



2 【日記帳の新規作成】をタッチします。



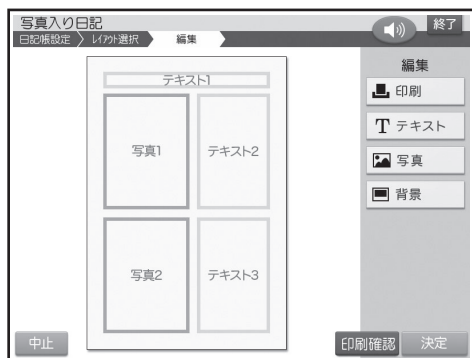
3 用紙サイズ、用紙の向き、分類マークを指定し、日記帳の名前を入力した後、【決定】をタッチします。

- 用紙サイズと用紙の向きは日記帳ごとに指定できます。
- 分類マークは6色から選ぶことができます。
- 日記帳の名前は15文字以内で入力してください。



4 使いたいレイアウトをタッチします。

完成画面が表示されます。



- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。

写真入り日記を作る

テキストを入力し、写真を選びます。

テキスト(文章)を入力する

1 完成画面(このページ)で「テキスト1」の部分タッチします。

レイアウトにより、テキストは4つまで入れることができます。「テキスト1」「テキスト2」「テキスト3」「テキスト4」のいずれかをタッチしてください。



「日記帳を作る」の手順4で指定したレイアウトによって、縦書きまたは横書きの表示になります。

2 文章を入力します(147ページ)。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。
- 文字サイズは、小/標準/やや大/大/極大の5種類あります。
- 一度入力したテキストを修正するとき、最初の文字サイズよりも大きいものを指定すると、入力済みのテキストの一部が消えることがあります。
- 文字割付は、左寄せ/中寄せ/右寄せの3種類あります。

3 文章の入力が終わったら、【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

4 【はい】をタッチします。

完成画面に戻り、入力した文章が表示されます。

他のテキストを入力したい場合は、手順1以降の操作を繰り返してください。

- 完成画面でテキスト、写真、背景を編集することができます(117～118ページ)。

5 日記の作成が終わったら、【決定】をタッチして登録します(118ページ)。

日記の作成を続ける場合は、登録しないで、このまま操作を続けてください。

- 印刷するときは142ページをご覧ください。

写真を選ぶ

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 完成画面(115ページ)で「写真1」の部分タッチします。

- レイアウトにより、写真は3枚まで入れることができます。「写真1」「写真2」「写真3」のいずれかをタッチしてください。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。

- をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

3 日記に入れたい写真をタッチします。



4 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

調整する必要がなければそのまま手順5に進みます。

5 【決定】をタッチします。

完成画面に戻り、選んだ写真が表示されます。

他の写真を選びたい場合は手順2以降の操作を繰り返してください。

- 完成画面でテキスト、写真、背景を編集することができます(117～118ページ)。

6 日記の作成が終わったら、【決定】をタッチして登録します(118ページ)。

日記の作成を続ける場合は、登録しないで、このまま操作を続けてください。

- 印刷するときは142ページをご覧ください。

写真入り日記を編集する

写真入り日記の完成画面(115ページ)から、テキストや写真を編集したり、背景を入れることができます。

テキストの設定

- 1 編集したいテキストを直接タッチします。
- 2 「テキスト(文章)を入力する」の手順2以降の操作をします(115ページ)。

写真の設定

写真を編集したり、差し替えたりすることができます。初めに、編集または差し替えたい写真を直接タッチします。

■ 写真の色や濃さを調整する

- 1 【写真の設定】をタッチします。
- 2 写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更します(104ページ)。

■ 写真の切り抜き範囲を変更する

- 1 【切り抜き範囲の変更】をタッチします。
- 2 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

■ 写真を差し替える

- 1 【他の写真に変更】をタッチします。
写真の一覧が表示されます。
- 2 写真を差し替えます(103ページ)。

■ 写真を削除する

- 1 【写真の削除】をタッチします。
写真が削除され、完成画面に戻ります。

背景の設定

背景にイラストまたは写真を入れたい、背景の色を変えたりすることができます。初めに、【背景】をタッチしてください。背景の設定画面が表示されます。

■ 背景にイラストを入れる

- 1 【イラスト背景】をタッチします。
背景イラスト選択画面が表示されます。
- 2 背景に入れたいイラストをタッチします。
イラストが入り、完成画面に戻ります。
 - 背景イラストは24種類あります。

■ 背景に写真を入れる

- 1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 【写真背景】をタッチします。
メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。
 - 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
 - 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 3 背景に入れたい写真をタッチします。
- 4 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。
調整する必要がなければそのまま手順5に進みます。

5 【決定】をタッチします。

写真が入り、完成画面に戻ります。

【背景】→【写真背景】の順でタッチして表示されるメニューで次の操作ができます。

- 【写真の設定】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます(104ページ)。
- 【切り抜き範囲の変更】で、写真の範囲、向き、位置を調整できます(101ページ)。
- 【他の写真に変更】で、写真を差し替えられます(117ページの手順3以降)。

■背景の色を変える

1 【色背景】をタッチします。

色を選ぶパレットが表示されます。

- 背景は32色から選ぶことができます。

2 背景に設定したい色の■をタッチします。

背景が選んだ色になり、完成画面に戻ります。

■他の日記の背景を入れる

1 【他の日記の背景】をタッチします。

編集中の日記帳に登録されている日記がすべて表示されます。

- 他の日記帳に登録されている日記の背景は流用できません。

2 背景を流用したい日記をタッチします。

選んだ日記と同じ背景が入り、完成画面に戻ります。

■背景を削除する

1 【背景なし】をタッチします。

背景が削除され、完成画面に戻ります。

写真入り日記を登録する

1 写真入り日記の完成画面(115ページ)で、【決定】をタッチします。

日付設定画面が表示されます。



2 【▲】【▼】をタッチして日記の日付を指定し、【決定】をタッチします。

最初は本機の時計の日付になっています。修正する必要がなければそのまま手順3に進みます。

日記の登録先を選ぶ画面が表示されます。

3 【本体メモリー】または【メモリーカード】をタッチします。

登録を確認する画面が表示されます。

4 【はい】をタッチします。

5 日記の登録が完了すると、「続けて他の日記を作成しますか?」という画面が表示されます。

- 続けて日記を作成する場合
【はい】をタッチして、「日記帳を作る」の手順4(115ページ)、「写真入り日記を作る」(115ページ)の操作を繰り返してください。
- 作成を終える場合
【いいえ】をタッチしてください。日記の閲覧画面が表示されます。

日記帳に日記を追加する

日記帳ごとに、日記を追加していくことができます。

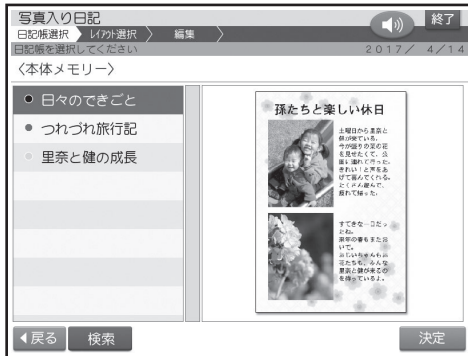
1 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【写真入り日記】の順にタッチします。

2 【日記の追加】をタッチします。

日記帳の呼び出し先を指定する画面が表示されます。

3 【本体メモリー】または【メモリーカード】をタッチします。

本体メモリーまたはメモリーカードに登録されている日記帳の一覧と、選ばれている日記帳の最新の日記が表示されます。日記は日付順で登録されています。



4 日記を追加したい日記帳を選んで、【決定】をタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。

5 使いたいレイアウトをタッチします。

完成画面が表示されます。

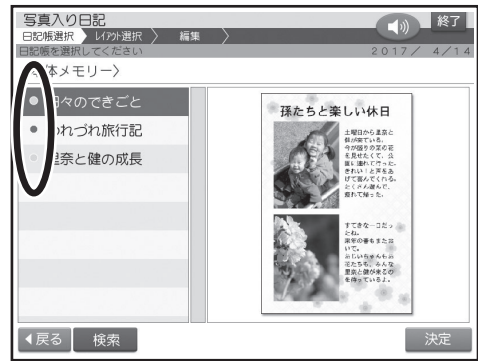
6 「写真入り日記を作る」(115ページ)、「写真入り日記を登録する」(118ページ)と同様な操作をします。

分類マークを変更する

日記帳の分類マークを変更することができます。

1 日記帳の一覧表示で、変更したい分類マークをタッチします。

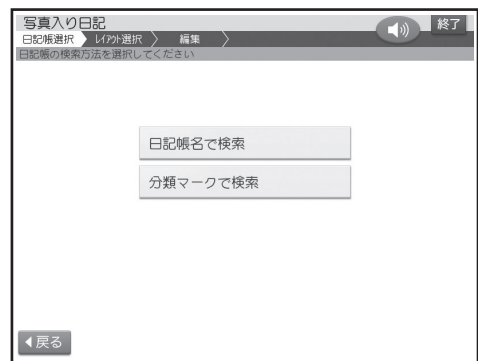
タッチするたびに、分類マークが切り替わります。続けて他の分類マークを変更するときは、この操作を繰り返してください。



日記帳を検索する

日記帳を日記帳の名前または分類マークで検索することができます。

1 日記帳の一覧表示またはカレンダー表示画面で、【検索】をタッチします。



2 検索方法をタッチします。

3 検索条件を指定します。

- 日記帳名で検索
日記帳の名前を入力し、【決定】をタッチします。
- 分類マークで検索
検索したい分類マークをタッチします。

検索が完了すると、該当する日記帳が表示されます。

日記を閲覧する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【写真入り日記】の順にタッチします。

2 【日記の閲覧】をタッチします。

本体メモリーの日記が登録されている月が表示されます。

年月を変更する場合は、◀ ▶ をタッチします。

その際、日記が登録されていない月は、表示されません。

- メモリーカードに登録されている日記を閲覧する場合は【メモリーカード】のタブをタッチしてください。
- 日記が登録されている日付に、分類マークが表示されます。



分類マーク

3 日記を見たい日付をタッチします。



- 【全日記帳】をタッチすると、本体メモリーに登録されている日記帳がすべて表示されます(手順2でメモリーカードを選んだ場合はメモリーカードの日記帳)。
- 【複写】をタッチすると、選んだ日記帳をメモリーカードに複写することができます(手順2でメモリーカードを選んだ場合はメモリーカードから本体メモリーに複写)。複写を確認する画面が表示されます。【はい】をタッチしてください。
- 【削除】をタッチすると、選んだ日記帳を削除することができます。削除を確認する画面が表示されます。【はい】をタッチしてください。
- 【名称修正】をタッチすると、選んだ日記帳の名前を修正することができます。日記帳の名前を修正し、【決定】をタッチした後、【はい】をタッチしてください。

4 日記を閲覧したい日記帳をタッチし、【決定】をタッチします。

日記の閲覧画面が表示されます。

◀ をタッチすると1つ前の日記が、▶ をタッチすると1つ後ろの日記が表示されます。



- **【追加】** をタッチすると、日記を追加することができます。「日記帳に日記を追加する」の手順5以降の操作をしてください(119ページ)。用紙サイズ、用紙の向きは閲覧している日記と同じになります。
- **【拡大】** をタッチすると、日記が拡大表示されます。このとき、**【▲】** **【▼】** **【◀】** **【▶】** をタッチして画面のスクロールができます。

写真入り日記を編集する

日記を修正する

- 1 日記の閲覧画面で**【編集】**をタッチします。
- 2 **【日記の修正】**をタッチします。
- 3 日記を編集します(117ページ)。
- 4 日記を登録し直します(118ページ)。
日記帳の閲覧画面に戻ります。

日記を削除する

- 1 日記の閲覧画面で**【編集】**をタッチします。
- 2 **【日記の削除】**をタッチします。
- 3 削除したい日記をタッチします。
選んだ日記にが表示されます。
 - 取り消すときは、もう一度日記をタッチします。
 - **【全て選択】** をタッチすると、表示されているすべての日記にが表示されます。取り消すときは、**【全て解除】**をタッチします。
- 4 **【決定】**をタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 5 **【はい】**をタッチします。
日記が削除され、日記の閲覧画面に戻ります。

日記を移動する

同じ日に日記が複数登録されているときは、日記を移動することができます。

- 1 日記の閲覧画面で**【編集】**をタッチします。
- 2 **【日記の移動】**をタッチします。
日記を並べ替える画面が表示されます。
- 3 日記帳に登録したい順番で、日記をタッチします。
タッチした順番が日記の右下に表示されます。
 - **【番号取消】** をタッチすると、すべての順番が取り消されます。
- 4 すべての日記をタッチして順番を決めたら、**【決定】**をタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 5 **【はい】**をタッチします。
日記が並び替えられ、日記の閲覧画面に戻ります。

日記閲覧画面から日記を印刷する

- 1 日記の閲覧画面で**【印刷】**をタッチします。
- 2 印刷したい日記をタッチします。
選ばれた日記に、が表示されます。
 - 取り消すときは、もう一度日記をタッチします。
 - **【全て選択】** をタッチすると、表示されているすべての日記にが表示されます。取り消すときは、**【全て解除】**をタッチします。
- 3 **【決定】**をタッチします。
- 4 「印刷する」(142ページ)の手順2以降の操作をします。

カレンダーを入れて印刷する (写真カレンダー)

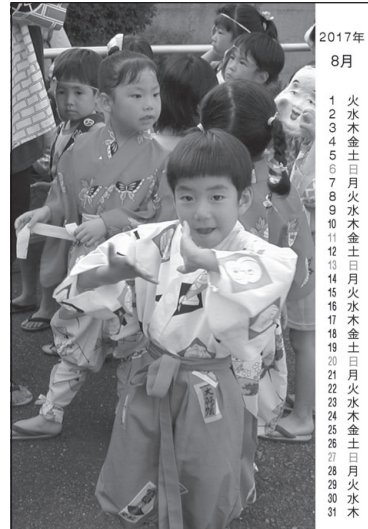
写真を使って次のようなレイアウトのカレンダーが作れます。



イラストフレーム付きのレイアウト



写真が2枚あるレイアウト



写真カレンダーを作る

- イラストのフレームが付いたレイアウトを選ぶと、フレームの中に写真を入れて写真カレンダーを作ることができます。

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

- 1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

- 2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【写真カレンダー】の順にタッチします。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



- 3 【はがき】または【2L判】をタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。



- 4 使いたいレイアウトをタッチします。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【<】【>】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 【Q】をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

- 5 カレンダーにしたい写真をタッチします。

写真2枚入りのデザインを選んでいる場合は、手順5、6の操作を繰り返します。



6 写真の範囲、向き、位置を調整し(101ページ)、【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。



- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。
- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。
- 最初は、下記の設定のカレンダーが表示されます。設定を変更するの必要がなければ、そのまま手順7に進みます。

<カレンダーの設定>

印刷月数:一ヶ月

開始年月:本機の時計の年月

表記方法:漢字

<休日>

日曜日

<背景>

なし

設定の変更方法については、このページ～126ページを参照してください。

全面に写真を配置するレイアウトの場合、印刷月数は下記で固定されます。

はがき: 六ヶ月

2L判用紙: 十二ヶ月

7 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

写真カレンダーを編集する

「写真カレンダーを作る」の完成画面(このページの手順6の画面)からカレンダー、写真、背景の設定をすることができます。

カレンダーの設定

カレンダーの年月やレイアウト(1ヶ月・2ヶ月・6ヶ月・12ヶ月)などを設定することができます。

初めに、【カレンダー】をタッチしてください。カレンダーの設定画面が表示されます。

■ カレンダーの表示方法を設定する

カレンダー(印刷月数、開始年月、表記方法)を設定することができます。

1 【カレンダーの設定】をタッチします。

2 印刷月数、開始年月、表記方法の設定(126ページ)を指定した後、【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。

■ 休日を設定する

カレンダーの休日を設定することができます。(お買い上げ時には、日曜日だけ休日(赤く印刷される)に設定されています。)

1 【休日の設定】をタッチします。



2 休日設定月を【◀】または【▶】をタッチして設定します。

「年」:2001年~2099年

「月」:1月~12月

【今月】:本機の時計の年月が表示されます。

3 休日にしたい日付をタッチします。

休日に設定された日付が赤く表示されます。

- 日付をタッチするごとに、休日と平日が切り替わります。
- 曜日(日~土)をタッチすると、曜日全体を切り替えることができます。

続けて他の月の休日を設定する場合は、手順2からの操作を繰り返します。

4 休日の設定が終わったら、【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。

■ カレンダーの文字色を設定する

1 【文字色の設定】をタッチします。

2 年月の色、平日の色、休日の色を指定した後、【決定】をタッチします。

- ■をタッチしてそれぞれの文字の色を設定してください。【他の色】をタッチすると全32色のパレットから色を選べます。

完成画面が表示されます。

写真の設定

写真を編集したり、差し替えたりすることができます。

初めに、【写真】をタッチしてください。写真の設定画面が表示されます。

■ 写真の色や濃さを調整する

1 【写真の設定】をタッチします。

2 写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更します(104ページ)。

■ 写真の切り抜き範囲を変更する

1 【切り抜き範囲の変更】をタッチします。

2 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

■ 写真を差し替える

1 【他の写真に変更】をタッチします。

写真の一覧が表示されます。

2 写真を差し替えます(103ページ)。

背景の設定

レイアウトによっては、カレンダーの背景にイラストを入れることができます。

■ 背景にイラストを入れる

1 【背景】をタッチします。

背景イラスト選択画面が表示されます。

2 背景に入れたいイラストをタッチします。

完成画面に戻り、指定した内容で表示されます。

- 背景イラストは5種類あります。
- 背景を入れたくないときは【背景なし】をタッチしてください。

■ カレンダーの設定画面の項目

項 目	内 容	設 定
印刷月数	表示する期間(月数)を設定します。 選んだ用紙サイズ(123ページの手順 3)とレイアウト(123ページの手順 4)によって設定できる月数が異なります。	<ul style="list-style-type: none"> • はがきの下半分／右半分にカレンダーを配置：一ヶ月、二ヶ月 • 2L判用紙の下半分／右半分にカレンダーを配置：一ヶ月、二ヶ月、六ヶ月 • はがき／2L判用紙のほぼ全面に写真を配置：一ヶ月 • はがきの全面に写真を配置：六ヶ月 • 2L判用紙の全面に写真を配置：十二ヶ月
開始年月	カレンダーを開始する年月を設定します。 【◀】または【▶】をタッチして設定します。	「年」： 2001年～2099年 「月」： 1月～12月 【今月】： 本機の時計の年月が表示されます。
表記方法	年月や曜日を漢字で表記するか、英数字で表記するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 英数字で表記するレイアウトを選んだときは、西暦と月は数字のみの表示となります。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 1月 20××年 日月火・・・ (漢字) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 20×× S M T・・・ (英数字) </div>

- たとえば、2017年1月～2月のカレンダーを作るときの設定は、以下のようになります。

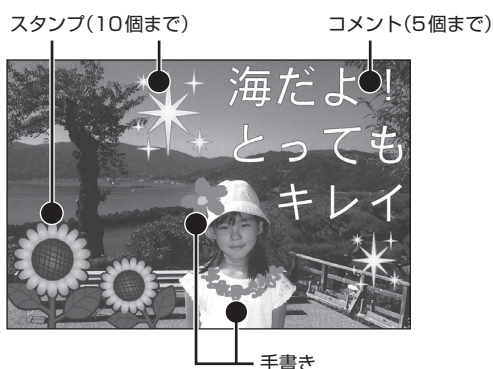
印刷月数：二ヶ月

開始年月：2017年1月

文字やイラストを入れて印刷する (コメントプリント)

お気に入りの写真に、コメント(文章)やスタンプ(イラスト)を追加することができます。タッチペンで書いた手書きの文字や絵を入れることもできます。

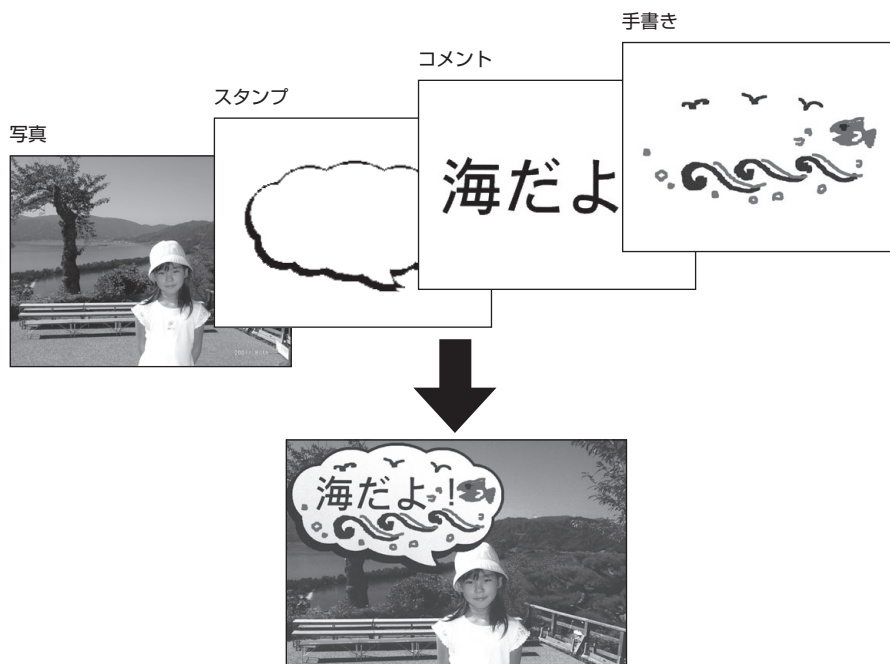
- コメントプリントで作った写真は、はがきの文面や写真カレンダーなどに使用することができます。



写真に追加するコメントなどの重なり方について

コメント、スタンプ、手書きは重ねて追加することもできます。

重なる順序は次の通りです。



- スタンプやコメントなど同じ種類の項目が複数あるときは、後から追加・編集したものが手前になります。

印刷したい写真を取り込む

コメントプリントで使用する写真の準備をします。

- 1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【コメントプリント】の順にタッチします。
用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。
- 3 印刷したい用紙サイズをタッチします。

- メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 🔍 をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

4 印刷したい写真をタッチします。



5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

調整する必要がなければそのまま手順6に進みます。

6 【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。



- 【写真】をタッチして、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます(104ページ)。
- このまま印刷することもできます(142ページ)。
- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

コメントプリントのデータを編集する

スタンプやコメントなどを入れる方法を説明します。

スタンプを追加する

付属のタッチペンを使用してスタンプを追加します。



- スタンプは10個まで追加することができます。

1 コメントプリントの完成画面(128ページの手順6の画面)で、【スタンプ】をタッチします。

スタンプのジャンル選択画面が表示されます。



2 使いたいジャンルをタッチします。

スタンプ選択画面が表示されます。



- スタンプの内容の一覧については、付属の「デザインカタログ」を参照してください。

3 追加するスタンプをタッチします。

スタンプ追加画面が表示されます。



- スタンプは10個まで追加することができます。

4 スタンプの位置や大きさなどを調整します。

- 位置を調整する
スタンプの枠の中を、タッチペンでドラッグ(20ページ)して移動できます。
- 大きさを調整する
タッチペンで【拡大】または【縮小】をタッチすると、スタンプの大きさが段階的に変化します。
また、タッチペンでスタンプの四隅をドラッグしてもスタンプの大きさが変わります(スタンプの一部が画面からはみ出しているときは、大きさは変わりません)。

- 角度を調整する(回転する)
タッチペンで【右回転】をタッチすると右(時計回り)に、【左回転】をタッチすると左(反時計回り)に、スタンプが30度ずつ回転します。
- 向きを設定する(反転する)
タッチペンで【反転】をタッチすると、スタンプの左右が反転します。
- スタンプを削除する
タッチペンで削除したいスタンプをタッチし、【削除】をタッチします。削除することを確認し、【はい】をタッチします。
- スタンプを複製する
タッチペンで複製したいスタンプをタッチし、【複製】をタッチすると、複製されたスタンプが追加されます。なお、すでにスタンプが10個追加されているときは、この操作はできません。

調整する必要がなければそのまま手順5に進みます。

- スタンプを端に配置すると印刷時に切れることがあります。スタンプは少し内側に配置するようにしてください。

5 スタンプの位置を確認して、【決定】をタッチします。

スタンプが追加されて、完成画面が表示されます。追加したスタンプをタッチしても、位置や大きさを調整することができます。さらにスタンプを追加したいときは、手順1以降の操作を繰り返してください。



- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

次の操作もできます。

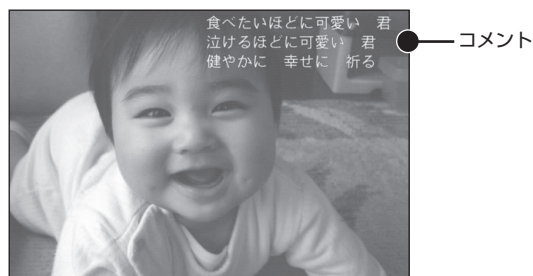
- 【コメント】で、コメントを追加できます(このページ)。
- 【手書き】で、手書きの文字や絵を追加できます(132ページ)。
- 【写真】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます(133ページ)。

6 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

コメントを追加する

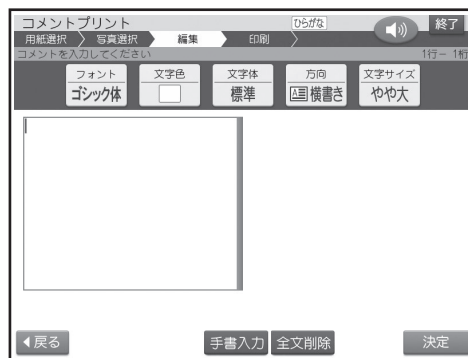
付属のタッチペンとキーボードを使用してコメントを追加します。



- コメントは5個まで追加できます。

1 コメントプリントの完成画面(128ページ)の手順6の画面)で、【コメント】をタッチします。

コメント入力画面が表示されます。



2 文字を入力(147ページ)した後、【決定】をタッチします。

- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

3 【はい】をタッチします。

コメントの位置や大きさなどを調整する画面が表示されます。

4 コメントの位置や大きさなどを調整します。

- 位置を調整する
コメントの枠の中を、タッチペンでドラッグ(20ページ)して移動できます。
- 大きさを調整する
タッチペンで【拡大】または【縮小】をタッチすると、コメントの大きさが最大で5段階に変化します(コメントの行桁数によって拡大できる大きさに制限があります)。
- 向きを調整する(回転する)
タッチペンで【右回転】をタッチすると右(時計回り)に、【左回転】をタッチすると左(反時計回り)に、コメントが30度ずつ回転します。
- 入力したコメントを修正する
編集したいコメントをタッチし、【コメント編集】をタッチします。方向、サイズを設定し、文字を入力し直します。
- コメントを削除する
タッチペンで削除したいコメントをタッチし、【削除】をタッチします。削除することを確認し、【はい】をタッチします。

調整する必要がなければそのまま手順5に進みます。

- コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。
- コメントの大きさを変更すると、印刷する文字の大きさが変わります。
- 完成画面に表示されるコメントは目安です。印刷結果は印刷確認画面で確認してください。

5 文字の位置を確認して、【決定】をタッチします。

コメントが追加されて、完成画面が表示されます。追加したコメントをタッチしても、位置や大きさを調整することができます。さらにコメントを追加したいときは、手順1以降の操作を繰り返してください。



- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

次の操作もできます。

- 【スタンプ】で、スタンプを追加できます(129ページ)。
- 【手書き】で、手書きの文字や絵を追加できます(132ページ)。
- 【写真】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます(133ページ)。

6 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

手書きを追加する

付属のタッチペンを使用して、手書きの文字や絵を追加します。

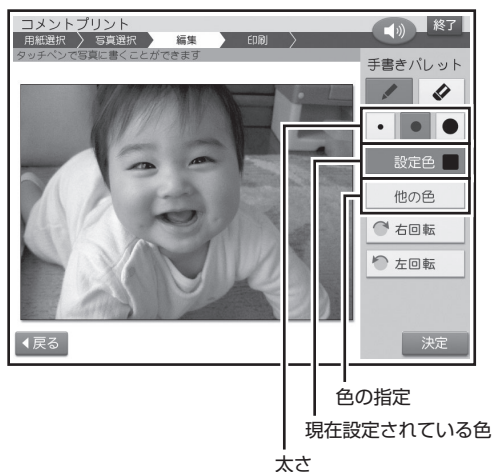


1 コメントプリントの完成画面(128ページ)の手順6の画面で、【手書き】をタッチします。

手書きの入力画面が表示されます。



2 ペンの太さや色をタッチして選びます。



- 表示上の色と実際に印刷される色味は若干異なる場合があります。

3 タッチペンで画面をなぞり、手書きを追加します。



消しゴムアイコン

ペンの太さや色を変えたいときは、手順2の操作を繰り返してください。

手書きを消したいときは、消しゴムアイコンをタッチしてから、手書きした線の上をなぞって消してください。

タッチペンで【右回転】をタッチすると右(時計回り)に、【左回転】をタッチすると左(反時計回り)に、写真ごと90度ずつ回転します。

- 手書きを端に配置すると印刷時に切れることがあります。手書きは少し内側に配置するようにしてください。

4 内容を確認して、【決定】をタッチします。

編集の終了を確認する画面が表示されます。

5 【はい】をタッチします。

手書きが追加されて、完成画面が表示されます。手書きを書き直したいときは、手順1以降の操作を繰り返してください。



- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。
- 手書きで塗りつぶしたり、消しゴムで消したりした場合、塗り残しや消し残しができる場合があります。手書きの追加画面では確認しきれないため、印刷確認画面を拡大してよく確認してください。

次の操作もできます。

- 【スタンプ】で、スタンプを追加できます(129ページ)。
- 【コメント】で、コメントを追加できます(130ページ)。
- 【写真】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます(このページ)。

6 印刷します(142ページ)。

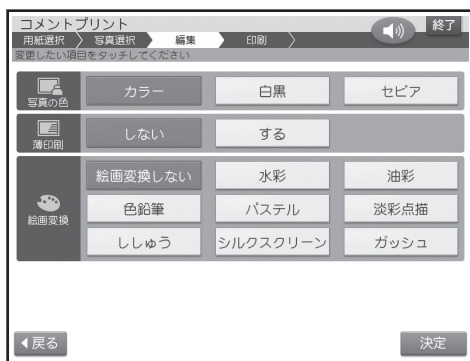
作ったデータを登録することができます(108ページ)。

写真の色や濃さ、絵画変換のしかたを指定する

付属のタッチペンを使用して写真の色や濃度を変更できます。また写真を絵のように変換する絵画変換のしかたも指定できます。

1 コメントプリントの完成画面(128ページ)の手順6の画面で、【写真】をタッチします。

写真の色や濃さ、絵画変換の設定画面が表示されます。



2 写真の色、薄印刷、絵画変換の設定(144ページ)を指定した後、【決定】をタッチします。

写真が調整されて、完成画面が表示されます。写真を調整し直したいときは、手順1以降の操作を繰り返してください。

- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

次の操作もできます。

- 【スタンプ】で、スタンプを追加できます(129ページ)。
- 【コメント】で、コメントを追加できます(130ページ)。
- 【手書き】で、手書きの文字や絵を追加できます(132ページ)。

3 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

写真を絵画のように変換する (絵画変換)

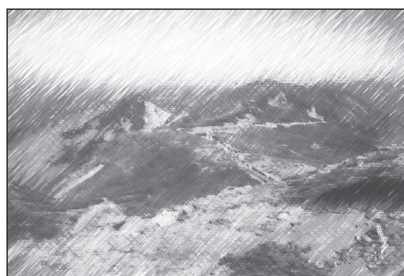
写真を絵画(水彩画、油彩画など)のように、変換して印刷することができます。

- 絵画変換には、以下の8種類があります。
水彩、油彩、色鉛筆、パステル、淡彩点描、ししゅう、シルクスクリーン、ガッシュ

水彩



色鉛筆



〔協力:梅村高ソフトウェアデザイン(有)〕

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が登録されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【絵画変換】の順にタッチします。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



3 印刷したい用紙サイズをタッチします。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 🔍 をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

4 絵画変換したい写真をタッチします。



5 写真の範囲、向き、位置を調整(101ページ)し、【決定】をタッチします。

絵画変換メニュー画面が表示されます。

6 使いたい絵画変換のしかたをタッチします。

完成画面が表示されます。

- 絵画変換中は、画面に、絵画変換の進行状況を示すバーが表示されます。バーの最後まで進むと、完成画面が表示されます。完成画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

- 写真に複数の人の顔が写っている場合、完成画面が表示されるまで、より時間がかかる場合があります。



- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

7 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

次の操作もできます。

- 【写真】で写真の色や濃さを調整したり、【絵画】で絵画変換のしかたを変更できます(104ページ)。

写真の一覧を印刷する (インデックスプリント)

メモリーカードに登録されている写真の一覧を印刷(インデックスプリント)できます。

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【インデックスプリント】の順にタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

- インデックスプリントの場合、用紙サイズは「L判」に設定されています。用紙サイズを変更するときは【用紙変更】をタッチして用紙を選択してください。

- 紙質は「フォト光沢紙」、印字タイプは「普通」、写真番号は「つける」に設定されています。変更するときは【印刷設定】をタッチして設定を変更してください(143ページ)。

変更する必要がなければ、そのまま手順3に進みます。

3 印刷します(142ページ手順3以降)。

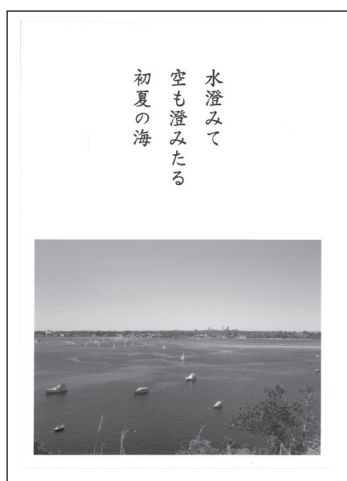
俳句を入れて写真を印刷する (写真俳句)

次のようなレイアウトで俳句を添えた写真が印刷できます。

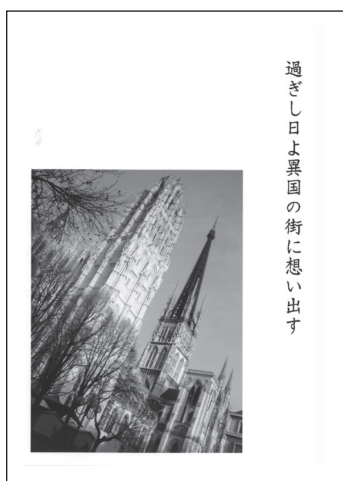
重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

横向きの写真で作る(137ページ)



縦向きの写真で作る(137ページ)



写真を2枚使う(137ページ)



写真の上に文字を合成する(応用作成) (138ページ)



場所や日付などを入れることもできます。

写真俳句を作る

まず用紙のサイズとレイアウトを選び、次に写真を選んでから俳句を入力します。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【写真俳句】の順にタッチします。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



3 印刷したい用紙サイズをタッチします。
レイアウト選択画面が表示されます。

4 使いたいレイアウトをタッチします。
メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。

- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- 🔍 をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

5 印刷したい写真をタッチします。
写真2枚入りのデザインを選んでいる場合は、手順5、6の操作を繰り返します。

6 写真の範囲、向き、位置を調整し(101ページ)、【決定】をタッチします。

俳句(五・七・五)を入力する画面が表示されます。



7 「五」の行、「七」の行、「五」の行の順に入力します(147ページ)。

次の行を入力するときは、次の行の項目をタッチしてください。

- 書体(フォント)、文字色の設定(139ページ)を指定することができます。
- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。

8 俳句の入力が終わったら【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

9 【はい】をタッチします。

完成画面が表示されます。

- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。
- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。



次の操作もできます。

- 【俳句】で、文字を入力し直したり、フォントや文字色を変更できます。
- 【写真】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます。また、写真の範囲、向き、位置を調整したり、他の写真に写真を差し替えられます(125ページ)。

10 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

写真の上に文字を入れて作る(応用作成)

写真の上に文字を入れて、写真俳句を作ることができます。俳句は5つまで追加することができます。

1 「写真俳句を作る」の手順1から5までの操作をします(137ページ)。

「写真俳句を作る」の手順4で、**応用作成**のマークが付いているレイアウトをタッチしてください。

2 写真の範囲、向き、位置を調整し(101ページ)、【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。

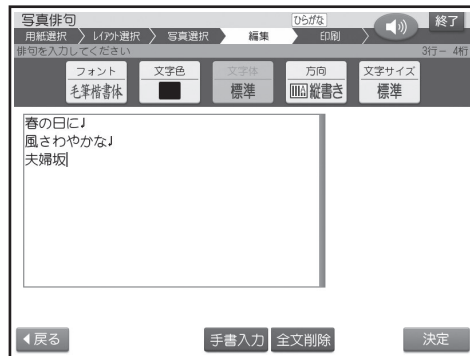


3 【俳句】をタッチします。

俳句の入力画面が表示されます。

4 俳句を入力します(147ページ)。

- 書体(フォント)、文字色、方向、文字色の設定(139ページ)を指定することができます。
- 文字の書体、色、形の変更については161ページをご覧ください。



5 【決定】をタッチします。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

6 【はい】をタッチします。

俳句編集画面が表示されます。

7 俳句の位置などを調整し、【決定】をタッチします。

- 俳句の枠の中を、ドラッグ(20ページ)して移動できます。
- 【俳句編集】で、文字を入力し直したり、フォントや文字色を変更できます。
- 【削除】で、俳句を削除できます。

完成画面が表示されます。

追加した俳句をタッチしても、位置の調整や編集をすることができます。

- 【中止】をタッチしてレイアウトの選択からやり直すことができます。
- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

8 印刷します(142ページ)。

- 作ったデータを登録することができます(108ページ)。

次の操作もできます。

- 【俳句】で、俳句を追加できます。手順4からの操作を繰り返してください。
- 【写真】で、写真の色や濃さを調整したり、絵画変換のしかたを変更できます。また、写真の範囲、向き、位置を調整したり、他の写真に写真を差し替えられます(125ページ)。

■ 写真俳句の文字設定の項目

項目	内容	設定
フォント	印刷するフォント(書体)を設定します。	ゴシック体、丸ゴシック体、明朝体、毛筆流麗体、毛筆楷書体
文字色	パレットで文字の色を設定します。それぞれの色の■をタッチしてください。	32色から選択(黒、赤、緑、青、白など)
方向 (応用作成のみ)	俳句を縦書きにするか、横書きにするか設定します。	縦書き 横書き
文字サイズ (応用作成のみ)	文字サイズを指定します。文字サイズによって、入力できる行数と文字数が違います。	<ul style="list-style-type: none"> • L判 標準 : 16行×20文字 やや大 : 12行×14文字 大 : 8行× 9文字 • はがき 標準 : 18行×22文字 やや大 : 14行×16文字 大 : 9行×10文字 • 2L判 標準 : 23行×29文字 やや大 : 17行×21文字 大 : 11行×13文字

- 文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」を参照してください(177ページ)。輪郭をつけないようにした場合は、白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。

写真をシールに印刷する (シールプリント)

写真にフレーム(飾り枠)をつけて、シールとして印刷できます。

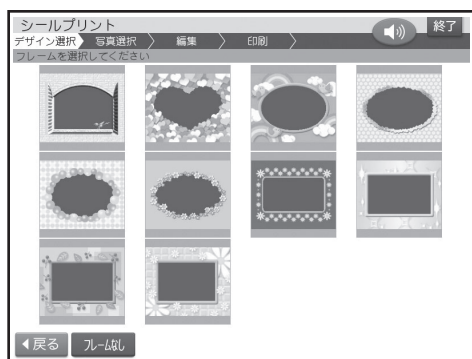
重要

- 印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。
- 別売品の「16面分割光沢フォトシール用紙:PO-165」を必ずご使用ください(203ページ)。

1 メモリーカードから呼び出す場合は、写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【シールプリント】の順にタッチします。

フレームの種類を選ぶ画面が表示されます。



- 10種類のフレームが選べます。

3 使いたいフレームをタッチします。

- フレームを入れたくない場合は **フレームなし** をタッチしてください。

メモリーカードに登録されている写真の一覧(サムネイル)が表示されます。

- 本体に登録されている写真を使う場合は【本体メモリー】のタブをタッチしてください。
- 【表示切替】をタッチして、メモリーカードに登録されている写真を年月ごとに表示させることができます。年表示の横の【◀▶】をタッチして年を指定し、写真を見たい月のタブをタッチしてください。
- **Q** をタッチすると、写真を拡大表示することができます(101ページ)。

4 印刷したい写真をタッチします。



5 写真の範囲、向き、位置を調整します(101ページ)。

調整する必要がなければそのまま手順6に進みます。

重要

シールのフレームと写真は、シール内に余白が入るのを防ぐために切り取り線よりもひと回り大きく印刷されます。写真の一部を切り抜いてシールを作る場合は、やや大きめに切り抜くと、きれいに配置できます。

6 【決定】をタッチします。

完成画面が表示されます。



次の操作もできます。

- 【フレーム】で、フレームを変更できます。
- 【写真】で、写真の色を変更できます。
- 【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。

7 印刷します(142ページ)。

印刷する

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 完成画面で【印刷】をタッチします。

印刷設定画面が表示されます(用紙セットの画面が表示された場合は、【印刷設定】をタッチしてください)。

- 【印刷】をタッチする前に【印刷確認】をタッチすると、印刷確認画面が表示されます(19ページ)。



2 紙質、印字タイプ、印刷部数の設定(143ページ)を指定した後、【次へ】(または【決定】)をタッチします。

重要

シールプリントの場合、印字タイプのみ指定することができます。

用紙セットの画面が表示されます。それぞれの機能に設定された用紙サイズ、印刷枚数が表示されます。

3 印刷面を表にして用紙をセット(29ページ)し、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

重要

シールプリントを印刷する際は、下記のことにご注意してください。

- 用紙は1枚だけセットしてください。複数枚セットすると、正常に印刷されないことがあります。
- シールを一部分はがしたシール紙を再度使用しないでください。正しく印刷できません。

4 【印刷開始】をタッチします。

印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面(写真プリントはトップメニュー画面、インデックスプリント、DPOFプリントは写真アレンジメニュー画面)に戻ります。

重要

- 印刷を中止するときは、【中止】をタッチしてください。
- 画面に表示される色と、実際に印刷される色では、色合いが多少異なります。

5 印刷が終わったら、排紙トレイを「カチッ」と音がするまで戻してください。

■ 写真印刷機能の印刷設定画面の項目

項目	内容	対象	設定
部数	印刷する枚数を設定します (数字キーで入力または【+】【-】 をタッチして設定)。 ・DPOFプリントはデジタルカ メラの設定に従います。	写真プリント 写真入り日記 写真カレンダー コメントプリント 写真俳句 絵画変換	1～99枚
		インデックスプリント シールプリント	1枚(画面に表示なし)
紙質	印刷する紙の種類を設定します。	写真プリント 写真入り日記 写真カレンダー コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 DPOFプリント 絵画変換	フォト光沢紙(写真印刷用) インクジェット紙(インクジェッ ト用) 普通紙(上記以外)
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品 質)を設定します。	共通	高精細(印刷時間:長い/仕上が り:きれい) 普通(通常の仕上がり) 高速(印刷時間:短い/仕上がり: 粗い)
フチ	写真のフチあり/なしを設定し ます。 ・「フチなし」で印刷すると、写真 の一部が切れることがあります。 すべての範囲を印刷したい場合 は、「フチあり」に設定してくだ さい。	写真プリント DPOFプリント	なし あり
日付	撮影の日付のあり/なし、日付の 色を設定します。 ・データ自体に日付に関する情報 がない場合は、日付を印刷する ことはできません。 ・DPOFプリントの日付のあり/ なしは、デジタルカメラの設定に 従います。 ・日付を入れる場合は、それぞ れの色の■をタッチしてくださ い。 ・【他の色】をタッチすると、全 32色から色を選ぶパレットが 表示されます。 パレットで設定したい色の■を タッチしてください。「日付あ り」に現在設定されている色 が表示されます。	写真プリント DPOFプリント	日付なし、日付あり、黒、赤、青、 白、他の色

項目	内容	対象	設定
写真の色	写真の色を設定します。	写真プリント 写真入り日記 写真カレンダー コメントプリント 写真俳句 シールプリント 絵画変換	カラー、白黒、セピア
薄印刷	写真を薄く印刷します。写真の上に文字を入れたい場合などに便利です。	写真入り日記 写真カレンダー コメントプリント 写真俳句 絵画変換	しない する
絵画変換	写真を水彩画、油彩画などのように変換することができます。	写真入り日記 写真カレンダー コメントプリント 写真俳句 絵画変換	絵画変換しない、水彩、油彩、色鉛筆、パステル、淡彩点描、ししゅう、シルクスクリーン、ガッシュ
写真番号	写真番号をつけるか、つけないかを設定します。	インデックスプリント	つける つけない

重要

写真プリントで印刷できる写真の容量は20M byte以下、写真入り日記、写真カレンダー、コメントプリント、写真俳句、シールプリント、DPOFプリント、絵画変換で印刷できる写真の容量は10M byte以下です。

上記を超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を20M byte以下または10M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。また、容量が20M byte以下の写真の場合、本体に写真データを登録する(107ページ)ことで使用できるようになります。

便利な機能

写真のデータを使った便利な機能について説明します。

デジタルカメラの設定で印刷する(DPOFプリント)

DPOF(Digital Print Order Format)対応のデジタルカメラなどでは、カメラ側で印刷する写真や印刷する枚数が指定できます。

■ 扱える写真のデータ

本機のDPOF機能で印刷できる写真は、DPOF対応デジタルカメラなどで撮影した写真のうち、次の条件を満たすものです。

- 静止画(DCF Exif2.1、JPEG準拠)
- 対応ファイルサイズ 10M byte以下
- 最小画素数 160 × 120ピクセル



■ DPOF 機能で有効な設定

デジタルカメラや携帯電話などで設定した次の内容が有効となります。

- 通常印刷(用紙に写真を一枚印刷)する写真の指定
- 印刷枚数
- 日付印刷の設定(本機側から文字色の指定ができます)

重要

デジタルカメラ側の設定方法や、設定できる機能は、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

- DPOF 機能の設定でコメントプリントやシールプリントすることはできません。
- 写真のトリミング・回転などをデジタルカメラや携帯電話などで設定していても、DPOF プリント時は無効になります。
- 印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。

印刷の操作

重要

印刷の前に必ず「印刷するときの注意事項」をお読みください(8ページ)。

1 デジタルカメラのDPOF機能で印刷する画像を指定しておきます。

2 写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

3 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【DPOFプリント】の順にタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。



- DPOFプリントの場合、用紙サイズは「L判」に設定されています。用紙サイズを変更するときは【用紙変更】をタッチして用紙を選択してください。
- 紙質は「フォト光沢紙」、印字タイプは「普通」、フチは「なし」、日付は「赤」に設定されています。変更するときは【印刷設定】をタッチして設定を変更してください(143ページ)。

- 「フチなし」にすると、印刷のときに写真の一部が切れることがあります。

変更する必要がなければ、そのまま手順**4**に進みます。

4 印刷します(142ページ手順3以降)。

写真を画面に順番に表示する(スライドショー)

メモリーカードの中の写真を画面に順番に表示することができます。

1 写真が保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。

2 トップメニュー画面(21ページ)から【写真アレンジ】→【スライドショー】の順にタッチします。

スライドショーメニュー画面が表示されます。

3 【スライドショーの開始】をタッチします。

スライドショーが開始されます。

画面をタッチすると、スライドショーを終了してスライドショーメニューに戻ります。

重要

メモリーカードにアクセス中(写真の表示が切り替わった後の数秒間)は、ランプが点滅します。このとき、キー入力はできません。

- スライドショーを自分で開始すると、オートパワーオフは働きません(約1時間キー操作をしなくても、電源は切れません)。
- デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
- 写真が何らかの理由で表示できない場合は、その写真を表示しないで、次の写真に進みます。
- 動画は表示されません。

スライドショーの設定をする

スライドショーの設定で、表示方法や写真の切り替え効果(エフェクト)、表示間隔を設定することができます。

1 スライドショーメニュー画面で【スライドショーの設定】をタッチします。

2 設定したい内容をタッチし、【決定】をタッチします。

表示間隔は【+】または【-】をタッチして指定します。

■スライドショーの設定の項目

項目	内容	設定
表示方法	写真の表示方法を設定します。 「自動切替」では、切り替え表示間隔の経過後、自動的に次の写真を表示します。 「手動切替」では、【決定】をタッチすると、次の写真を表示します。	自動切替 手動切替
切替効果	写真と写真の切り替わり時の効果(エフェクト)を設定します。	ボックス 効果なし
表示間隔	写真と写真の切り替え表示間隔を、1秒単位で設定します。 写真によっては、表示間隔が設定秒数以上あくことがあります。	5～30秒

第5章 文字の入力／修正

文字入力の前に知っておいていただきたいこと

文字はキーボードで入力、または表示画面に手書きで入力することができます。ここでは、文字の入れかたの要点を簡単に紹介します。詳しい操作を知りたいときは、それぞれのページを参照してください。また、文字を入力する方法は「かな入力」と「ローマ字入力」(170ページ)、「手書き入力」(157ページ)の3種類あります。

文字を入れることができる画面は

例) 宛名作成画面(38ページ)



手書き入力できる画面(157ページ)

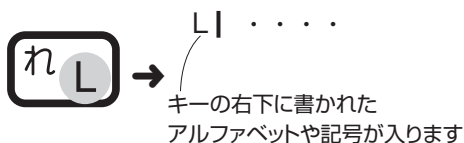
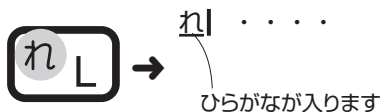


文字の入力
修正

文字キーの使いかた

1つのキーには2つの文字が書かれています。

または を押して、どの文字を入れるのかを選びます。



キーボードで文字を入力する

ひらがな、カタカナ、アルファベットなどの入力について説明します。

ひらがな・カタカナを入れる

- **長音** (ー) と **ハイフン** (ー) を間違えないように、注意してください。

ひらがなを入れる

例) さくら

- 1 **ひらがな** を何回か押して、画面上側に「ひらがな」を表示させます。



- 2 **ローマ字入力** (170 ページ) のときは、**ローマ字** と **カタカナ** と押します。

ローマ字入力 (170 ページ) のときは、**ローマ字** と **カタカナ** と押します。

さくら

- 3 **決定** を押します。

さくら

- **無変換** を押して、ひらがなで入力した文字をそのまま確定することもできます。
- 入力した文字を消したり直したいときは、156 ページをご覧ください。

■「ば」や「ゃ」などを入れる

キーの上に印刷されていない文字を入力するときは、下の表を見て入力してください。

文字の例	呼び名	かな入力するとき	ローマ字入力するとき
は	清音	かな	H A
ば	濁音	かな O	B A
ぱ	半濁音	かな P	P A
ゃ	拗音	ソフトかな Y	X Y A
っ	促音	ソフトかな D	X T U
。	句点	ソフトかな .	.
、	読点	ソフトかな ^	^

- 本機の前面上部には「かな入力」の場合の入力例が印刷されており、キーボードを開いた状態のとき、この表の入力方法が確認できます。
- ローマ字入力するときの文字の入れかたは、「ローマ字入力対応表」を参照してください (195 ページ)。
- 小文字や「々」「ゞ」、「ゐ」「糸」「ヴ」などの旧仮名遣いの文字などは、「記号」の「入れにくい文字」で入れることができます (155 ページ)。

画面上に同じ文字がいくつも表示されたときは


キーを長く押し続けていると、その文字が連続して表示されます。そのときは **取消** を押すと、文字が画面から消えます。

キーは、ポンッと軽くたたくように、押してください。

- **取消** を押して消すことができるのは、文字が青色で表示されているときだけです。文字を確定した後は、消したい文字の前にカーソルを合わせて **削除** を押します。







カタカナを入れる

例) サクラ


- 1  を何回か押して、画面上側に「カタカナ」を表示させます。



- 2    と押します。

ローマ字入力のはきは、    
 と押します。
カタカナはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

サクラ

- カタカナは、「読み」をひらがなで入力した後、 を押して入力することもできます(カタカナ変換)。

例) : さくら |  → サクラ

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「読み」をひらがなで入れます(例:「はな」→「花」)。

ひらがなから漢字に変えることを「変換」といいます。

- カタカナ語の「よみ」から英語に変換できる語句もあります。

例) :「れぽーと」  「report」

変換には次の2つの方法があります。

- 入力した文字から予測された変換候補を選ぶ(予測変換)
- 文章を入力してから変換する(かな漢字変換)

この他、漢字辞書を使って漢字を検索し、1文字ずつ入力することもできます(152～154ページ)。

入力した文字から予測された変換候補を選ぶ(予測変換)

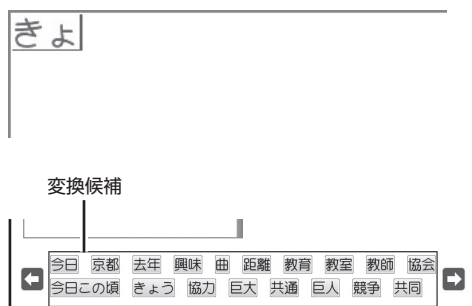
入力した文字から予測された言葉が、変換候補として表示されます。その候補を選ぶことで漢字などを効率的に入力できます。



- 入力した文字から予測できる言葉がないときは変換候補が表示されません。

例) 京都旅行

- 1 「きょ」とひらがなで入れます。

画面の下に「きょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



- 予測変換の候補が多数あるときは、  をタッチして、ページを切り替えることができます。

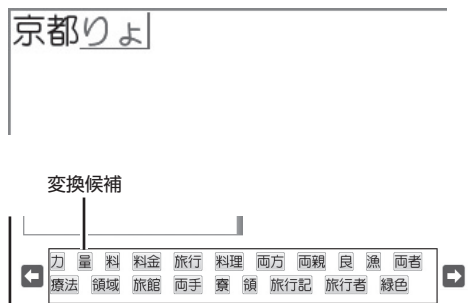
- 2 「京都」をタッチします。

「京都」が確定されます。

京都

- 3 「りょ」とひらがなで入れます。

画面の下に「りょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



4 「旅行」をタッチします。

「旅行」が確定されます。

京都旅行

- 予測変換の候補が表示されている状態で **変換** を押すと、予測変換の候補は消えて、入力したひらがなが漢字などの語句に変換されます(このページ)。

文章を入力してから変換する (かな漢字変換)

文章を入力して **変換** を何回か押し、変換候補から選ぶか、使いたい漢字が表示されたら **決定** を押して確定する方法です。

例) 今日行きます

1 「きょういきます」とひらがなで入れます。

きょういきます

- 長い文章を入力すると正しく変換できないことがあります。

2 **変換** を押します。

- 「きょういき」と「ます」という2つの言葉(文節)と認識したため、「境域」と変換されます。(「境域」が反転します)
- 反転している文節が変換の対象となります。**認識** を押したまま **◀** や **▶** を押して、変換の対象を前後に移動することもできます。

境域ます

- もう一度 **変換** を押すと、画面の下側に「変換候補」が表示されます。
- **▼** を押すと変換の対象を確定することができます。1つ目の文節が目的の漢字に正しく変換されているときは、**▼** を押すと、漢字が確定されて、次の文節が反転します。
- **決定** を押すと入力したすべての文章が確定します。

3 **◀** を2回押し、**変換** を押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切ります。

- **◀** や **▶** を押して区切る場所を変えることができます。

「きょう」が「今日」に変換されました。

今日いきます

重要

◀ はキーボードで入力します。

4 **▼** を押します。

「今日」が確定されます。

- 「いきます」という言葉が残ったと認識します。

今日いきます

5 **変換** を押して、「行きます」にします。

- **変換** を押すごとに、「いきます」の候補(同音異義語)が次々に表示されます。

今日行きます

6 「行きます」になったら、**決定** を押します。

「行きます」が確定されます。

今日行きます

ひらがなを漢字にするルール

「よみ」を入れる

こうえん



変換

漢字に変える

公園



決定

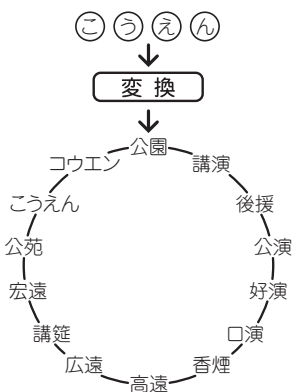
確定する

公園

■ 変換中の操作について

操作	内容
変換	次の候補を表示
▲	前の候補を表示
◀または▶	区切る場所(変換する「よみ」の長さ)を変更
ソフトかな小 ▶または◀ ソフトかな小	変換することができる部分(注目文節)を移動
▼	変換することができる部分(注目文節)までを確定
決定	すべて確定
続けて文字入力	すべて確定されてから文字入力
取消し	「よみ」の状態に戻る

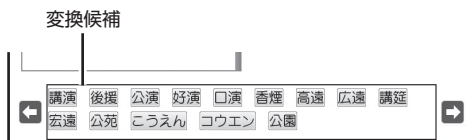
確定する前に、さらに「変換」を押すと、「こうえん」に当てはまる他の候補(同音異義語)が表示されます。「▲」を押すと、前に表示されていた候補が表示されます。



変換候補について

「こうえん」と入力して「変換」を押すと、「こうえん」の候補を表示し、もう一度「変換」を押すと、画面の下側に「講演」「後援」「公演」などの変換候補が表示されます。

使いたい言葉をタッチすると、その言葉が入力されます。候補が多いときは、◀ ▶ をタッチして前後の候補を表示させることができます。



変換中に文字を間違えたら

甲斐



取消し

かい

変換前の「よみ」の状態に戻る
文字を訂正することができます。



取消し

|

入力した「よみ」が消える
はじめから、入力し直すことができます。

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- 「囟(ず)」を「づ」と入力している

変換候補に長い文章が表示されるのはなぜ？

(文例変換)

本機には、手紙を書くときの挨拶文などの文章(文例)が、変換候補として収録されています。このため、入力した「読み」によっては、次のような変換候補が表示されることがあります。

例 次の「よみ」を入力して、**変換** を数回押します

ねんがじょう → 明けましておめでとうございます
しゅくじ → 心よりお慶び申し上げます
ごがつ → 新緑の候

年賀状や挨拶状などを作成するときに活用してください。

- 文例変換の候補が表示される「読み」は次の通りです。

ありがとう、あんない、いらい、おいわい、おくやみ、おくりもの、おさそい、おしらせ、おせいぼ、おちゅうげん、おねがい、おれい、おみまい、おめでとう、かんしゃ、きよひ、ことわり、けっこんいわい、ごあんない、さいそく、さそい、しゅくし、しゅくじ、しょうたい、せいきゅう、せいぼ、ぞうとう、ちゅうげん、ちょうし、ちょうじ、つうち、ほうこく、みまい、れんらく、いちがつ、にがつ、さんがつ、しがつ、ごがつ、ろくがつ、しちがつ、はちがつ、くがつ、じゅうがつ、じゅういちがつ、じゅうにがつ、おしょうがつ、ざんしよみまい、しょうがつ、しょちゅうみまい、しんねん、かきだし、きりだし、まつぶん、むすび、ねんがじょう、ねんが

- 文例変換の機能を使わないように設定することもできます(170ページ)。

学習機能について

変換する候補には、変換したことのある語句が優先的に表示されます。これは本機が以前使った語句を覚えているためです。これを学習機能と呼びます。

- 学習した内容をリセットすることもできます(170ページ)。

目的の漢字に変換されないときは

漢字辞書を使う

本機の漢字辞書機能を使って、次の4つの方法で漢字を呼び出すことができます。

- 「読み検索」 : 読みから呼び出す。
- 「総画数検索」 : 総画数から呼び出す。
- 「部首検索」 : 部首から呼び出す。
- 「区点コード検索」 : 漢字の一覧表から入力したい文字を見つける(JIS区点コード)。

漢字辞書機能は文字が入力できる画面および文面、宛名(「読み」および「郵便番号」入力時を除く)の各入力画面で使うことができます。ただし、文字が未確定のときや、漢字に変換している途中では漢字辞書は使えません。

■ 読みから呼び出す

例 「拳」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、

 を押します。

2 【読み検索】をタッチします。

「読み」を入力する画面が表示されます。

3 「あげる」と入れて、【検索】をタッチします。

「あげる」と読む漢字の一覧が表示されます。



- 当てはまる漢字が多数あるときは、**【◀▶】** をタッチして、ページを切り替えることができます。
- 「読み」は最大7文字まで入力できます。


4 【拳】をタッチします。

「拳」という漢字についての詳細が表示されます。

- 5 **【決定】をタッチします。**
「拳」という漢字が入ります。

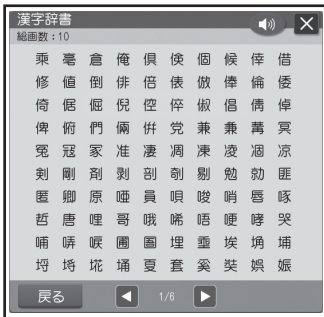
■ **総画数から呼び出す**

例 「拳」という漢字を呼び出す

- 1 入力したい位置にカーソルを合わせて、
 を押します。

- 2 **【総画数検索】をタッチします。**
漢字の総画数を入力する画面が表示されます。

- 3 ①②と入れて、**【検索】をタッチします。**
10画の漢字の一覧が表示されます。




- **【+】【-】**をタッチして画数を指定することもできます。
- 当てはまる漢字が多数あるときは、**【◀】【▶】**をタッチして、ページを切り替えることができます。

- 4 **【拳】をタッチします。**
「拳」という漢字についての詳細が表示されます。

- 5 **【決定】をタッチします。**
「拳」という漢字が入ります。

■ **部首から呼び出す**

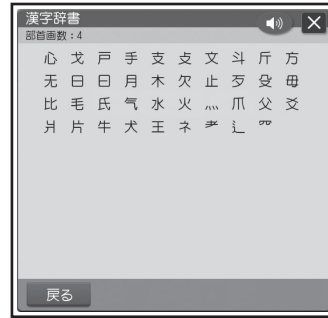
例 「拳」という漢字を呼び出す

- 1 入力したい位置にカーソルを合わせて、
 を押します。

- 2 **【部首検索】をタッチします。**
「部首画数」を入力する画面が表示されます。

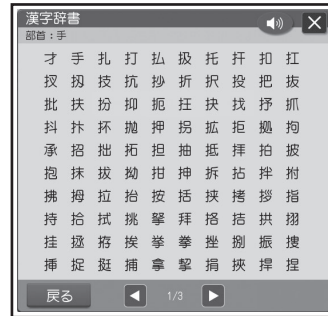
- 3 **【拳】の部首の「手」は4画なので④と押し、【検索】をタッチします。**

4画の部首の一覧が表示されます。



- **【+】【-】**をタッチして部首の画数を指定することもできます。

- 4 **【手】をタッチします。**
部首が「手」の漢字の一覧が表示されます。



- 当てはまる漢字が多数あるときは、**【◀】【▶】**をタッチして、ページを切り替えることができます。

- 5 **【拳】をタッチします。**
「拳」という漢字についての詳細が表示されます。


- 6 **【決定】をタッチします。**
「拳」という漢字が入ります。

- 部首がわかりにくい漢字については本来の部首以外でも呼び出せるものがあります。
(例:「岩」は「山」でも「石」でも呼び出せます。)

■ 漢字の一覧表から入力したい文字を見つける(JIS区点コード)

ワープロやパソコンなどのコンピューター機器は、漢字を番号で管理しています。番号は「区」と「点」に分かれていて、漢字1つに対して4つの数字が割り当てられています。コード番号はJIS規格で定められており、これをJIS区点コードといいます。

例 「拳」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、を押します。

2 【区点コード検索】をタッチします。



3 「拳」の区点コードは「2183」なので②①⑧③と押し、【検索】をタッチします。

「拳」という漢字についての詳細が表示されます。

- 【+】【-】をタッチして区点コードを指定することもできます。
- 区点コードと漢字の対応については196ページの「内蔵漢字一覧」をご覧ください。

4 【決定】をタッチします。

「拳」という漢字が入ります。

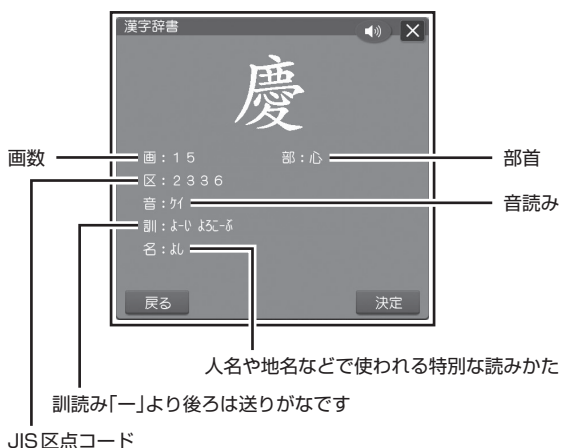
漢字辞書での検索や文字の表示などについて

- 「読み」で呼び出すときは「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読みかた」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- JIS外の漢字の区点コードは「- - - -」と表示されます。
- JIS規格には収録されていても、多くの辞書で読みも意味も不明として取り扱われている漢字は「音義未詳」と表示されます。

- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能は、働きません(152ページ)。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや色などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの(米:メートル、弗:ドルなど)は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

漢字辞書詳細表示について

呼び出した漢字については、次のような詳細な情報が表示されます。




JIS区点コード

アルファベットを入れる

- かな入力・ローマ字入力どちらでも同じ操作で入力できます。

例 AKI

1 を何回か押して、画面上側に「英大文字」または「英小文字」を表示させます。

英大文字:大文字を入力するとき
英小文字:小文字を入力するとき





2 と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

A K I |

大文字と小文字の入力を切り替えるには

画面上側に「英大文字」が表示されているときに  を押すと、小文字が入力できます。

画面上側に「英小文字」と表示されているときに  を押すと、大文字が入力できます。

, (カンマ) . (ピリオド) を入れるには

画面右上が「英大文字」または「英小文字」となっているときに、次のキーを押します。

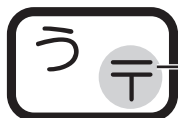
カンマ:  ピリオド: 

記号や入力しにくい文字(ゑ、ヴなど)を入れる

キーに印刷されている記号を入れる

普通の文字の他に、キーに印刷されているいろいろな記号を入れることができます。

例



キーに印刷されている記号

1 を押して、画面上側に「英大文字」または「英小文字」を表示させます。

- ローマ字入力になっているときは、この操作は行う必要はありません。



2 を押します。

〒 |

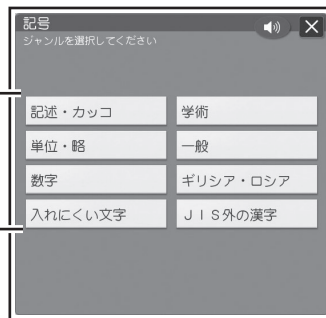
キーに印刷されていない記号や入力しにくい文字(ゑ、ヴなど)を入れる

記号は、8つのグループに分かれています。「記号一覧」を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているかを確認してください(193ページ)。



例 ★(グループ:一般)

1 を押します。



記号のグループ名

2 【一般】をタッチします。



「記号」を選択する画面が表示されます。

3 【★】をタッチします。

★ |

文字の修正／削除のしかた

間違えた文字を訂正する

訂正する内容	操作方法
最後の文字を消す (入力途中の文字の訂正)	<p>例) : 「れんらくさきを」の「を」を消して「れんらくさき」にする</p> 
途中の文字を消す	<p>例) : 「ひっつこし」の「つ」を消して「ひっこし」にする</p> <p>①消したい文字の前にカーソルを合わせて、「削除」を押す</p>  <p>続けて文字を入れるときは、文章の終わりまでカーソルを移動させます。</p>
間違えた文字を直す	<p>例) : 「ゆきこ」を「ゆうこ」に直す</p> <p>①直したい文字の前にカーソルを合わせて、「削除」を押す</p>  <p>②正しい文字を入れ、「決定」を押す</p> 
抜けた文字を追加する	<p>例) : 「あた」を「あきた」にする</p> <p>①追加したい文字の前にカーソルを合わせて、文字を入力し、「決定」を押す</p> 

入れた文字を全部消す(全文削除)

- 1 画面に【全文削除】が表示されていることを確認します。
- 2 【全文削除】をタッチします。
削除を確認する画面が表示されます。
- 3 【はい】をタッチします。
 - 操作を中止するときは、【いいえ】をタッチしてください。

手書きで文字を入力する

表示画面(タッチパネル)(14ページ)に手書きで文字を入力することができます。キーボードからは入力できない漢字も直接入力できます。

重要

付属のタッチペンを使用して入力してください。

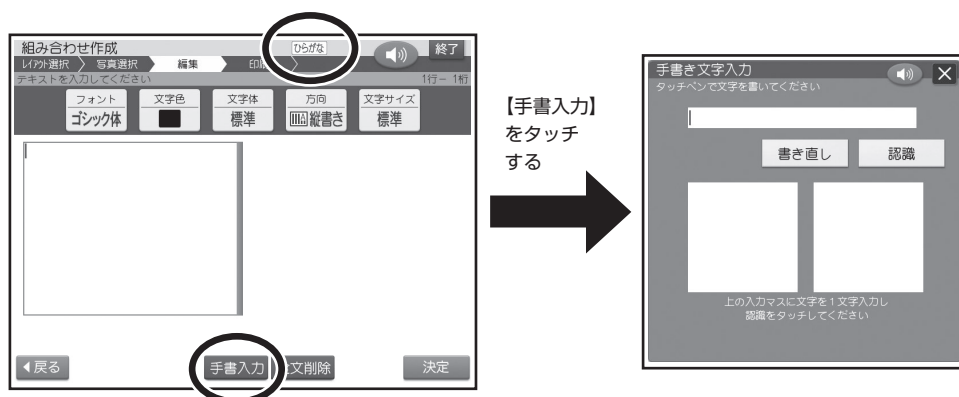
■手書きで入力できる文字の種類

- ひらがな、カタカナ
- 漢字
- アルファベット(A～Z、a～z)
- 数字(0～9)
- 長音
- 記号の一部(、。、. . . ? ! / \ ~ ' () - ¥ % & @ I II III IV V VI VII VIII IX X)

■手書きで入力するには

文字入力画面で【手書入力】をタッチします。

- 文字入力画面の入力モードにより、認識できる文字の種類が異なります。



文字の入力
修正

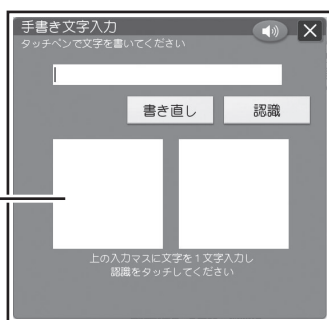
表示(入力モード)	認識対象						
	ひらがな	カタカナ	漢字	アルファベット	数字	長音	記号の一部
ひらがな	●	●	●	—	●	●	●
カタカナ	—	●	—	—	●	●	●
英小文字	—	—	—	●	●	—	●
英大文字	—	—	—	●	●	—	●

- 入力モードを切り替えたい場合は、148、149、154ページを参照してください。
- 入力項目によっては認識対象が限られている場合があります。
- JIS外の漢字は認識対象に入りません。記号から入力してください(194ページ)。

手書き入力のしかた

1 【手書入力】をタッチします。

手書きで文字を入力する画面が表示されます。

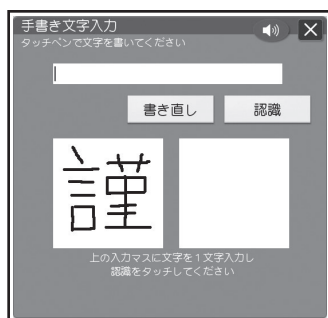


マス

- 2つのマスに文字を書くことができます。

2 空いているマスに文字を書きます。

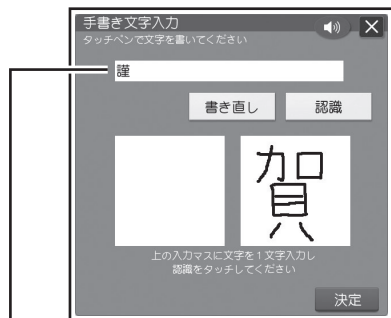
マスの順番は決まっていません。どのマスに書いても書いた順に文字を認識します



- 【書き直し】をタッチすると書いた文字が消えます。

3 続けて、空いている別のマスに文字を書きます。

文字を書き始めると最初に書いた文字が認識され、未確定文字欄に入力されます。



未確定文字欄

- 正しく認識されていない文字があるときは159ページをご覧ください。
- 未確定文字欄の文字を削除する場合は、 でカーソルを移動させ、 または を押ししてください。

4 さらに、空いている別のマスに文字を書きます。

2番目に書いた文字が認識、入力されます。

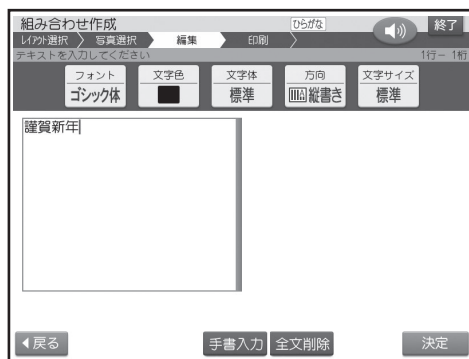
5 空いているマスに順番に文字を書く操作を続け、希望の言葉を入力し終わったら、【認識】をタッチします。

1文字1文字、正しく認識されたか確認しながら入力するときは、1文字書くごとに、【認識】をタッチします。

- 2桁の数字を入力するときは、マス内に1桁ずつ手書きしてください。
- 文字を書いてからしばらく操作をしないと、【認識】が一定時間、点滅します。【認識】をタッチしてください。
- 手書きで文字を書くと、何もしなくても約1秒後に自動的に認識されるようにすることもできます(177ページ)。

6 【決定】をタッチします。

文字入力画面に戻り、手書きで入力した文字が確定されます。



- 確定させないでまとめて入力できる文字数は、16文字までです。「文字数オーバー 文字を確定してください」と表示されたときは、一度確定させてからあらためて入力してください。

間違っ て認識された文字を訂正する

「あ」と書いたのに未確定文字欄には「お」と表示された、など、正しく認識されなかったときは、以下のように訂正します。

- 一度確定した文字は、以下の方法では訂正することができません。**削除**を押して、文字を消してから、正しく文字を入力してください。

例 「謹賀新年」と書いたのに「謹資新年」と間違っ て認識された

1 未確定文字欄の間違って認識された文字(ここでは「資」)をタッチします。

文字の候補(10文字まで)が表示されます。

- 正しい文字が見つからない場合は、【書き直し】をタッチします。間違っ て認識された文字が削除されるので、もう一度書き直してください。

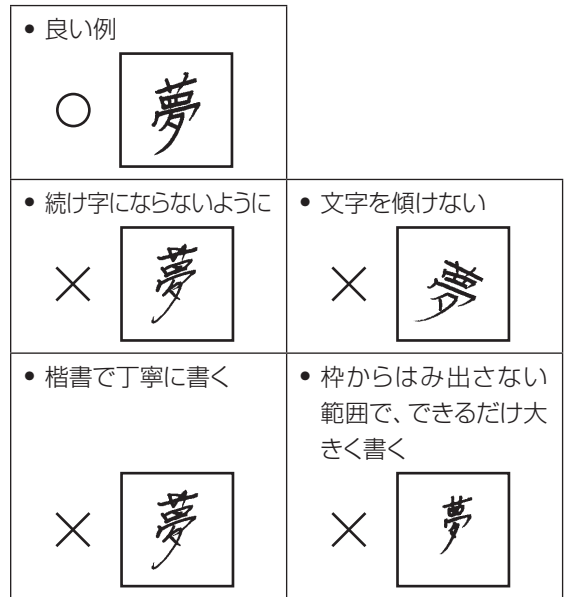


2 正しい文字(ここでは「賀」)をタッチします。 正しい文字が入力されます。

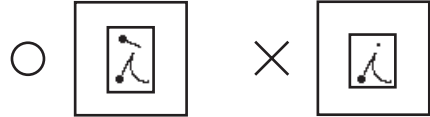
3 文字の訂正が終わったら、【決定】をタッチします。

手書き入力 のワンポイント

手書き入力 で認識されやすい文字を書くためのポイントは以下の通りです。

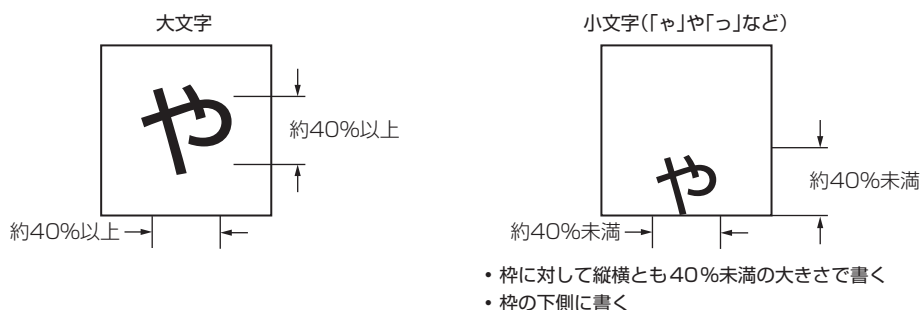


- 点を打つときは、少し長めに書く(短い場合は認識されません)



- 正しい書き順で書く
- 漢字は漢字で書く(かな漢字変換機能はありません)
- 手書き入力用のマス以外の場所に、ペンや手が触れていると、文字を書くことができません。ペン先だけが画面に触れるように文字を書いてください。

■ ひらがな・カタカナを書くときのポイント



■ よく似た文字の認識について

- タ(ゆう)=タ/工(こう)=エ/カ(ちから)=カ/口(くち)=口など、よく似た漢字とカタカナは、漢字の表示が優先されます。ただし、未確定文字欄上の1つ前の文字がカタカナのときは、カタカナ表示が優先されます。
- へ=へ/り=リなど、よく似たひらがなとカタカナは、ひらがなの表示が優先されます。ただし、未確定文字欄上の1つ前の文字がカタカナのときは、カタカナの表示が優先されます。

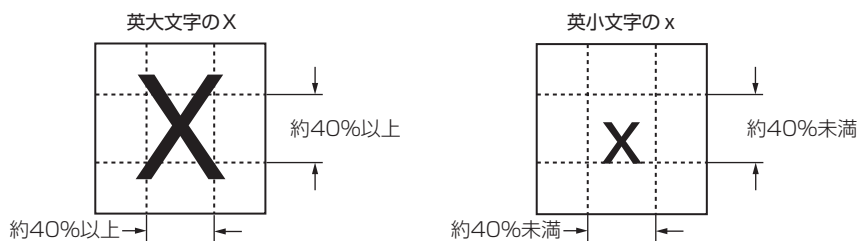
■ 英数字の書きかた

A	B	C	D	E	F	G	H	I
A A	B	C	D	E E	F	G G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
J	K K	L	M M	N N	O	P	Q	R R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	
S	T	U	V	W	X	Y	Z Z	

a	b	c	d	e	f	g	h	i
a a	b b	c	d d	e	f f	g g	h h h	i i
j	k	l	m	n	o	p	q	r
j j	k k k	l l	m m	n n	o	p p	q q	r r
s	t	u	v	w	x	y	z	
s	t t	u	v	w	x x	y y	z z	

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7 7	8	9

■ 大文字の「X」と小文字の「x」を書くときのポイント



便利な機能

文字の入力で行える機能(文字の書体の変更、外字の作成など)について説明します。

文字の書体・色・形などを変える

はがきの文面を作るとき、見出し(81ページ)とテキスト(83、92、98ページ)で、文字の書体、色、形を変更できます。

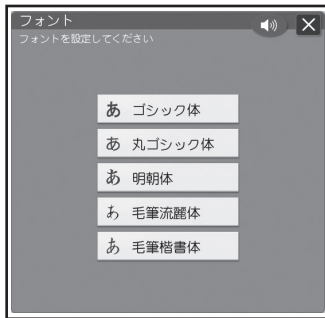
文字が入力できる画面では、次のようなアイコンが表示されます。
アイコンをタッチして、文字を編集できます。



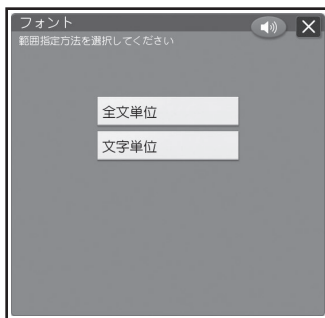
書体(フォント)	    
色(文字色)	32色から選択(黒、赤、緑、青、白など)
形(文字体)	    

- ここでは、書体(フォント)の変更方法の操作方法を説明しています。色(文字色)、形(文字体)も、手順1の操作で「文字色」「文字体」を選ぶ以外は同じ操作方法となります。「文字色」は、パレットでそれぞれの色の■をタッチしてください。

- 1 文字を入れてから、【フォント】をタッチします。



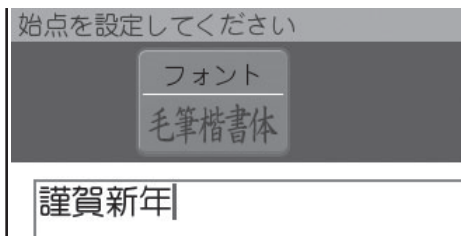
- 2 目的の書体をタッチします。



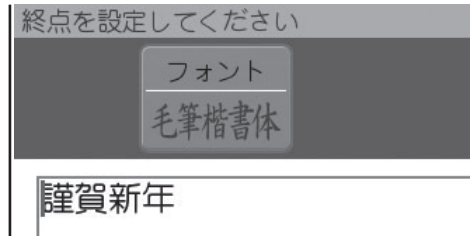
- 3 【全文単位】または【文字単位】をタッチします。

【全文単位】をタッチした場合は、文書全体の書体が変更されます。

【文字単位】をタッチした場合は、以下の画面が表示されます。



- 4 書体を変えたい最初の位置にカーソルを合わせて【決定】をタッチします。



- 5 書体を変えたい最後の位置にカーソルを合わせて【決定】をタッチします。



指定した内容が表示されます。

- 画面では文字に変化はありませんが、印刷すると指定した内容で印刷されます。

重要

毛筆流麗体は他のフォントに比べて文字が小さくデザインされています。文面のテキストに利用する場合はご注意ください。

また、毛筆流麗体は手書きのように文字によって大きさが若干まばらになっています。



■ 書体(フォント)についてのご注意

書体を指定した文字のすぐ後に文字を追加すると、追加した文字もその書体になります。

例) あいうえお

↑
丸ゴシック体を指定

↓

あいうえおかきくけこ

↑
追加した文字も丸ゴシック体になる

- 「外字」で作った文字に、書体を指定することはできません(164ページ)。

■ 文字の色(文字色)についてのご注意

文字色の「白」はコメントプリントで写真の上に文字を合成する場合にご利用ください。

文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭が付きま。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」を参照してください(177ページ)。

- 白い文字部分はインクによる印刷をしないことによって、その部分の紙の地色が見えるように印刷するもので、白いインクで印刷するものではありません。
- 輪郭をつけないようにした場合は、文面など白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。
- 表示上の文字色と実際に印刷される色味は若干異なる場合があります。

■ 文字の形(文字体)についてのご注意

- 文字体を指定した文字を標準の文字に戻すときは、手順 2 で【標準】をタッチします。
- 「テキスト」に文字体を指定すると、文字によってはきれいに印刷されないことがあります。はがきなどに印刷する前に、必ず試し印刷を行って、仕上がりを確認してください。
- 「毛筆流麗体」(161ページ)と「外字」(164ページ)で作った文字に、文字体を指定することはできません。

文字の方向を設定する

文字を縦書き/横書き、どちらのフォーマットで印刷するか設定することができます。

- 1 文字を入れてから、【方向】をタッチします。
方向の変更を確認する画面が表示されます。
 - 方向を変更することによって、文章中の改行位置が変わったり、文章の一部が消えることがあります。
- 2 【はい】をタッチします。
- 3 文字の方向をタッチします。
設定した方向で文字の入力画面に戻ります。

文字のサイズを設定する

文字のサイズを設定することができます。

- 1 文字を入れてから、【文字サイズ】をタッチします。
文字サイズの変更を確認する画面が表示されます。
 - 文字サイズを変更することによって、文章中の改行位置が変わったり、文章の一部が消えることがあります。
- 2 【はい】をタッチします。
- 3 文字サイズをタッチします。
設定した文字サイズで文字の入力画面に戻ります。

自分で文字を作る(外字)


▲や①などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(外字)。

外字は6つまで本機に登録(記憶)しておくことができます。

はじめから自分で作る(新規作成)

例 ①

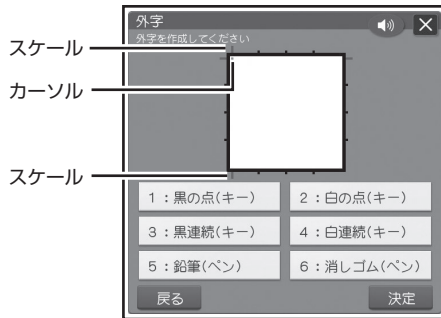
1 文字入力の画面にします。

2 文字が入力されていない状態で、と押します。



3 【作成】をタッチします。

外字作成画面が表示されます。



外字作成画面

カーソル…

赤色の■のことです。

スケール…

現在カーソルがどこにあるのかを示します。

カーソルの動きに合わせて動きます。

4 外字作成画面で外字を作ります。

カーソルを移動させる	を押す。
点を1つ塗りつぶす	カーソルを目的の位置まで移動し、【黒の点】をタッチする。
点を1つ消す	塗りつぶした点までカーソルを移動し、【白の点】をタッチする。
線を描く	【黒連続】をタッチしてから、カーソルを移動する。
線を消す	【白連続】をタッチしてから、カーソルを移動する。
タッチペンで線を描く	【鉛筆】をタッチしてから、タッチペンで画面をなぞる。
タッチペンで線を消す	【消しゴム】をタッチしてから、タッチペンで画面をなぞる。

- 【黒連続】、【白連続】では、斜め方向に連続してドットを塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1ドットずつ行ってください。

5 外字が完成したら、【決定】をタッチします。

6 作った外字を登録する場所をタッチします。
登録のメッセージが表示され元の画面に戻ります。

重要

- すでに外字が登録されている場所をタッチすると上書きの確認メッセージが表示されます。もう一度登録する場所をタッチします。
- 外字は、書体の変更(61、161ページ)はできません。
- メモリーカードにデータを保存したときは、外字は保存されません。外字を使用した宛名・文面・コメントプリントを呼び出したときは、外字の内容を確認することをおすすめします。外字の部分が空白になっている場合は、再度外字を入力してください。



本機にある文字を利用して外字を作る (参照作成)

例) 本機の文字「1」を利用して、「①」を作る

1 文字を入力できる画面で、「1」を入力します。

2 ◀ ▶ を押して、「1」の1つ前にカーソルを移動します。



3   と押します。

4 【作成】をタッチします。

5 【参照作成】をタッチします。

6 目的の書体をタッチします。



外字作成画面に「1」が入力されます。

7 「はじめから自分で作る(新規作成)」の手順4以降の操作をして、外字を作り、登録します(164ページ)。

- 外字は、書体の変更(61、161ページ)はできません。


外字を使う

1 文字が入力できる画面で外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2   と押します。

3 【呼出】をタッチします。

4 呼び出す外字をタッチします。

呼び出した外字が表示されます。呼び出した外字は「」のように表示されます。外字が入った入力内容を確認するときは「印刷確認」(19ページ)を使用してください。

呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します(156ページ)。

外字を修正する

1 文字が入力できる画面で   と押します。

2 【修正】をタッチします。

3 修正する外字をタッチします。

4 「はじめから自分で作る(新規作成)」の手順4以降の操作をして、外字を修正し、登録します(164ページ)。

外字を削除する

外字を文章の中に入れていたときに、その登録した外字を削除すると、文章の中の外字は空白で印刷されます。

1 文字が入力できる画面で   と押します。

2 【削除】をタッチします。

3 削除する外字をタッチします。

削除の確認メッセージが表示されます。

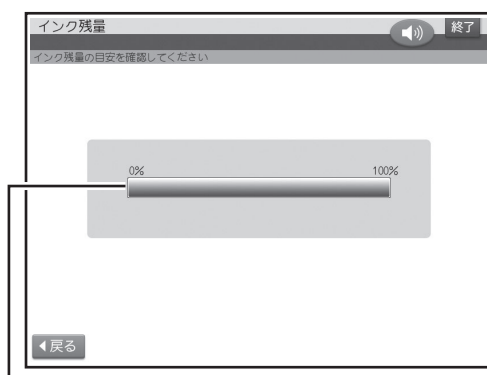
4 もう一度削除する外字をタッチします。

第6章 お役立ち情報

画面の明るさの調整やインクの残量の確認、データのバックアップのしかた、漢字変換に関する設定など、本機をより便利に使いこなしていただくための操作・設定について説明しています。また、本機をよい状態で長く使っていただくために、お手入れの方法や保管方法についても紹介しています。

インク残量を確認する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【インク残量】の順にタッチします。



インク残量がグラフで表示されます。

- 2 確認が終わったら、【戻る】をタッチします。

設定メニュー画面に戻ります。

- 他のプリン写ルやプリンターで一度使用したプリントカートリッジをセットした場合、インク残量は正しく表示することができません。
- インク残量の確認は、インクの使用量をカウント(計算)してインク残量を表示する機能です。プリントカートリッジによっては、実際のインク残量と、若干、差が出る場合があります。

インク残量アイコンについて

インクの残量は、インク残量アイコンで確認することもできます(17ページ)。

アイコンは最初、緑色で表示されます。インクが消耗し、残量が少なくなるとアイコンが赤くなります。



ユーザー辞書を登録する

ユーザー辞書に、よく使う語句や郵便番号と住所を登録することができます。

よく使う語句を辞書に登録する(語句)

日常よく使う専門用語などを「よみ」とともに登録しておく、通常の漢字変換の操作で、簡単に入力できるようになります。また、慣用句などを短い「よみ」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。

例) 秋葉原 →「よみ:あきば」で登録

■ 語句を登録する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。

2 【ユーザー辞書】をタッチします。



現在の登録件数が表示されます。

3 【語句】をタッチします。

- 語句が未登録の場合
登録の確認画面が表示されるので、【はい】をタッチしてください。手順5に進みます。
- 語句をすでに登録済みの場合
登録されている語句の一覧が表示されます。

4 【追加】をタッチします。

5 「語句」の項目をタッチし、登録したい単語を入力します。

ここでは、「秋葉原」と入力します。



6 「よみ」の項目をタッチし、よみを入力します。



- 「よみ」の項目を選ぶと、入力モードはひらがなになります。よみに入力できる文字は、ひらがなだけです。

7 語句とよみの入力が終わったら、【決定】をタッチします。

登録を確認する画面が表示されます。

8 【はい】をタッチします。

登録が終わり、語句の一覧に戻ります。追加した語句が一覧に表示されます。

- 語句は最大100件まで登録できます。
- すでに語句とよみともに同じデータが登録されているときは、メッセージが表示され、追加して登録することはできません。

■登録した語句を修正する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。
- 2 【ユーザー辞書】をタッチします。
- 3 【語句】をタッチします。
語句の一覧が表示されます。
- 4 【修正】をタッチします。
- 5 修正する語句をタッチします。
選んだ語句の入力画面が表示されます。
- 6 「語句」の項目をタッチして、語句を修正します。
- 7 「よみ」の項目をタッチして、よみを修正します。

重要

「よみ」の項目を選ぶと、入力モードはひらがなになります。よみに入力できる文字は、ひらがなだけです。

- 8 語句とよみの入力が終わったら、【決定】をタッチします。
修正を確認する画面が表示されます。
- 9 【はい】をタッチします。
修正が終わり、語句の一覧に戻ります。

■登録した語句を削除する

削除には、選んだ語句だけを削除するか、すべての語句を削除するかの2つの方法があります。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。
- 2 【ユーザー辞書】をタッチします。
- 3 【語句】をタッチします。
語句の一覧が表示されます。

- 4 【削除】をタッチします。

- 5 削除したい語句をタッチします。
選んだ語句の先頭にが表示されます。取り消すときは、もう一度語句をタッチします。
 - 【全て選択】をタッチすると、すべての語句の先頭にが表示されます。取り消すときは、【全て解除】をタッチします。

- 6 【決定】をタッチします。
削除を確認する画面が表示されます。

- 7 【はい】をタッチします。
登録されている語句があるときは、語句の一覧に戻ります。
登録されている語句がないときは、ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。

郵便番号と住所を辞書に登録する (郵便番号辞書)

郵便番号辞書に登録されている郵便番号や住所の変更が必要なときは、その郵便番号と住所をユーザー辞書に登録しておく、郵便番号を入力するだけで呼び出すことができます。

■郵便番号を辞書に登録する

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。
- 2 【ユーザー辞書】をタッチします。



現在の登録件数が表示されます。

3 【郵便番号辞書】をタッチします。

- 郵便番号が未登録の場合
登録の確認画面が表示されるので、【はい】をタッチしてください。手順5に進みます。
- 郵便番号をすでに登録済みの場合
登録されている郵便番号の一覧が表示されます。

4 【追加】をタッチします。

5 「〒」の項目をタッチし、登録したい郵便番号を入力します。

「-」（ハイフン）は省いて、7桁の数字のみ入力してください。

6 「住所」の項目をタッチし、登録したい住所を入力します。

7 郵便番号と住所の入力が終わったら、【決定】をタッチします。

登録を確認する画面が表示されます。

8 【はい】をタッチします。

登録が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。追加した郵便番号が一覧に表示されます。

- 郵便番号は最大30件まで登録できます。

■登録した郵便番号や住所を修正する

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。

2 【ユーザー辞書】をタッチします。

3 【郵便番号辞書】をタッチします。

郵便番号の一覧が表示されます。

4 【修正】をタッチします。

5 修正したい郵便番号をタッチします。

選んだ郵便番号の入力画面が表示されます。

6 「〒」の項目をタッチし、修正したい郵便番号を入力します。

7 「住所」の項目をタッチし、修正する住所を入力します。

8 郵便番号と住所の入力が終わったら、【決定】をタッチします。

修正を確認する画面が表示されます。

9 【はい】をタッチします。

修正が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。

■登録した郵便番号を削除する

削除には、選んだ郵便番号だけを削除するか、すべての郵便番号を削除するかの2つの方法があります。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。

2 【ユーザー辞書】をタッチします。

3 【郵便番号辞書】をタッチします。

郵便番号の一覧が表示されます。

4 【削除】をタッチします。

- 5 削除したい郵便番号をタッチします。
選んだ郵便番号の先頭に☑が表示されます。取り消すときは、もう一度郵便番号をタッチします。
- 【全て選択】をタッチすると、すべての郵便番号の先頭に☑が表示されます。取り消すときは、【全て解除】をタッチします。

- 6 【決定】をタッチします。
削除を確認する画面が表示されます。

- 7 【はい】をタッチします。
登録されている郵便番号があるときは、郵便番号の一覧に戻ります。
登録されている郵便番号がないときは、ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。

変換学習をリセットする

学習機能によって記憶されている変換の情報をリセットして、ご購入後の状態に戻します。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。
- 2 【変換学習のリセット】をタッチします。
変換学習のリセットを確認する画面が表示されます。
- 3 【はい】をタッチします。
「リセットしました」と表示され、トップメニュー画面に戻ります。

文例変換の設定を変更する

手紙を書くときの挨拶文などの文章(文例)を変換候補として表示する文例変換の機能(152ページ)を、使わないように設定できます。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【変換辞書】の順にタッチします。
- 2 【文例変換設定】をタッチします。

- 3 【使用しない】をタッチします。
トップメニュー画面に戻ります。

文字の入力方法(入力モード)を切り替える

文字入力には、ひらがなキーで入力する「かな入力」とアルファベットキーで入力する「ローマ字入力」があります。ここでは、入力モードを切り替える方法を説明します。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【文字の入力方法】の順にタッチします。
- 2 【かな入力】または【ローマ字入力】をタッチします。
トップメニュー画面に戻ります。

画面の明るさを調節する

画面表示の明るさ(コントラスト)を変えることができます。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【明るさ調整】の順にタッチします。



- 2 【暗く】または【明るく】をタッチして明るさを調整し、【決定】をタッチします。
青色の表示部分が多いほど、画面の表示が淡く(明るく)なります。
トップメニュー画面に戻ります。

ブザー音を鳴らさないようにする

操作中にエラーが発生するとブザー音が鳴ります。また、画面をタッチペンでタッチすると「ピッ」と音が鳴ります。ここではブザー音やタッチしたときの音を鳴らさないようにする方法を説明します。

- お買い上げ時の設定は「鳴らす」になっています。
- プリンターエラーのブザー音は、設定の内容に関係なく、常に鳴ります。
- 音声ガイドの音量調節でブザー音の音量調整をすることはできません。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【ブザー音】の順に選びます。

2 【鳴らさない】をタッチします。

トップメニュー画面に戻ります。

- ブザー音を鳴らすように戻りたいときは、【鳴らす】をタッチしてください。

時計を設定する

時計の日付と時刻を設定します。時計には、設定した日付と時刻に連動して毎年4月1日00時00分になった時点で、カンタン作成で表示されるはがきのデザインを切り替える役割があります。

例) 時計の年が2017年に設定されているとき

● 干支を使用しているデザイン

2017年
3月31日23時59分



酉年のデザイン



2017年
4月1日0時0分以降



戌年のデザイン

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【時計】の順にタッチします。

日付と時刻を設定する画面が表示されます。

2 【▲】【▼】をタッチして、年、月、日、時、分を指定し、【決定】をタッチします。

設定した内容で時計が設定され、トップメニュー画面に戻ります。

プリンターのメンテナンスをする

プリンターを調整する

「新しいプリントカートリッジを取り付けたとき」や「印刷結果の色がズれているとき」などに、印刷が正しくできるように調整します。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【プリンター保守】の順にタッチします。

2 【プリンター調整】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

3 プリンター調整用の用紙をセットします。

- 同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い終わった場合には、不要になった郵便はがきなどの「白色の用紙」をお使いください。
- 白色以外の用紙を使うとプリンター調整が正しく行われません。

4 【調整開始】をタッチします。

印刷が始まります。

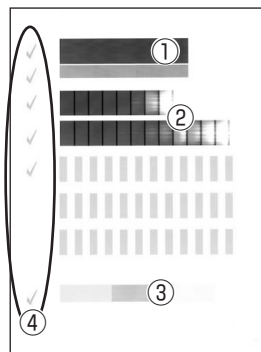
- プリントカートリッジ交換後など、印刷開始まで2～3分かかる場合があります。

5 印刷結果を確認してください。

下記の「プリンター調整の印刷結果の確認ポイント」に従って、確認します。

プリンター調整の印刷結果の確認ポイント

プリンターの調整は、プリントカートリッジ固有の情報をプリンター本体に登録、調整する作業です。印刷結果を参考に、プリンターの調整を正しく行ってください。



上の①～④の部分について、次の確認をしてください。

- ①黒色の長方形が印刷されていますか？
- 細い横線のスジ(ドット抜け)は問題ありません。
 - 太い線のスジ(ドット抜け)があり、テスト印刷(173ページ)した際にもスジが目立つ場合は、プリントカートリッジのクリーニング(172ページ)を行ってください。
- ②右端の部分の印刷がかすれていますか？
- 調整した結果なので、問題ありません。
- ③左から「水色」「ピンク」「黄色」の長方形は印刷されていますか？
- 正しく印刷されていない場合は、プリンター・プリントカートリッジのクリーニングを行ったり、汚れを取ってください(172、179ページ)。
- ④6つの✓は入っていますか？
- 赤色の「×」が印刷されている場合は、もう一度プリンターの調整を行ってください。
- 再度、「×」が印刷された場合は、プリントカートリッジを交換してください。

プリントカートリッジをクリーニングする

インクの量は十分残っているのにきれいに印刷されないとき、印刷をしない状態が長期間続いた後の「デジタルカメラの写真印刷」に白い線や縞模様が現れたときなどに行います。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【プリンター保守】の順にタッチします。

2 【クリーニング】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

3 プリンター調整用の用紙をセットします。

- 同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い終わった場合には、不要になった郵便はがきなどの「白色の用紙」をお使いください。

4 【クリーニング開始】をタッチします。

印刷が始まります。

5 印刷結果を確認してください。



果物の色が、カラーできれいに印刷されていて、
ばクリーニングが正しく行われています。

6 印刷の結果を確認して、問題がないときは、 【戻る】をタッチします。

プリンター保守メニュー画面に戻ります。

重要

印刷の結果に問題があるときは、【クリーニング
開始】をタッチして、再度クリーニングをしてくだ
さい。

テスト印刷する

試しに印刷をして、印刷の結果を確認したいときに行います。

1 トップメニュー画面(21ページ)から 【設定】→【プリンター保守】の順にタッチ します。

2 【テスト印刷】をタッチします。

用紙セットの画面が表示されます。

3 プリンター調整用の用紙をセットします。

• 同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い
終わった場合には、不要になった郵便はがき
などの「白色の用紙」をお使いください。

4 【調整開始】をタッチします。

印刷が始まります。印刷が終わるとプリンター保
守メニュー画面に戻ります。

5 印刷の結果を確認します。

データのバックアップを作成する

本体に登録した文面、住所録、差出人、外字、ユー
ザー辞書、写真などのデータを、1つにまとめてメモ
リーカードに保存できます。万一、データが消失し
たときは保存しておいたデータ呼び出して、保存
したときと同じ状態に戻すこともできます。また、
パソコンで作った宛名のデータを読み込むことが
できます。

なお、バックアップデータとして「最大360M byte
のデータ」をメモリーカードに保存します。

- 写真入り日記のデータはバックアップされません。
本体に登録した写真入り日記をメモリーカードに保
存したい場合は、「日記を閲覧する」の手順3(120
ページ)を参照して、【複写】をタッチしてください。

バックアップデータを保存する

重要

バックアップ用のメモリーカードは、ご購入後、はじ
めるときは、必ず、デジタルカメラで初期化(フォー
マット)してからお使いください。メモリーカードを初
期化する方法については、デジタルカメラに付属の取
扱説明書をご覧ください。

1 トップメニュー画面(21ページ)から 【設定】→【バックアップ】の順にタッチし ます。



2 【バックアップ保存】をタッチします。

保存するか確認する画面が表示されます。

3 保存用のメモリーカードをセットします(34ページ)。

4 【はい】をタッチします。

保存が始まります。保存が終わると、確認のメッセージが表示され、トップメニュー画面に戻ります。

メモリーカードにバックアップデータが入っているときは

メモリーカードに、古いバックアップデータが入っているときは、確認のメッセージが表示されますので、【はい】または【いいえ】をタッチしてください。はい:古いデータが削除されて、保存が始まります。いいえ:保存をしないで、元の画面に戻ります。

バックアップデータを呼び出す

重要

バックアップデータを呼び出すと、現在本機で作っているデータはすべて消えてしまいます。一度、消えてしまったデータは元に戻りません。ご注意ください。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【バックアップ】の順にタッチします。

2 【バックアップ呼出】をタッチします。
呼び出すか確認する画面が表示されます。

3 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします(34ページ)。

4 【はい】をタッチします。

呼び出しが始まります。呼び出しが終わると、確認のメッセージが表示され、トップメニュー画面に戻ります。

- バックアップデータの呼び出しは、本機で保存したデータを読み出します。他の機種で保存したデータは呼び出すことはできません。他の機種で保存したデータの呼び出しについては、175ページを参照してください。
- バックアップデータによっては、呼び出しに時間がかかることがあります。

バックアップデータを削除する

- 削除したデータは元には戻りません。ご注意ください。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【バックアップ】の順にタッチします。

2 【バックアップ削除】をタッチします。
削除するか確認する画面が表示されます。

3 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします(34ページ)。

4 【はい】をタッチします。

削除が始まります。削除が終わると、確認のメッセージが表示され、トップメニュー画面に戻ります。

メモリーカードを廃棄／譲渡するときの注意

本機の「バックアップを削除」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものは消去されないことがあります。メモリーカード内の個人情報データはお客様の責任において管理してください。たとえば、以下のような手段をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、パソコンを使って市販のデータ消去専用ソフトなどでメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、パソコンを使って市販のデータ消去専用ソフトなどでメモリーカード内のデータを完全に消去する。

バックアップデータを確認する

メモリーカードにバックアップデータが保存されているかどうかを、確認することができます。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【バックアップ】の順にタッチします。

2 【バックアップ確認】をタッチします。
バックアップ確認画面が表示されます。

3 機種名と日時を確認して、【終了】をタッチします。

トップメニュー画面に戻ります。

他のプリン写ルで登録した宛名データを読み込む

他のプリン写ルでバックアップしたデータから宛名データだけを読み込んで、本機のデータとして登録することができます。また、本機のバックアップデータから、宛名データだけを読み込むこともできます。

重要

宛名データを読み込むと、現在、本機に登録されている宛名データに追加登録されます。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【バックアップ】の順にタッチします。

2 【宛名データ読込】をタッチします。

バックアップデータの機種名が表示されます。

3 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします(34ページ)。

4 機種名を確認して、【次へ】をタッチします。

宛名データを呼び出す確認メッセージが表示されます。

5 【はい】をタッチします。

宛名データの読み込みが始まります。読み込みが終わると、確認のメッセージが表示されます。

6 【終了】をタッチします。

トップメニュー画面に戻ります。

- 住所録の名前、差出人のデータは呼び出すことはできません。

バックアップデータから宛名データを読み込みできる機種

PCP-70 / PCP-80 / PCP-90 / PCP-91 / PCP-92 / PCP-100 / PCP-120 / PCP-200 / PCP-250 / PCP-300 / PCP-400 / PCP-500 / PCP-700 / PCP-800 / PCP-1000 / PCP-1200 / PCP-1300 / PCP-1400 / PCP-2000 / PCP-2100 / PCP-2200 / PCP-2300 / PCP-2400 / PCP-2500

パソコン(PC)で作った宛名データを読み込む

パソコン(PC)で作った宛名データを、メモリーカードを経由して、本機のデータとして登録することができます(住所録の個人宛として登録されます)。読み込むことができるデータは、「Jアドレス形式」または「CSV形式」のデータです。

「Jアドレス形式」とは、パソコンなどのアプリケーションソフトで作った住所録データを、他のアプリケーションで読み込むための「標準住所録データ形式」です。「筆まめ」「筆王」など多くのPCはがき作成用アプリケーションソフトで住所録データをJアドレスの形式で保存することができます。

■ Jアドレス形式の宛名データを読み込む(「筆まめ」「筆王」などの場合)



1 パソコンの「筆まめ」などの宛名印刷アプリケーションで宛名データを入力します。

2 パソコンの宛名印刷アプリケーションで入力した宛名データを、Jアドレス形式(JADDRESS形式)のファイルで保存します。 ファイル名は「prinsya.jad」にしてください。

3 パソコン側で、作った「Jアドレス形式」の宛名データをメモリーカードに保存します。 このとき、宛名データは、メモリーカードのルート(一番上の階層)に保存してください。

4 本機で、トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【バックアップ】の順にタッチします。

5 【PC宛名データ読込】をタッチします。

ファイル形式選択画面が表示されます。

6 手順2で宛名データを保存したメモリーカードを本機にセットします(34ページ)。

7 【Jアドレス】をタッチします。
登録先の住所録選択画面が表示されます。

8 登録したい住所録をタッチします。
読み込みが始まります。
読み込みが終わると、確認のメッセージが表示されます。

9 【終了】をタッチすると、トップメニュー画面に戻ります。

重要

- 本機に読み込んだデータは、正しく読み込まれたことを必ず確認してからご使用ください。
- 読み込むデータの容量が宛名の容量を超えた場合は、読み込み可能な部分まで読み込んだ後、エラーメッセージが表示されます。
- 本機に内蔵していない文字が入力されている場合は、「=」に置き替えられます。
- 本機に読み込んだデータは、パソコンで表示される字形と一部異なることがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトの操作については、使用するアプリケーションソフトの説明書を参照してください。

■ CSV形式の宛名データを読み込む (「Microsoft Excel」などの場合)

「Microsoft Excel」などで作った住所録を、カンマ(,)で区切った「CSV形式」として保存して、本機に読み込むことができます。操作方法は、手順7で、呼び出す宛名のファイル形式として、【その他のCSV形式】をタッチする以外は、「Jアドレス形式の宛名データを読み込む」場合の操作と同様です。

「Microsoft Excel」などで、「CSV形式」の宛名データを作る際は、以下の注意事項に従ってデータを作ってください。

- 読み込むことができるデータは、本機に登録することができる項目があるデータのみです。
- データは、住所録の個人宛として登録することができます。会社宛として登録することはできません(会社名、部署名、役職の項目は登録できません)。
- ファイル名は、必ず、「prinsya.csv」にしてください。
- データの項目と順序は、以下の通りにしてください。

姓□名、姓名の読み、敬称、郵便番号、住所1行目、住所2行目、住所3行目、電話番号、連名1、連名1の敬称、連名2、連名2の敬称、連名3、連名3の敬称[改行]

- 「姓□名」の□は、空白を示します。

例) 37ページの宛名入力の場合
坂木 次郎,さかきじろう,
様,1500000,東京都渋谷区〇〇町
1-2-3,コーポ桎尾1125,,123-456-
7890,真美,様[改行]

CSV形式の宛名データの各項目順と入力可能文字数

	項目名	最大文字数	備考
1	姓名	姓:5文字 名:9文字	姓と名の間に空白を1文字挿入
2	読み	8文字	
3	姓名の敬称	2文字	
4	郵便番号	7文字	
5	住所1行目	15文字	住所は1行が15文字以下になるようにし、3行に分けてください。「住所2行目」「住所3行目」の入力がない場合でも空のデータをカンマ(,)で区切って入れてください。
6	住所2行目	15文字	
7	住所3行目	15文字	
8	電話番号	15文字	
9	連名1	9文字	
10	連名1の敬称	2文字	
11	連名2	9文字	
12	連名2の敬称	2文字	
13	連名3	9文字	
14	連名3の敬称	2文字	

白色の文字に輪郭をつけないようにする

写真の上に白色の文字を合成するとき、輪郭をつけないようにすることができます。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【白文字の輪郭設定】の順にタッチします。

2 【輪郭をつけない】をタッチします。

トップメニュー画面に戻ります。

輪郭をつけるように戻したいときは、【輪郭をつける】をタッチしてください。

タッチパネルを調整する

タッチペンでタッチした位置や手書きで入力した文字が、実際の表示の位置とずれているときは、タッチパネルの調整をします(工場出荷時に、あらかじめ調整されていますので、通常は調整不要です)。

• タッチパネルの調整は、必ず、付属のタッチペンを使用してください。

重要

必要なとき以外は、タッチパネル調整は行わないでください。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【タッチパネル調整】の順にタッチします。

タッチパネル調整を確認する画面が表示されます。

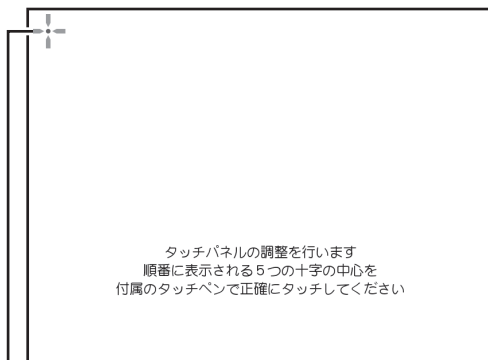
2 【はい】をタッチします。

タッチパネルの調整画面が表示されます。

3 タッチパネルを調整します。

画面に順番に表示される5つの「+」の中心を付属のタッチペンでタッチします。「+」は左上→右上→右下→左下→中央の順に表示されます。

• 「+」から離れた位置をタッチすると、5つタッチした後に、再度、調整し直しになります。



ひとつずつ正確にタッチ

すべてタッチすると、トップメニュー画面に戻ります。

手書き認識のしかたを設定する

手書きで入力した文字を認識する方法は、手動認識、自動認識の2つあります。

手動認識では、文字を入力した後、【認識】をタッチして、1文字ずつ認識させます。

自動認識では、入力した文字が約1秒後に自動的に認識されます。

ご購入後はじめて使うときや、リセット(初期化)した後は、手動認識の状態になっています。

1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【手書き認識設定】の順にタッチします。

2 【手動認識】または【自動認識】をタッチします。

トップメニュー画面に戻ります。

郵便番号辞書データを更新する

カシオホームページからダウンロードした郵便番号辞書データを、メモリーカードに保存して、本機の郵便番号辞書データを更新することができます。

郵便番号辞書データのバージョンを確認する

本機に登録されている郵便番号辞書データのバージョンを確認します。

- 1 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【郵便番号辞書】の順にタッチします。
- 2 【バージョン確認】をタッチします。
- 3 バージョンを確認して、【終了】をタッチします。
トップメニュー画面に戻ります。

郵便番号辞書データを更新する

カシオホームページ(<http://casio.jp/d-stationery/prinshall/>)から郵便番号辞書データをダウンロードして、郵便番号辞書データを更新します。

重要

使用するメモリーカードは、ご購入後、はじめて使うときは、必ず、デジタルカメラで初期化(フォーマット)してからお使いください。

- 1 パソコンでカシオホームページから郵便番号辞書データをダウンロードし、メモリーカードのルート(一番上の階層)に保存します。
- 2 トップメニュー画面(21ページ)から【設定】→【郵便番号辞書】の順にタッチします。
- 3 【郵便番号辞書更新】をタッチします。

- 4 郵便番号辞書データが保存されているメモリーカードをセットします(34ページ)。
- 5 【はい】をタッチします。
読み込みが始まります。読み込みが終わると、メモリーカードに保存されている郵便番号辞書データのバージョンが表示されます。
- 6 【はい】をタッチします。
データの更新が始まります。データの更新が終わると、確認のメッセージが表示されます。
- 7 【終了】をタッチします。
トップメニュー画面に戻ります。
- 8 を押して、電源を切ります。
これでデータの更新作業は完了です。

お手入れをするときは

プリンター・プリントカートリッジ端子部の汚れを取る

プリントカートリッジやプリンターの金属端子部が汚れていると、「カートリッジ装着エラー」となり、印刷できなかつたり、きれいに印刷できない場合があります。この場合は、次の手順に従って、きれいにしてください。

■ 準備するもの

ミネラルウォーター ガーゼ 綿棒 はさみ

■ ご注意

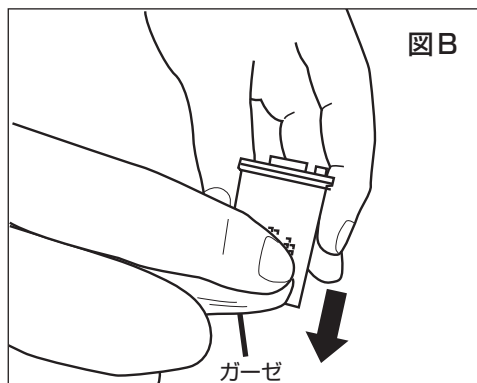
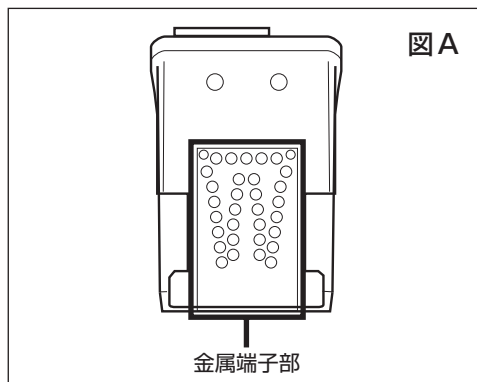
- この作業は、「台所のステンレス流し台」のような「静電気が発生せず、なおかつ静電気が逃げる場所」で、「インクがこぼれても支障のない状態」で行ってください。
- プrintカートリッジのノズルや電極部分に直接手を触れないようにご注意ください。
- 各金属端子部の清掃にはミネラルウォーターをご使用になることをおすすめします。水道水は、塩素などを含んでいるために腐食などを起こしやすいので注意してください。

1 作業の準備

- 本機の電源を切り、ACアダプターを抜いてください。
 - 各金属端子部を拭くためのガーゼを用意します。
- ① 約10cm四方の大きさに切ったガーゼを2~4枚用意します。
 - ② 用意したガーゼのうちの2枚を重ねて、ミネラルウォーターを含ませて軽く絞ります。
 - ③ 綿棒に巻きつけます。

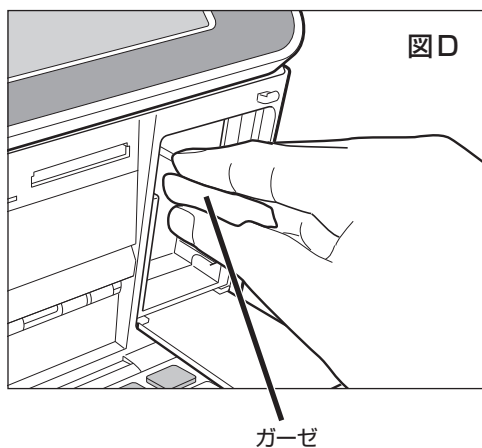
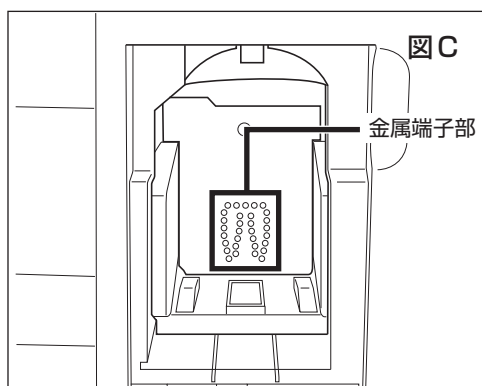
2 プrintカートリッジ金属端子部の汚れを取る

- ① プrintカートリッジ収納部カバーを開けて、Printカートリッジを取り出します。
- ② 金属端子部のプラスチックテープがはがされていることを確認します。
- ③ 下の図A・図Bのように、金属端子部を「ミネラルウォーターを含ませて綿棒に巻きつけたガーゼ」で、矢印方向に拭いてください。
- ④ インクがつかなくなったら、金属端子部を乾いたガーゼで拭いて完全に乾燥させてください。



3 プリンター金属端子部の汚れを取る

- ① 下の図C・図Dのように、プリントカートリッジ収納部内の金属端子部を「ミネラルウォーターを含ませて綿棒に巻きつけたガーゼ」で拭いてください。
金属端子部付近には、金属製部品があります。手を切らないようにご注意ください。
- ② インクがつかなくなったら、金属端子部を乾いたガーゼで拭いて完全に乾燥させてください。



4 印刷状態の確認

- ① ACアダプターを接続して、**電源** を押して電源を入れます。
- ② プリントカートリッジをセットして、印刷が正常にできるか確認してください。

本体の汚れを取る

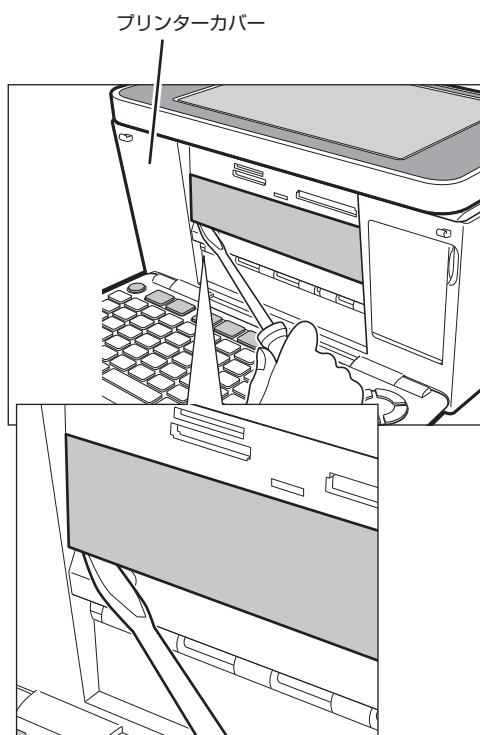
本機のプリンターは、インクジェット方式です。印刷していると、プリントカートリッジ収納部周辺や本体にインクが付着する場合があります。この場合は、水を浸して固く絞ったガーゼなどで拭き取ってください。

本体を傷つけるので、ベンジンやアルコールなど揮発性のものは使用しないでください。
表示画面(タッチパネル)が汚れた場合は、やわらかい乾いた布でやさしく拭いてください。

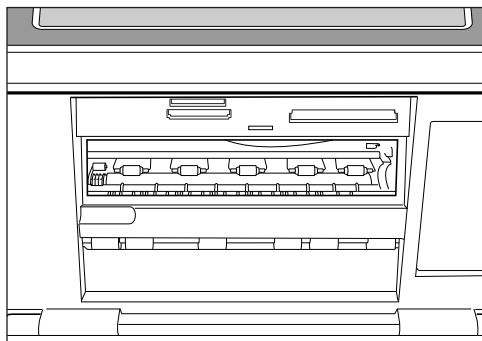
プリンター内部のクリーニング

印刷した用紙がインクで汚れる場合は、プリンター内部にインクが付着している可能性があります。その場合は、次の手順に従って、プリンター内部をきれいにしてください。

- 1 **電源** を押して、本機の電源を切り、ACアダプターを抜きます。
- 2 マイナスドライバーやコインの先端を本機のプリンターカバーの端に当てて、手前側に引きます。

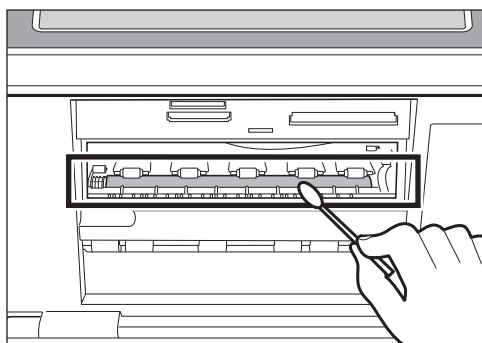


- 3 プリンターカバーが外れて下図の状態になります。



- 4 図の枠で囲った部分を、綿棒などで拭いてください。

- プリンター内部には鋭利な部分があります。誤ってけがをしないように注意してください。
- 枠で囲った部分以外は触れないようにしてください。故障の原因となります。

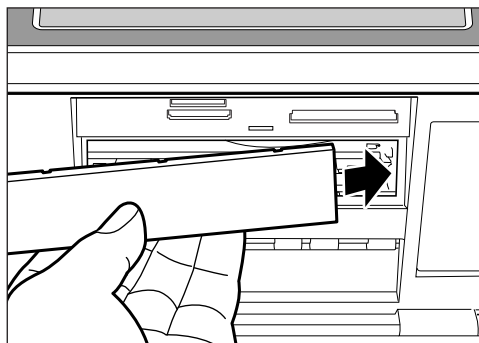


- 5 プリンターカバーを元に戻します。

下図のように右側のつめを挿入してから、カバーを取り付けます。

重要

無理な力を加えて、つめを折らないように注意してください。



- 6 ACアダプターを接続して、**電源**を押して、本機の電源を入れます。

本体の保管方法

本機を長期間使用しないときは、プリントカートリッジ収納部カバーをしっかりと閉めて、タッチパネル保護カバーを付けて、直射日光のあたらない場所で高温多湿を避けて保管してください。

- プrintカートリッジは、本機に入れたまま保管してください。Printカートリッジを単体のままで長期間保管すると、インクノズル部分の目づまりの原因となります。

第7章 困ったときは

こんな画面が出てきたら

操作中にいろいろなメッセージが表示されることがあります。表示されたメッセージに従って、【確認】などをタッチして対処してください。ここでは、対処方法が複数あるメッセージなどのみ記載しています。

メッセージ	対処方法	参照ページ
メモリーカードエラー メモリーカードの内容が読めません きちんと差し込まれているか確認してください もう一度読み込みますか？ はい いいえ	【いいえ】をタッチした後、メモリーカードを正しくセットしてください。撮影前に初期化（フォーマット）していないメモリーカードをセットしたときも、このメッセージが表示されます。この場合は、デジタルカメラなどで初期化したメモリーカードをセットしてください。	34
メモリーカードエラー 使用できる写真がありません 写真が入っているメモリーカードをカードスロットにセットしてください 確認	【確認】をタッチした後、本機で使用できる写真の入ったメモリーカードをセットしてください。	35
印刷データエラー 印刷できない写真がありました 確認	【確認】をタッチした後、印刷結果を確認してください。本機では、デジタルカメラなどで撮影した写真（詳しくは、35ページ参照）しか印刷できません。	35
データエラー 使用できない形式の写真です 他の写真をご使用ください 確認	【確認】をタッチした後、本機で使用できる形式の写真を選んでください。	35
用紙エラー 用紙がつまっています 用紙を取り除いてください 確認	つまっている用紙を取り除いた後、【確認】をタッチしてください。	189

メッセージ	対処方法	参照ページ
<p>インク消耗</p> <p>インクがなくなりました プリントカートリッジを交換 してください</p> <p>はい いいえ</p>	<p>【はい】をタッチした後、新しいプリントカートリッジに交換してください。</p> <p>お手元に新しいプリントカートリッジがない場合は【いいえ】をタッチしてください。ただし、この状態のまま印刷を行っても、正しく印刷できない場合があります。早めに新しいプリントカートリッジに交換することをおすすめします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本プリントカートリッジは、3色カラーのインクで構成されているため、1色のインクがなくなると他の2色のインクが残っていても「インク消耗メッセージ」が表示されます。そのため、1色だけの偏った配色の文字や画像を繰り返して印刷したときは、極端に印刷枚数が減る場合があります。 2L判サイズ用の紙に印刷した場合は、印刷する画像によっては「インク消耗メッセージ」が表示される直前にインクが消耗し、きれいに印刷できない場合があります。 	27
<p>プリンターエラー</p> <p>ACアダプターのプラグを コンセントから抜いてくださ い</p>	<p>ACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。約10秒後に、ACアダプターのプラグをコンセントに差し直して、電源を入れてください。</p> <p>用紙がプリンター内に残っている場合は、用紙が自動的に排出されます。自動的に排出されない場合は、「用紙がつまったときは」(189ページ)を参照して取り除いてください。</p> <p>上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書などに記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。</p>	23 24 209
<p>カートリッジ装着エラー</p> <p>プリントカートリッジがセッ トされていません 正しく取り付けください よろしいですか？</p> <p>はい いいえ</p>	<p>プリントカートリッジを正しくセットして、【はい】をタッチしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリントカートリッジが正しくセットされていません。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。 プリントカートリッジの金属端子部に貼り付けられているプラスチックテープをはがされていません。プラスチックテープをはがしてセットしてください。 プリントカートリッジ金属端子部または本機のカートリッジ挿入部が汚れているか、ゴミや異物が付着しています。「お手入れの方法」を参考にして、汚れを取ってください。 指定以外のプリントカートリッジが使用されています。専用プリントカートリッジ「PI-110C」3色カラーを使用してください。 プリントカートリッジが破損しています。新しいプリントカートリッジと交換してください。 プリントカートリッジの使用期限が過ぎていませんか？新しいプリントカートリッジに早めに交換することをおすすめします。 プリントカートリッジやプリンターの端子部が汚れている場合は汚れを取ってください。 	27 27 26 179 203 27 28 179 180
<p>カートリッジエラー</p> <p>プリントカートリッジの 交換以外はカバーを 閉めてください</p>	<p>プリントカートリッジ収納部カバーが閉まっていません。きちんと閉めてください。</p>	27

困ったときは

メッセージ	対処方法	参照ページ
<p>メモリーエラー</p> <p>前回正しく終了されなかった可能性があるためメモリー内のデータが壊れました</p> <p>確認</p>	<p>【確認】をタッチしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原因として、電源オフのとき、表示画面が完全に消える前にACアダプターを抜いた可能性があります。ACアダプターは、表示画面が完全に消えてから抜いてください。 	24
<p>メモリーリセット</p> <p>全てのデータが削除され、なくなります 消えたデータは元に戻りません よろしいですか？</p> <p>はい いいえ</p>	<p>リセットを行うときは、【はい】をタッチしてください。 リセットを中止するときは、【いいえ】をタッチしてください。</p>	192
<p>プリンターエラー</p> <p>プリンターに異常が発生しました</p> <p>確認</p>	<p>【確認】をタッチして、一度、印刷を中止してください。用紙がつまっている場合は、取り除いた後、再度、印刷をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【確認】をタッチまたは 電源 などのキーを押しても操作ができなくなったときは、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いて、用紙がつまっている場合は、取り除いてください。その後、再度、ACアダプターのプラグをコンセントに差し、電源を入れてください。 <p>上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書などに記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。</p>	189 209

こんな症状が起こったら

本機の動きがおかしいときは、次の表に従って対応してください。

■ 電源

症状	原因／対処方法	参照ページ
電源キー(電源)を押しても何も表示されない	表示画面の明るさは適切ですか？ → 明るさを調整してください。	170
	ACアダプターはきちんと接続されていますか？ → ACアダプターのプラグを、コンセントへしっかりと差し込んでください。	23

■ 宛名印刷

症状	原因／対処方法	参照ページ
郵便番号の位置が郵便番号枠内からずれる	用紙が正しくセットされていますか？ → 用紙を正しくセットしてください。	32
	はがきの種類を正しく設定しましたか？ → はがきの種類によって、差出人の郵便番号の位置が異なります。印刷したいはがきに合わせて、設定してください。	56
	郵便番号位置を調整しましたか？ → 郵便番号の位置(上下位置、左右位置)を調整してください。	65 66
宛名／差出人の住所が希望通りの位置に印刷されない	各行の上下位置を調整しましたか？ → 上下位置を調整してください。1行ごとに「上(左)寄せ」にするか「下(右)寄せ」にするか設定できます。	67
宛名の文字が小さくなった	宛名の文字サイズを正しく設定しましたか？ → 宛名の文字サイズは、3種類から選べます。文字サイズの設定を変更してください。	57
	余分な空白が入っていませんか？ → 宛名に余分な空白が入力されている場合は、空白を削除してください。	156

■ 文面印刷

症状	原因／対処方法	参照ページ
差出人を文面に印刷できない	差出人を入れられるデザイン、レイアウトや文例を選びましたか？ → (差出人可)のマークが付いているデザイン、レイアウトや差出人付きの文例を選んでください。	73 75 79 80 91

■ 印刷


症状	原因／対処方法	参照ページ
用紙が送られない	用紙ガイドが用紙のサイズにあっていませんか？ → 挿入口のガイドをスライドさせて用紙のサイズにあわせてください。	31
	用紙が正しくセットされていますか？ → 用紙を給紙トレイに正しくセットしてください。	30
	印刷できない用紙を使用していませんか？ → 本機で印刷できる用紙の種類を確認してください。	29
	セットしている用紙が多すぎませんか？ → 一度にセットできる枚数は、20枚(郵便はがき)までです。セットする用紙の枚数を減らして再度印刷してください。	30
	給紙トレイがきちんと開いていますか？ → 給紙トレイを開け直して、用紙をセットしてください。	30
きれいに印刷されない ・ 薄く印刷される ・ 印刷したものにスジが入る ・ 印刷したものの色が正しくない	プリントカートリッジを確認してください。	
	・ 正しくセットされていますか？ → 「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。	27
	・ インクがなくなっていないですか？ → 新しいプリントカートリッジに交換してください。 2L判サイズ of 用紙を使用した場合、印刷する画像によっては「インク消費メッセージ」が表示される直前にインクが消耗し、きれいに印刷できない場合があります。	27
	・ 使用期限が過ぎていませんか？ → 新しいプリントカートリッジに早めに交換することをおすすめします。	28
	・ インクで目づまりしている可能性があります。 → プリントカートリッジ端子部の汚れを取ってください。	179
	・ 高温の状態で長時間保管すると、きれいに印刷できなくなることがあります。 → テスト印刷で確認してください。	173
	本機で使用できる用紙を使用していますか？ → 用紙の種類を確認してください。特殊な用紙(表面が極端にザラザラしたもの、凹凸の激しいもの)は使用できません。	29
	プリンターの調整はありますか？ → プリンターの調整を行ってください。	172
	用紙挿入口のゴムローラー部にゴミや異物が付着していませんか？ → 市販のセロハンテープなどで取り除いてください。	—
	印刷設定は正しく設定されていますか？ → 用紙サイズ、紙質、印字タイプなどを確認してください。	56 100 143
・ 上記の対応を行ってもきれいに印刷できない場合は、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。		

症状	原因／対処方法	参照ページ
用紙が詰まった	詰まった用紙を取り除いた後、【確認】をタッチしてください。	189
	給紙トレイがきちんと開いていますか？ → 給紙トレイを開け直して、用紙をセットしてください。	30
	本機で使用できる用紙を使用していますか？ → 用紙の種類を確認してください。 <u>コピー用紙などの薄い紙</u> や、 <u>形状が不定形な用紙</u> などは故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。	29
印刷できる用紙は？	印刷できる用紙については「使用できる用紙」の説明を参照してください。 下記の用紙は印刷できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・封筒 ・往復はがき ・写真付きポストカード（写真店などで注文できる郵便はがきに写真が貼り付けられたもの） ・表面が凸凹やザラザラのもの ・フォト光沢紙以外で表面がツルツルのもの ・折れ曲がったり、反りの激しいもの ・一般の郵便はがきにくらべて、極端に厚い紙や薄い紙、腰の強い用紙 ・樹脂シートなどのインクを吸収しないもの ・コピー用紙・カレンダーなど<u>指定以外の用紙</u>や、不定形に切断した用紙 ・極端に、用紙どうしの、すべりがわるい（貼り付きやすい）用紙 	29
一度に印刷できる枚数は？	一度にセットできる枚数：1～20枚（郵便はがき） 設定できる印刷枚数：1～99枚 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷枚数を20枚以上（郵便はがき）に設定した場合は、何回かに分けて用紙を用紙挿入口にセットし、印刷してください。 下記の場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・用紙どうしが静電気などの影響で貼り付きやすい場合 ・シールプリントの用紙（16面分割光沢フォトシール用紙） ・インクジェット写真用年賀葉書 ・フォト光沢はがきどうしが貼り付きやすい場合 	30
1個のプリントカートリッジで印刷できる枚数は？	はがき印刷：約210枚 標準写真(L判サイズ)：約105枚 (印刷する内容によって、印刷できる枚数は異なります。)	204

■ タッチパネル／手書き入力

症状	原因／対処方法	参照ページ
タッチしても認識されない	タッチする位置と認識される位置がずれていませんか？ → タッチパネルの調整を行ってください。	177
タッチパネルが正しく動作しない	キーボードだけ有効な操作ではありませんか？ → 一部の記号の入力など、タッチでは行えない操作があります。	—
手書きで入力した文字がずれて表示される	表示画面（タッチパネル）に保護フィルムを貼り付けていませんか？ → 市販の保護フィルムを貼り付けると、タッチパネルへの操作が正常にできない場合があります。保護フィルムをはがして、正常に操作できるか確認してください。	—
手書きで文字を入力できない	手書きで入力しているときにキーボードのキーを押しませんでしたか？ → 手書き入力中はキーボードのキーを押さないでください。	157
	入力できる文字の種類を間違えていませんか？ → 入力モードによって入力できる文字の種類が違います。文字の種類を確認してください。	157
	手書き入力用のマス以外の場所に、ペンや手が触れていませんか？ → ペン先だけが画面に触れるように文字を書いてください。	158

■ 音声ガイド

症状	原因／対処方法	参照ページ
音声ガイドが聞こえない	音量を調節しましたか？ → 音量を調節してください。音量調節のつまみを上に動かすと音が大きく、下に動かすと小さくなります。	25
音声ガイドを消したい	音量調節のつまみを一番下に動かしてください。 音声ガイドがなし（音声ガイドOFF）になります。	25
音声ガイドをもう一度聞きたい	 をタッチしてください。直前に流れた音声ガイドをもう一度聞くことができます。	25

用紙がつまったときは

■ 用紙排出口から用紙が見えている

つまっている用紙を、ゆっくりと手前に引っ張って取り除きます。

■ 用紙挿入口から用紙が見えている場合

つまっている用紙を、用紙挿入口から上側にゆっくりと引っ張って取り除きます。

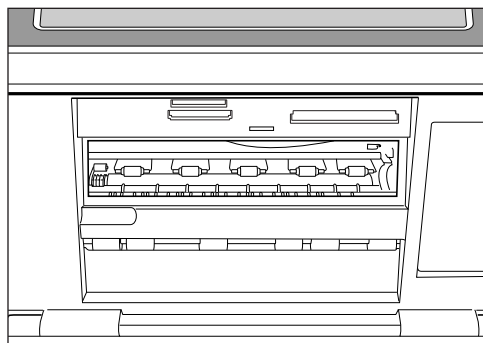
■ つまった用紙が取り出しにくい場合

つまった用紙が取り出しにくい場合は、背面カバーを外して取ってください。

■ プリンター内部に用紙がつまった場合

次の手順に従って、つまっている用紙を取り除いてください。

- 1 「プリンター内部のクリーニング」の手順1～3と同様な操作で、プリンターカバーを外します(180ページ)。



- 2 内部につまった用紙を、ピンセット等でつまんで、取り除きます。

重要

プリンター内部には鋭利な部分があります。誤ってけがをしないように注意してください。

- 3 「プリンター内部のクリーニング」の手順5～6と同様な操作で、プリンターカバーを戻します(181ページ)。

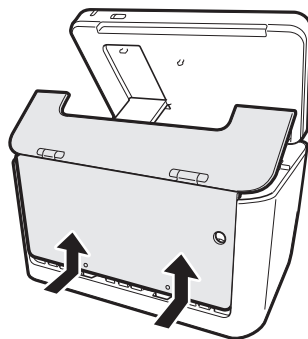
■ プリンター背面に用紙がつまった場合

次の手順に従って、つまっている用紙を取り除いてください。

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を切り、ACアダプターを抜きます。

• キャリングハンドル(13ページ)が下がっている場合は、引き上げてください。

- 2 本機背面の下図の2ヶ所の丸印を押しながら矢印方向にスライドさせて背面カバーを開けます。



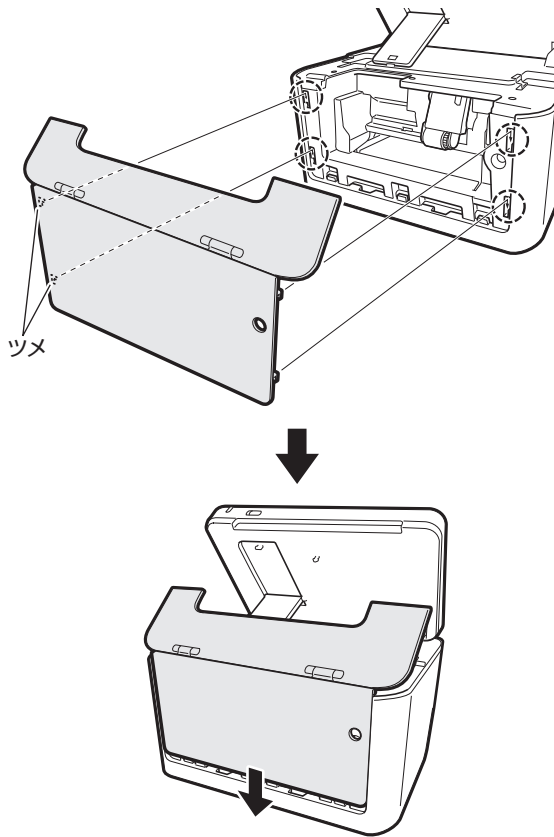
- 3 内部につまった用紙を、ピンセット等でつまんで、取り除きます。

- 4 背面カバーを元に戻します。

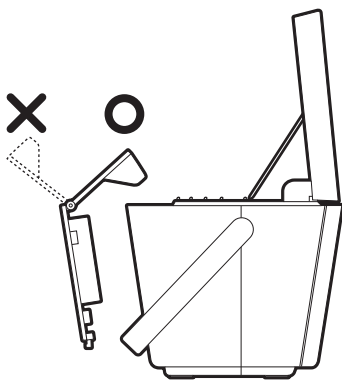
• 上記の作業をしても、用紙が取り除けない場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

背面カバーが外れてしまったら

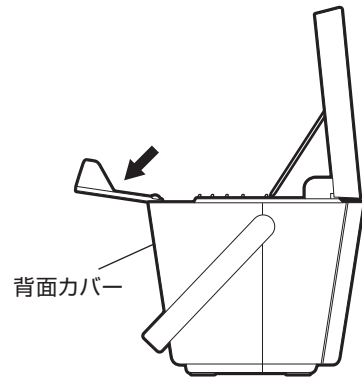
背面カバーが外れてしまったときは、下図のツメの部分に軸を入れて再セットしてください。背面カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、ツメや軸が破損する恐れがあります。



背面カバーをセットするときは、下図のように、給紙トレイを手前に傾けた状態でセットしてください。



給紙トレイが下図の矢印の位置まで開いてしまった場合は、背面カバーを外して再セットしてください。



久しぶりに使うときは

本機をしばらく使わなかったときの注意点について説明します。久しぶりに年賀状を作ったり、写真を印刷するときは、操作の前に次の点を確認してください。

■ 住所録の登録内容を確認をする

確認内容	参照ページ
年賀状や暑中見舞いなどを印刷するときは、相手の引っ越しなどで宛先が変わっていないか確認してください。必要に応じて宛名の登録内容も変更してください。	47
自分が引っ越したときは差出人の住所変更も必要です。	54

■ プリントカートリッジの残量を確認する

確認内容	参照ページ
プリントカートリッジにインクが残っているかどうか確認します。インクがないときは新しいプリントカートリッジに交換しましょう。	166 27
プリントカートリッジには使用期限があります。	28
プリントカートリッジ1個で印刷できる枚数は、印刷する内容によって異なります。	204

■ きれいに印刷できるかどうか確認する

確認内容	参照ページ
印刷しない状態が長く続くと、インクが残っていてもきれいに印刷できないことがあります。テスト印刷して印刷の結果を確認しましょう。	173
印刷結果に問題があるときは、プリントカートリッジをクリーニングします。	172
プリントカートリッジのクリーニングをしても効果がないときは、プリンターやプリントカートリッジの端子部を確認し、汚れを取ります。	179

■ 別売品について

確認内容	参照ページ
別売品として、プリントカートリッジや用紙が用意されています。	203
別売品はカシオ製品を取り扱っている、お近くの販売店にお問い合わせください。	—

リセット(初期化)するときは

静電気の影響などにより、本機の動きがおかしくなったり、操作を受け付けなくなったりしたときは、リセット(初期化)を行ってください。

重要

リセット(初期化)を行うと、ご購入後に登録したデータがすべて消え、設定がお買い上げ時のものに戻ってしまいます。必要のないときは、絶対にしないでください。

1 電源が切れている状態で **印刷** **空白** をいっしょに押しながら、**電源** を押し、約3秒後に **電源** だけ指を離します。

リセット確認画面が表示されたら、**印刷** **空白** から指を離します(表示されるまで時間がかかる場合があります)。

- リセット確認画面が消えてしまった場合は、**電源** を押して電源を切ってから、手順1の操作をやり直してください。

2 **【はい】** をタッチします。

- **【いいえ】** をタッチすると、リセットせずにトップメニュー画面に戻ります。

3 時計を設定して(171 ページ)、**【決定】** をタッチします。

4 使いたい入力モードをタッチします。

5 明るさを調整して、**【決定】** をタッチします。

リセットが完了し、トップメニュー画面が表示されます。

■ JIS外の漢字

尅	才	仔	侮	併	僧	免	兼	宜	冬	勉	勝
勤	半	卑	卽	既	吉	啄	嘆	噌	器	土	圳
埆	塚	增	墨	寬	層	奇	崑	崎	嶂	巢	巽
廊	廣	弱	強	徵	德	徽	悔	惠	慧	憎	懲
揭	拈	擊	教	敏	晚	昇	暑	曆	曙	眷	朗
柳	栾	梅	棚	榆	樞	榉	榭	榭	榭	榭	榭
橫	樽	勝	楡	欄	梳	步	歷	穀	每	海	涉
淚	渴	渚	溫	漢	澗	濱	澗	瀨	煮	狀	狀
猪	琢	甌	產	畫	碑	碣	祁	社	祈	祇	祉
祝	神	祐	祖	祥	福	禍	禎	穰	突	節	箬
綠	緣	緒	練	繁	署	羽	者	臭	萊	葛	葛
著	蓬	蓮	蕓	薩	薰	藤	虛	虞	蠟	視	角
謁	諸	謹	賓	贈	邊	邊	辻	逸	郎	都	鄧
醬	醞	鈇	錄	鍊	隆	難	靈	窿	霄	青	響
賴	類	食	飫	飴	餅	醇	驛	高	紛	鯖	鰻
鱒	鵠	鶉	鷗	鷗	麴	麵	麻	黃	黑	莖	

ローマ字入力対応表

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧です。

あ行	あ A	い I	う U	え E	お O	きゃ行	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO	ぴゃ行	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
か行	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	ぎゃ行	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO	ふぁ行	ふぁ FA	ふい FI		ふえ FE	ふお FO
	CA		CU		CO	くぁ行	くぁ QA	くい QI		くえ QE	くよ QO	ふゃ行	ふゃ FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふよ FYO
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	くわ行	くわ KWA	くい KWI	くう KWU	くえ KWE	くお KWO	ぶゃ行	ぶゃ BYA	ぶい BYI	ぶゅ BYU	ぶえ BYE	ぶよ BYO
さ行	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO	くわ行	くわ GWA	ぐい GWI	ぐう GWU	ぐえ GWE	ぐお GWO	みゃ行	みゃ MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO
ざ行	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	しゃ行	しゃ SHA	しゅ SHU	しえ SHE	しよ SHO	りゃ行	りゃ RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO	
た行	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO	じゃ行	じゃ JYA	じゅ JYU	じえ JYE	じよ JYO	ヴぁ行	ヴぁ VA	ヴい VI	ヴゅ VU	ヴえ VE	ヴお VO	
		CHI	TSU			ちゃ行	ちゃ TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちよ TYO						
だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	ぢゃ行	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO						
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	つぁ行	つぁ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO						
は行	は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO	てゃ行	てゃ THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO						
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	てゃ行	てゃ DHA	てい DHI	てゅ DHU	てえ DHE	てよ DHO						
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO	とう			とう TWU								
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	どう			どう DWU								
や行	や YA		ゆ YU	い YE	よ YO	にゃ行	にゃ NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO						
ら行	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	ひゃ行	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO						
	LA	LI	LU	LE	LO	びゃ行	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO						
わ行	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO												
ん行	ん NN, N + 子音																
					MP + 母音, MB + 母音												

• ヴァ行は「ひらがな」は入力できません。

小文字(拗音・促音)

あ XA A	い XI I	う XU U	え XE E	お XO O
や XYA Y	ゆ XYU Y	よ XYO Y	わ XWA W	

っ XTU, XTSU, LTU T	カ XKA K	ケ XKE K

• N以外の子音を2度入力しても「っ」や「っ」になります。

内蔵漢字一覧

197、198ページにはJIS第1水準の漢字を、199、200ページにはJIS第2水準の漢字を一覧表として掲載しています。

JIS第1水準の漢字は代表的な「読み」の50音順に並んでいます。

JIS第2水準の漢字は「部首の画数」の順に並んでいます。

JIS区点コード表の部首分類のそれぞれの画数には次の部首が含まれます。

- 1画 一、丨、丶、ノ、乙、丿
- 2画 二、亠、人、儿、入、八、冂、冫、勹、几、凵、刀、力、勹、匕、匚、匚、十、ト、冂、厂、ム、又
- 3画 口、口、土、土、夕、夕、夕、大、女、子、宀、寸、小、尢、尸、冫、山、巛、工、己、巾、干、幺、广、廴、井、弋、弓、彡、彳
- 4画 心、戈、戸、手、支、斗、斤、方、无、日、日、月、木、欠、止、歹、爻、母、毛、氏、气、水、火、爪、爻、爻、片、牛、犬
- 5画 玉、瓦、甘、生、用、田、疒、廴、白、皮、皿、目、矛、矢、石、示、肉、禾、穴、立
- 6画 竹、米、瓜、糸、缶、网、羊、羽、老、耒、耳、聿、肉、至、臼、舌、舟、艮、色、艸、虎、虫、血、行、衣、西
- 7画 臣、見、角、言、谷、豆、豕、豕、貝、赤、走、足、身、車、辛、邑、酉、采、里
- 8画 金、門、阜、隶、隹、雨、青、非
- 9画 面、革、韭、音、頁、風、食、首、香
- 10画～ 馬、骨、高、髟、鬥、鬯、鬯、鬼、韋、魚、鳥、鹵、鹿、麥、麻、黃、黍、黑、黽、黽、鼓、鼠、鼻、齊、齒、龍、龜、龠

JIS区点コードでの漢字の分類は本機で採用した部首と異なるものがあります。

上記の部首の画数の数えかたは本機で採用した数えかたと異なるものがあります。

区点コードは調べたい文字の左右の端の2桁の数字(区番号)と上下の2桁の数字(点番号)の組み合わせで表されます。

例:「愛」は16区06点にあるので区点コードは「1606」です。

一覧表は1ページに収まらないため本書では次のように分割されて表記されています。

	01点～47点	48点～94点
16区 ┆ 47区	197 ページ	198 ページ
48区 ┆ 84区	199 ページ	200 ページ

仕様

形 式：PCP-2500

■入力

- ・キーボード
キー配列：50音配列+数値入力用キー
入力方法：ローマ字入力、かな入力
変換方式：AI変換、予測変換、文例変換
- ・タッチパネル
入力方法：手書き入力

■辞書

内蔵辞書数：約 254000 語 郵便番号辞書数：約 123000 件

■漢字辞書機能

- ・読み検索
- ・総画数検索
- ・部首検索
- ・JIS区点コード検索

■文字種

7184 文字
漢字：6546 文字
JIS 第 1 水準：2965 文字 JIS 第 2 水準：3390 文字 JIS 外：191 文字
ひらがな：83 文字 (全角) カタカナ：86 文字 (全角) 数字：10 文字 (全角)
アルファベット：52 文字 (全角) 記号：407 文字 (全角)
その他：外字 (48 × 48 ドット) は 6 文字登録可能

■表示

表示方式：横 800 × 縦 600 ドット (8 型) ・TFT カラー液晶

■印刷

印刷方式：インクジェット方式
解像度：最大 2400 × 1200dpi
印刷フォーマット：宛名面……3 種類 文面 (組み合わせ作成) ……30 種類
書体：ゴシック体、丸ゴシック体、明朝体、毛筆流麗体、毛筆楷書体
印刷文字体：標準、白抜き、影付き、立体、太文字 ※ 毛筆流麗体は非対応
印刷文字：32 色
印刷機能：デジタル写真印刷 (フチあり / 4 辺フチなし)
インデックスプリント (L 判：24 面 / はがき・A6：28 面 / 2L 判：45 面)、
宛名印刷、文面印刷
用紙サイズ：はがき (縦 148 × 横 100mm)
A6 (縦 148 × 横 105mm)
L 判 (縦 127 × 横 89mm)
2L 判 (縦 178 × 横 127mm)
シール紙 (16 面付け) (縦 148 × 横 100mm)
印刷サイズ：はがき (縦 148 × 横 100mm)
(目安) A6 (縦 148 × 横 105mm)
L 判 (縦 127 × 横 89mm)
2L 判 (縦 178 × 横 127mm)
シール (縦 17 × 横 24mm)
印刷可能枚数：印刷できる枚数は、印刷する内容によって異なります。
詳しくは 204 ページを参照してください。

■メディア入力

メモリーカード：コンパクトフラッシュ (TYPE I/TYPE II)
メモリースティック／メモリースティック PRO /メモリースティック
デュオ／メモリースティック PRO デュオ
SDメモリーカード／miniSDメモリーカード(市販のアダプターが必要)／
microSDメモリーカード(市販のアダプターが必要) / SDHCメモリー
カード／microSDHCメモリーカード(市販のアダプターが必要) / マル
チメディアカード
xD-ピクチャーカード／xD-ピクチャーカード Type M / xD-ピクチャー
カード Type M+

対応フォーマット：DCF Exif 2.1 (JPEG 準拠)

対応画像サイズ：最小画素数 160 × 120 ピクセル

対応ファイルサイズ：20M Byte 以下 (写真プリント、スライドショー、写真データ登録)
10M Byte 以下 (文面、写真入り日記、コメントプリント、絵画変換、
写真カレンダー、写真俳句、シールプリント、DPOF プリント)

対応画像枚数：読み込み可能枚数 9999 枚まで

■文面機能

- ・カンタン作成：452 種類
ジャンル：11 種類 (年賀状、暑中・残暑・寒中見舞い、結婚、出産、引越、クリスマス・ハロウィン、バースデー、母の日・父の日、入学・卒業、家族のニュース、喪中欠礼)
- ・組み合わせレイアウト：30 種類
組み合わせ用イラスト：476 種類
- ・オリジナルはがき作成：レイアウト 8 種類、文例 11 種類、イラスト背景 24 種類
- ・イラスト集：1000 種類

■住所録機能

宛名を約 1000 件登録可能

(1 件あたり、名前 (姓 + 名) 5 文字、よみ 8 文字、敬称 1 文字、郵便番号 7 文字、住所 12 文字の場合)

読み込み可能な PC 宛名データ

- ・ Jアドレス
- ・ CSV 形式

■宛名印刷機能

印刷フォーマット……3種類 (縦書き／横書き／テキスト付き横書き)

■デジタルカメラプリント機能

写真プリント
写真入り日記
インデックスプリント
DPOF プリント
コメントプリント
シールプリント
写真俳句
写真カレンダー
絵画変換

■登録

- ・宛名：本体に約 1000 件
(1 件あたり、名前 (姓 + 名) 5 文字、よみ 8 文字、敬称 1 文字、郵便番号 7 文字、住所 12 文字の場合)
- ・作成物：本体に 30 件、メモリーカードに 1000 件 (シールプリントを除く)
- ・写真：本体に 100 件
- ・写真入り日記：すべての日記帳の合計で、本体に 150 ページ、メモリーカードに 1000 ページ

■ 電源・その他

動作電源：AC100V（付属 AC アダプター：AD-3209S）

内蔵時計動作電池寿命：約 8 年

トップメニュー画面の年月日・時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作電池の消耗が考えられます。

この場合は、お買い上げの販売店または最寄りの「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。（有料交換）

定格消費電流：450mA（15W）

大きさ：幅 263mm × 奥行 164mm × 高さ 158.5mm（ゴム足含む、キャリングハンドル部含まず）

質量：約 2.5kg

使用温度：5℃～40℃（使用最適温度：15℃～35℃）

■ 表示画面(液晶パネル)について

表示画面に使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

本機は **FineArt** Technology Co., Ltd. 社の手書き認識機能を搭載しています。

FineArt Copyright

Handwriting Recognition Engine V2.3

別売品一覧

別売品の最新情報については、以下の URL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

別売品	型番
専用プリントカートリッジ	PI-110C
16面分割光沢フォトシール(5枚)	PO-165

- プrintカートリッジは、株式会社日本HP社製のHP110もご使用いただけます。
ただし、印刷枚数が少なくなることがあります。
- 品切れの際は、ご容赦ください。

重要

- 「使用できる用紙」について、詳しくは、29ページを参照してください。
- 「本機で使えるメモリーカード」については、33ページを参照してください。

印刷できる枚数について

本機でご使用になれるプリントカートリッジ1個で印刷できる枚数の目安は下記の通りです。

		専用プリントカートリッジ(PI-110C)
はがき印刷(宛名・文面の両面印刷)		約210枚
写真印刷 SCIDサンプル使用※1	L判	約165枚
	2L判	約85枚※3
標準写真印刷 カシオ選定標準10種※2	L判	約105枚
	2L判	約55枚※3

● 印刷条件

はがき印刷)

宛名:名前5文字(敬称含む)、郵便番号7桁、住所14文字

差出人:名前4文字、郵便番号7桁、住所14文字

文面:「カンタン作成」で「008番」を使用

写真印刷)

※1 日本規格協会 SCID サンプルN5を印刷した場合

※2 カシオで選定したデジタルカメラ標準画像10種類を印刷した場合

上記の印刷できる枚数は、新しいプリントカートリッジを使用して、画面に「インク消耗」のメッセージが表示されるまでの目安です。

印刷できる枚数は、印刷する内容によって異なります。

本プリントカートリッジは、3色カラーのインクで構成されているため、1色のインクがなくなると他の2色のインクが残っていても「インク消耗メッセージ」が表示されます。

そのため、1色だけの偏った配色の文字や画像を繰り返して印刷したときは、極端に印刷枚数が減る場合があります。また、夜景など暗い部分の多い文字や画像を印刷したときも、インクを多く消費するため極端に印刷枚数が減る場合があります。

※3 「2L判サイズ」の用紙に印刷した場合は、印刷する画像によっては「インク消耗メッセージ」が表示される直前にインクが消耗し、きれいに印刷できない場合があります。



■ プリントカートリッジ(1個)で印刷できる枚数の目安例

文面レイアウト/宛名フォーマット・写真の内容によって印刷枚数が異なります。

ハガキ印刷					
両面 	宛名縦書き 	宛名横書き 	文面のみ 	文面のみ (印刷枚数が少ない例) 	写真入り文面 
約210枚	約730枚	約1400枚	約265枚	約125枚	約125枚

● 宛名:名前5文字(敬称含む)、郵便番号7桁、住所14文字

● 差出人:名前4文字、郵便番号7桁、住所14文字

写真印刷								
写真 L判サイズ 	写真 2L判サイズ 	標準写真印刷 カシオ選定標準10種 L判サイズ 		印刷枚数が少ない例 写真 L判サイズ 		写真 2L判サイズ 	写真カレンダー ハガキサイズ 	写真カレンダー 2L判サイズ 
※1	※1	※2	※2	※3	※3			
約165枚	約85枚	約105枚	約55枚	約60枚	約25枚	約145枚	約90枚	

※1 日本規格協会 SCID サンプルN5 を使用して測定。

※2 カシオで選定したデジタルカメラ標準画像10種類を印刷した場合。

※3 日本規格協会 SCID サンプルN8 を使用して測定。

索引

記号・アルファベット

〒 (郵便番号)	37、42、50
AC アダプター	23
AC アダプター用端子	12、23
DPOF プリント	144
JIS 外の漢字	194
JIS 区点コード	154
PC データ	175
QR コード	106

あ行

宛名作成画面	38
宛名の検索	46
宛名の削除	48
宛名の修正	47
宛名の追加	37、42
宛名の登録件数	63
宛名の内容を確認する	46
宛名の複写	48
宛名面を印刷する	55
アルファベットを入れる	154
イラスト入りの文面	73、96
イラスト集	表紙の裏、71、95
イラストの見出し	81
入れにくい文字	155、193
インク残量	17、166

印刷

宛名面	55
写真	142
文面	100
印刷イメージ	19、40、44、47、52、54、55、73、75、76
印刷確認	19
印刷確認機能	19
印刷条件	49
印刷するときの注意事項	8

印刷設定

宛名面	56
写真	143
文面	100
印刷できる枚数 (目安)	204
印刷の濃度	68
インデックスプリント	135
オートパワーオフ	24
オリジナルはがき作成	90
音声ガイド	25
音量調節	12、25

か行

カーソル	18
絵画変換	134
改行	39、52
外字	164
会社宛	42

書き直し	158
学習機能	152
拡大表示	19、101
確定	151
カタカナ変換	149
カタカナを入れる	149
かな入力	147
画面の明るさ (コントラスト)	170
画面の見かた	17
漢字辞書機能	152
漢数字と算用数字を切り替える	64
カンタン作成	72
カンマとピリオドを入れるには	155
キー	15
キーボード	12、15
記号一覧	193
記号を入れる	155
キャリングハンドル	12、13
休日の設定	124
組み合わせ作成	78
敬称	39、43
検索	46、119
候補	151、159
個人宛	37
コメントプリント	127
こんな画面が出てきたら	182
こんな症状が起こったら	185

さ行

削除

宛名	48
外字	165
差出人	54
写真入り日記	120、121
データ	110
文字	156、158
作成画面	147
差出人	50、52
差出人設定	86
差出人だけを印刷する	59
差出人の削除	54
差出人の修正	54
差出人の登録内容を確認する	53
差出人の複写	54
差出人を差し替える	106
差出人を登録する	50、52
シールプリント	140
写真入り日記	114
写真入りの文面	74、97
写真カレンダー	122
写真データ登録	107
写真の色や濃さ、絵画変換を変える	104
写真のデータ	35
写真俳句	136
写真プリント	112

写真を差し替える	103
ジャンルを選ぶ	73、74
住所（宛名）	37、42
住所（差出人）	50
住所の印刷位置の設定	67
住所録を作る	37
自由作成	88
修正	
宛名	47
外字	165
差出人	54
文字	156、159
使用できる用紙	29
書体（フォント）	61、161
数字キー	15
スタンプ	129
スピーカー	12、25
スライドショー	146
全文削除	156
総画数	153

た行

タッチパネル	12、14、20
タッチパネル調整	177
タッチパネル保護カバー	13
タッチペン	12、20
タッチペン収納部	12、13
データのバックアップ	173
手書き	132
手書き入力	157
手書き認識設定	177
テキストの見出し	82
デザインと写真を選ぶ	74
デザインを選ぶ	73
テスト印刷	173
電源キー	12
電源を入れる／切る	23
電話番号（差出人）	50
同音異義語	150

登録

宛名	37、42
差出人	50、52
写真入り日記	118
データ	108
登録件数を確認する	63
時計を設定する	171
都道府県から住所を入力する	41
都道府県の省略	69
ドラッグ	20
トリミング	101

な行

日記帳	114
入力	148、157
入力モード表示	17、157
入力モードを切り替える	170
認識	158、177
年賀状イラスト集	表紙の裏、71、95

は行

背面カバー	12
バックアップ	173
パレット	86、105、118、125、139、143、161
日付と時刻の設定	171
表示画面	12、20
表示ストッパー	14
ひらがなを入れる	148
フォント	61、161

複写

宛名	48
差出人	54
写真入り日記	120
ブザー音	171
部首	153
部署名	44
プリンターの調整	172
プリンターのメンテナンス	172
プリントカートリッジ	26、204
プリントカートリッジ 1 個で印刷できる枚数	27、204
プリントカートリッジ収納部	12、27
プリントカートリッジ使用上のご注意	28
プリントカートリッジ端子部の汚れを取る	179
プリントカートリッジのクリーニング	172
プリントカートリッジのセット	26、27
文面の作りかた	70

文面の編集

年月の編集	105
見出し文の編集	105
文面を印刷する	100
分類マーク	115、119
文例変換	152
別売品一覧	203
変換	149、151
変換候補	149、151
保管方法	181
保護カバー	13

ま行

マーク	37、42、63
マーク別の印刷設定	57
見出し文（テキストの見出し）のタイプ	82
メモリーカード	33
メモリーカード挿入口	12、34
文字キーの使いかた	147
文字サイズ	57、82、84
文字色	161
文字体	161
文字の消去	156、158
文字の書体・色・形などを変える	161
文字の追加	156
文字を入れる	148、157
文字を間違えたときは	156、159
喪中	63

や行

役職	42
ユーザー辞書：語句	167
ユーザー辞書：郵便番号	168
郵便番号位置の設定	65、66
郵便番号辞書データの更新	178
郵便番号辞書の機能	69
用紙ガイド	12
用紙がつまったときは	189
用紙の種類	29
用紙排出口	12
用紙をセットする	30
予測変換	149
よみ（宛名）	37
よみ（会社名）	42
よみ（漢字辞書機能）	152

ら行

ランプ	12
リセット（初期化）	192
レイアウトを選ぶ（オリジナルはがき作成）	91
レイアウトを選ぶ（組み合わせ作成）	79
連名（宛名）	37
連名（差出人）	50、51
連名の敬称	37
ローマ字入力	147
ローマ字入力対応表	195